

**周南市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書**

平成26年3月

目 次

I	調査概要	1
II	就学前児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	4
2	祖父母などに預かってもらっている状況	5
3	保護者の就労状況について	6
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	12
5	平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	17
6	子育て支援サービスについて	19
7	休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	23
8	病児・病後児保育について	26
9	一時預かりについて	28
10	放課後児童クラブについて	31
11	育児休業制度等の利用状況	35
12	子育て全般について	39
13	子どもの権利について	45
14	子育て支援策についての満足度と重要度	47
III	小学生児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	51
2	保護者の就労状況について	53
3	祖父母などに預かってもらっている状況	59
4	子どもの居場所について	60
5	放課後児童クラブについて	62
6	病児・病後児保育について	74
7	子育て支援サービスの認知状況、利用状況	76
8	子育て全般について	78
9	子どもの健全育成について	82
10	子どもの安心・安全に関することについて	84
11	子どもの権利について	86
12	子育て支援策についての満足度と重要度	88

/ 調査概要

1 調査の目的

国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、新制度の基礎自治体となる市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。

これを受けて、本調査は、平成 27 年度を初年度とする『周南市子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「周南市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。

2 調査実施方法

調査は、以下の方法により実施しました。

区 分	就学前児童調査	就学児童調査
1.調査対象者と抽出方法	周南市に居住する0歳から5歳までの小学校入学前児童から無作為抽出	周南市に居住する小学生から無作為抽出
2.調査方法	郵送により配布・回収	郵送により配布・回収
3.調査期間	平成 25 年 11 月～12 月	平成 25 年 11 月～12 月
4.回収状況	配布数 2,000 回収数 1,223 回収率 61.2%	発送数 2,000 回収数 1,193 回収率 59.7%

3 集計にあたっての注意点

グラフは、パーセントで示しています。

グラフ中に表示している「n=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

算出されたパーセントは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合もあります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

4 前回調査について

前回調査のうち、就学前児童調査については、対象者の年齢等が同じであるため、比較対象としました。

◇調査対象者と抽出方法

周南市に居住する0歳から5歳までの小学校入学前児童から無作為抽出

◇調査方法

郵送により配布・回収

◇調査期間

◇調査方法

平成 20 年 9 月

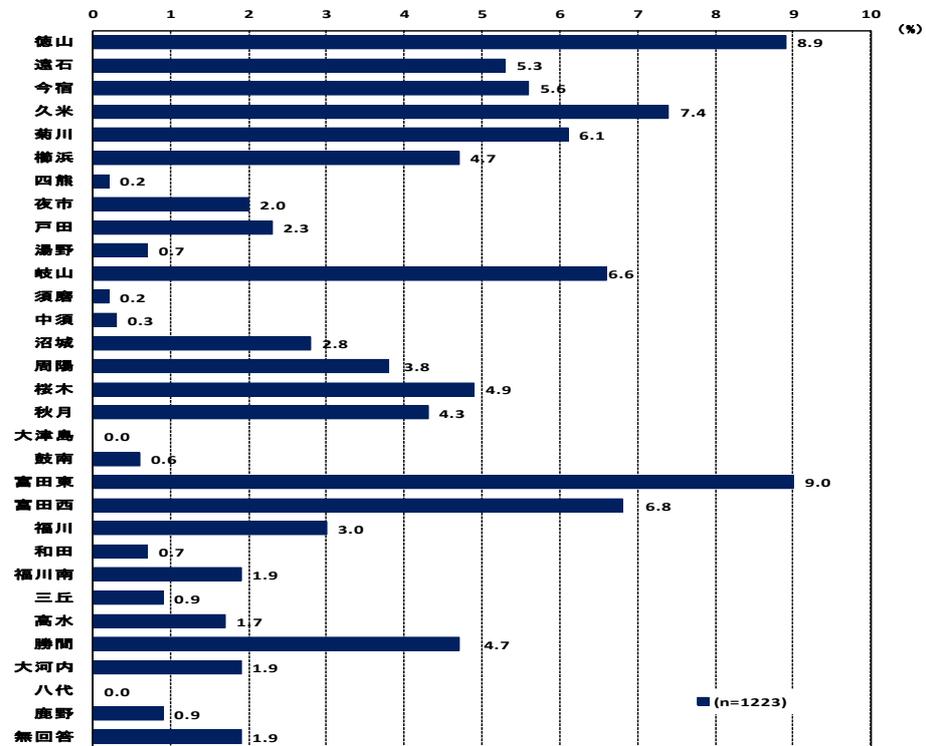
◇回収状況

配布数 2,040 回収数 1,080 回収率 52.9%

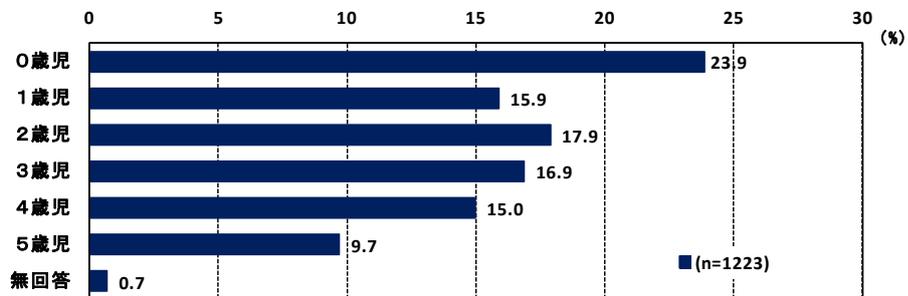
// 就学前児童調査結果

1. 対象者及び保護者の特性

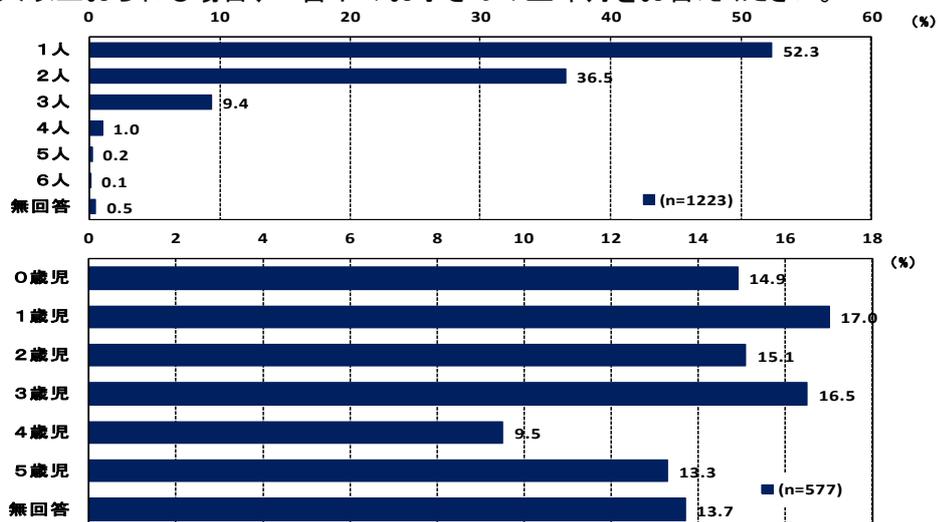
問1. お住まいの校区を教えてください。(1つに〇)



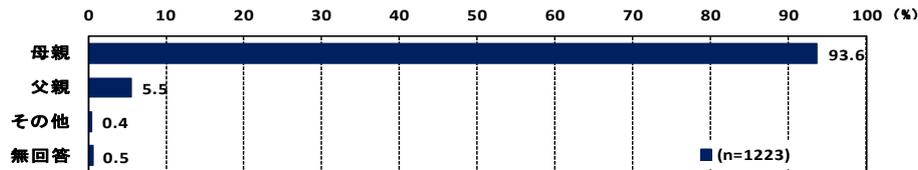
問2. あて名のお子さんの生年月をお答えください。



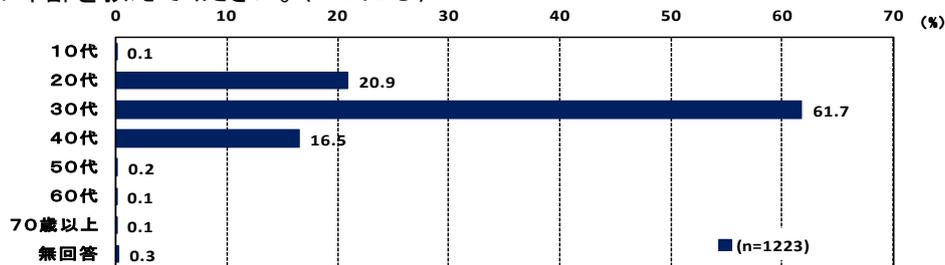
問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。



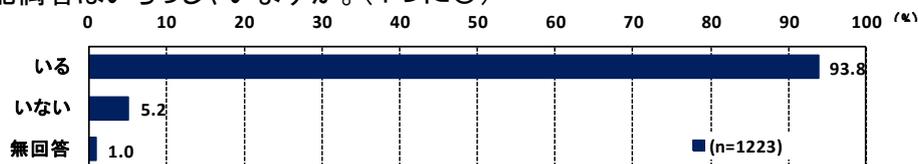
問4. あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



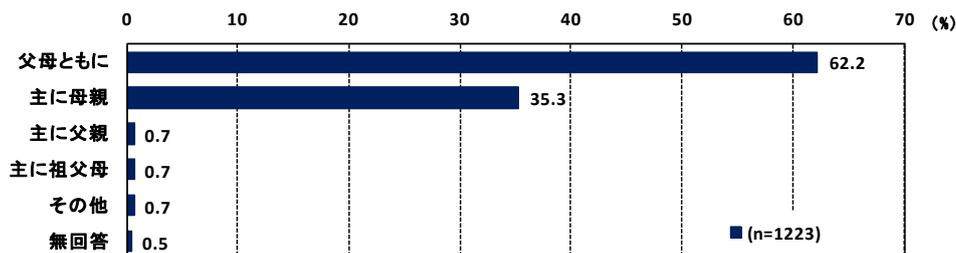
問5. あなたの年齢を教えてください。(1つに○)



問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



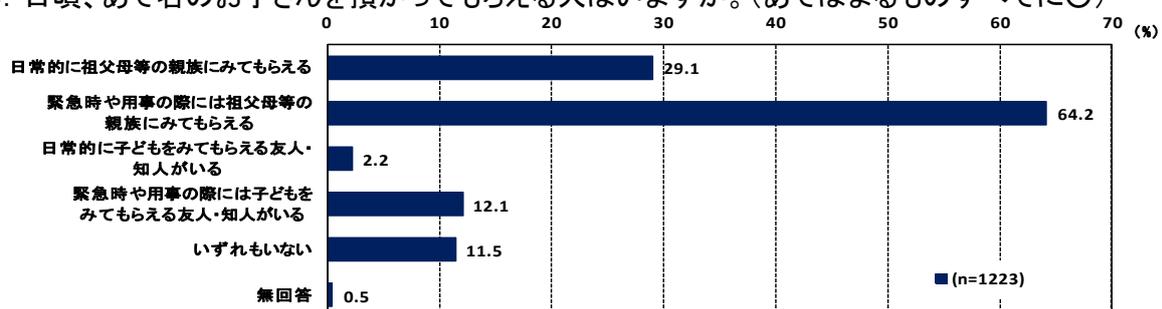
問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



2. 祖父母などに預かってもらっている状況

祖父母等に預かってもらうことのできる人について、その状況を見ると、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.2%と全体の約3分の2を占めていますが、一方、「いずれもない」が11.5%となっており、約1割の家庭は緊急時の対応が困難となっています。

問8. 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



3. 保護者の就労状況について

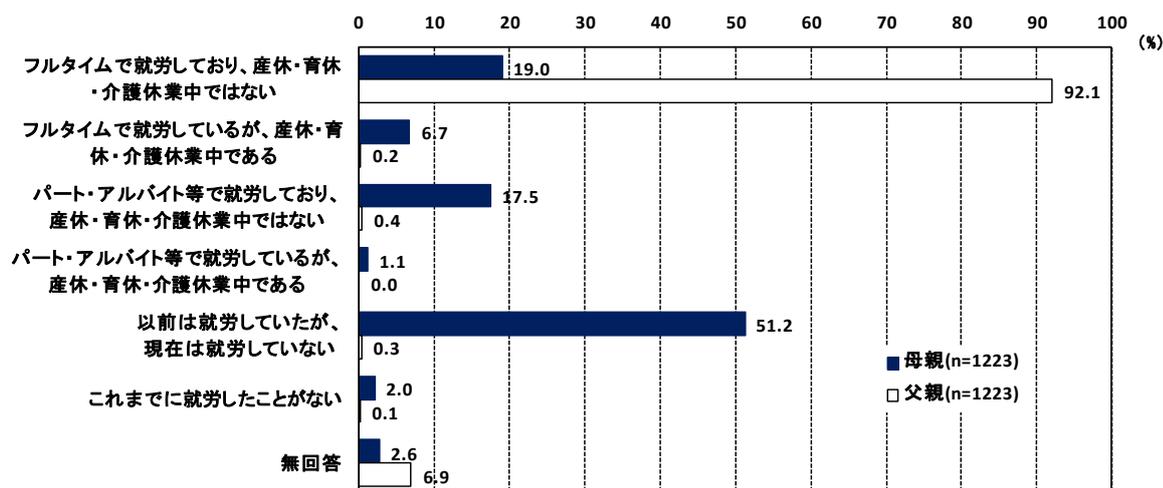
3-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況を見ると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 51.2%で最も高く、5割を超えています。ついで、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 19.0%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 17.5%となっています。父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 92.1%と大半を占めています。

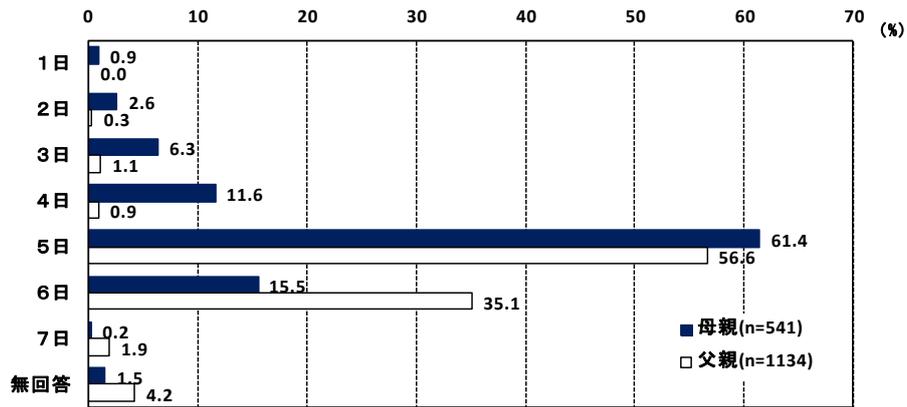
母親の1週間当たり就労日数は、5日が61.4%で最も高く、1日当たり就労時間は8～9時間未満が最も高くなっています。

出勤・帰宅時刻についてみると、母親の出勤時刻は8時台の45.3%が最も高くなっており、帰宅時刻は18時台の34.6%が最も高くなっています。

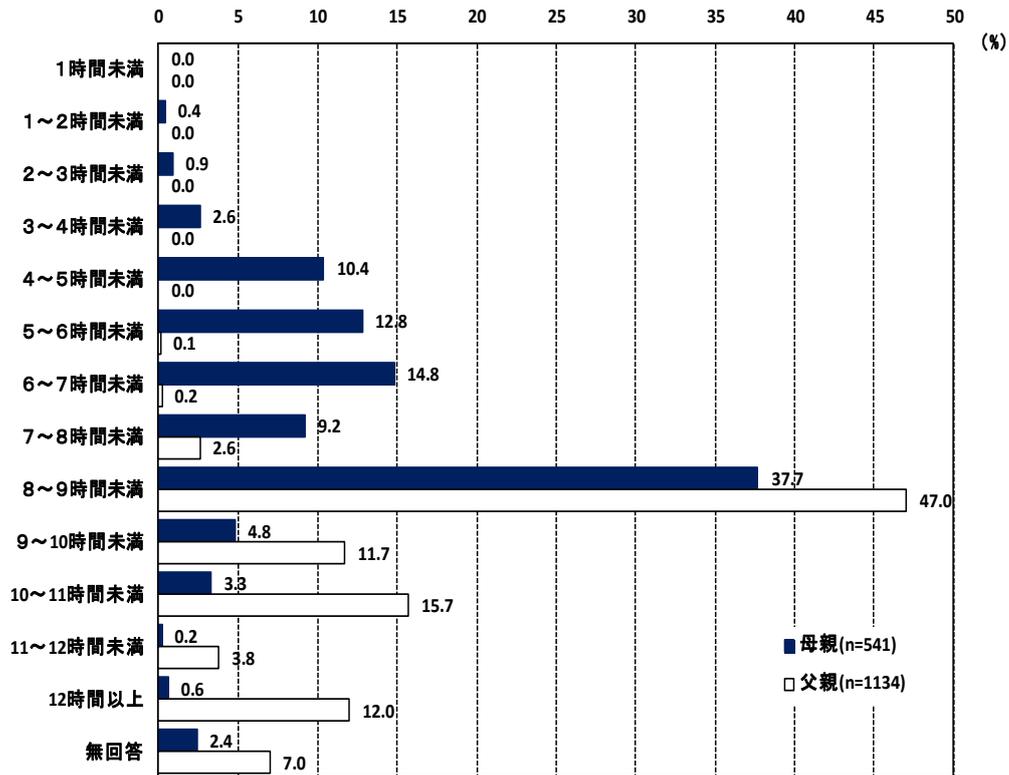
問9. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお伺いします。(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)



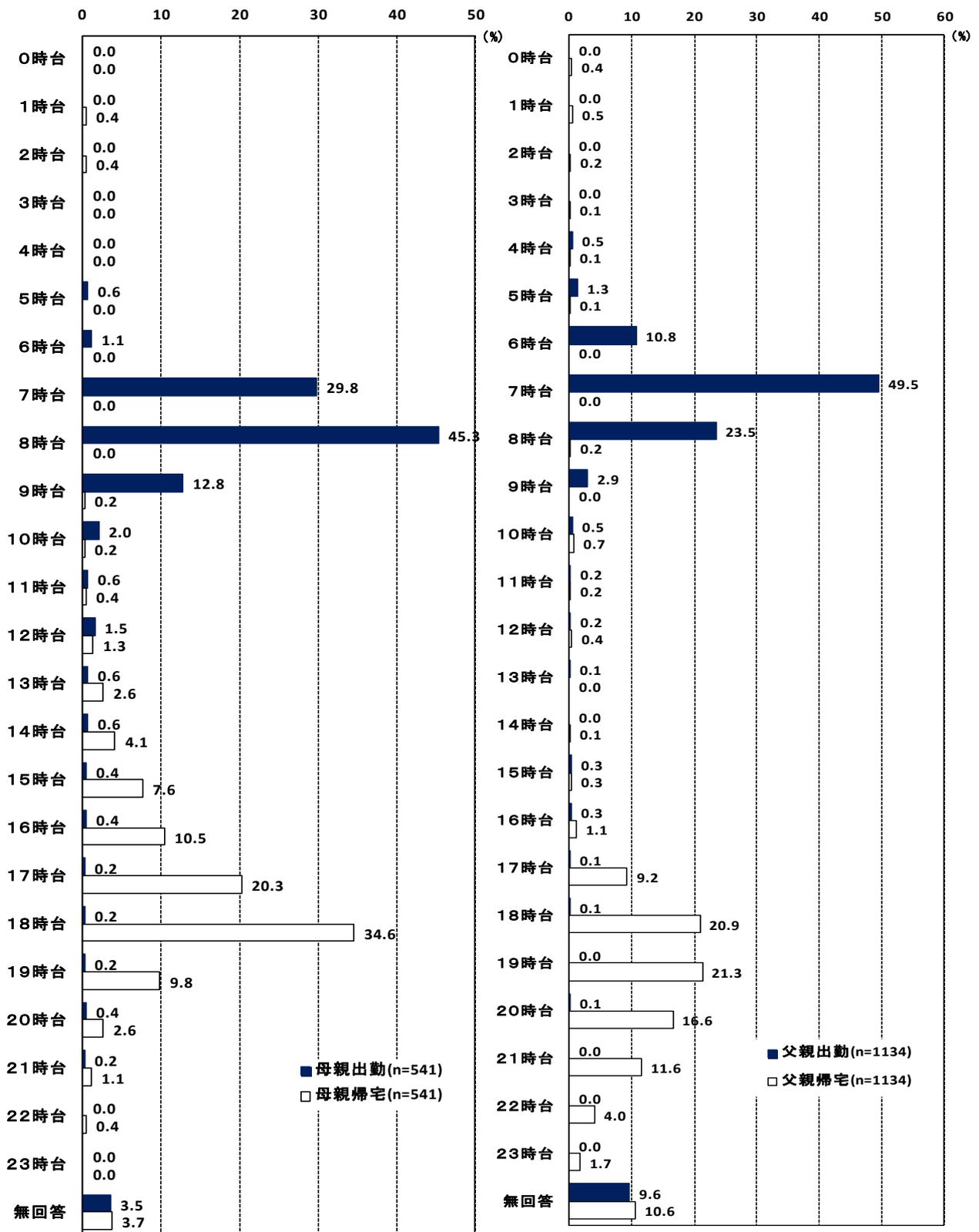
【1週間当たり就労日数】 平均 母親 4.7日 父親 5.3日



【1日当たり就労時間数】 平均 母親 6.4時間 父親 9.1時間



【出勤・帰宅時刻】 平均 母親 出勤 8時15分 帰宅17時10分
父親 出勤 7時21分 帰宅18時46分



■ 就労形態による世帯類型 ■

サンプル数	1223
-------	------

	父						無回答・いない
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまでに就労したことがない	
母	209 17.1%	0 0.0%	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 1.6%
	77 6.3%	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.2%
	189 15.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	24 2.0%
	11 0.90%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	2 0.16%
親	603 49.3%	1 0.1%	2 0.2%	0 0.0%	2 0.2%	0 0.0%	18 1.5%
	23 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%
	14 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	17 1.4%

上段：実数 下段：サンプル数を母数とするパーセント

共働き世帯	491	40.1%
専業主婦世帯	650	53.1%
父親就労無回答世帯	84	6.9%
母親就労無回答世帯	15	1.2%

母親・父親の就業形態からみた家族類型をみると、母親が専業主婦の世帯が、53.1%で最も多く、ついで、共働き世帯の40.1%となり、この2つの類型が大半を占めています。

共働き世帯の就業形態では、母親が「フルタイム」と「パート・アルバイト」の比率はほぼ拮抗しており、教育・保育サービス別の今後の必要量に影響を及ぼすと予想されます。

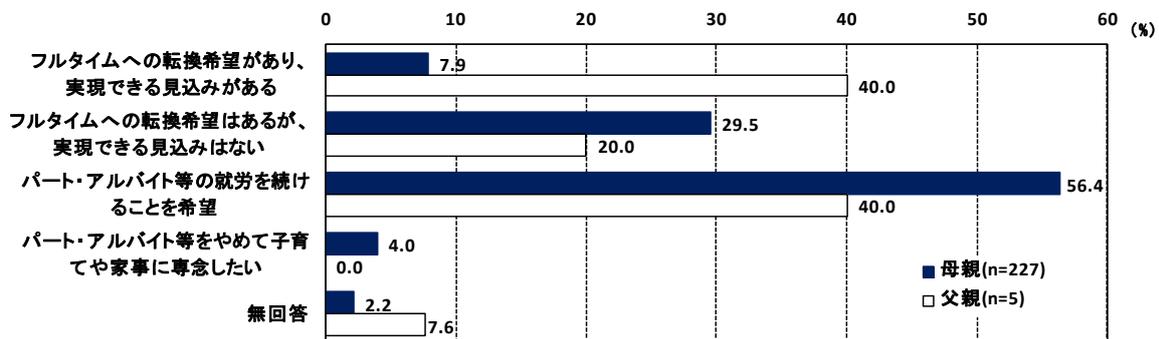
3-2. フルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 56.4%でもっとも高く、全体の半数を超えています。ついで、「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が 29.5%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 7.9%となっています。

全体でフルタイムへの転換希望の割合は 37.4%で、約 3 人に 1 人の人がフルタイムへの転換を希望しています。しかし、実現できる見込みがあるのはそのうちわずか 7.9%と、フルタイムへの転換の実現は厳しい状況がうかがえます。

問 9 で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問9-1. 等フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)



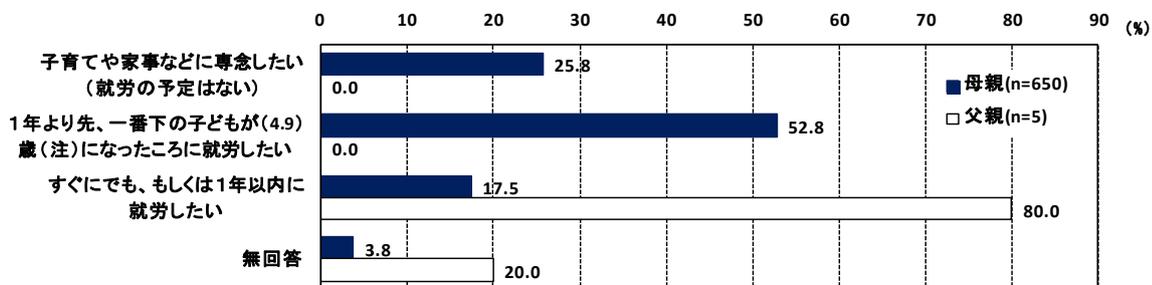
3-3. 現在就労していない母親(父親)の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでももしくは1年以内に就労したい」が 17.5%、「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったころに就労したい」が 52.8%と、全体の就労意向は 7 割を超えており、就労意欲は強くなっています。

問 9 で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問9-2. 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)



(注) () 歳の数字は、平均年齢

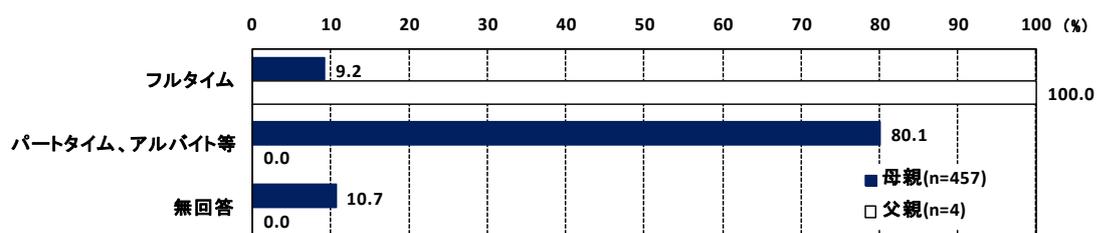
(2) 就労希望の形態

希望する就労形態としては、「フルタイムによる就労」は 9.2%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等による就労」が 80.1%と圧倒的に高くなっています。

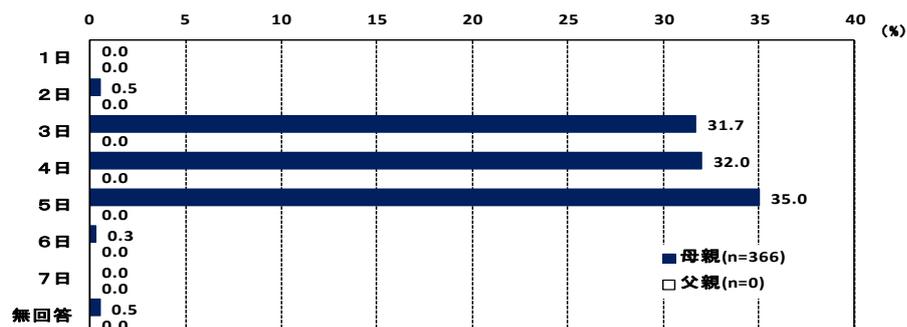
パート・アルバイトの就労時要件としては、就労日数は週当たり 5 日が多く、平均 4.0 日、就労時間は 1 日当たり 5~6 時間未滿がもっとも多く、平均で 4.5 時間となっています。

問 9-2 で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。

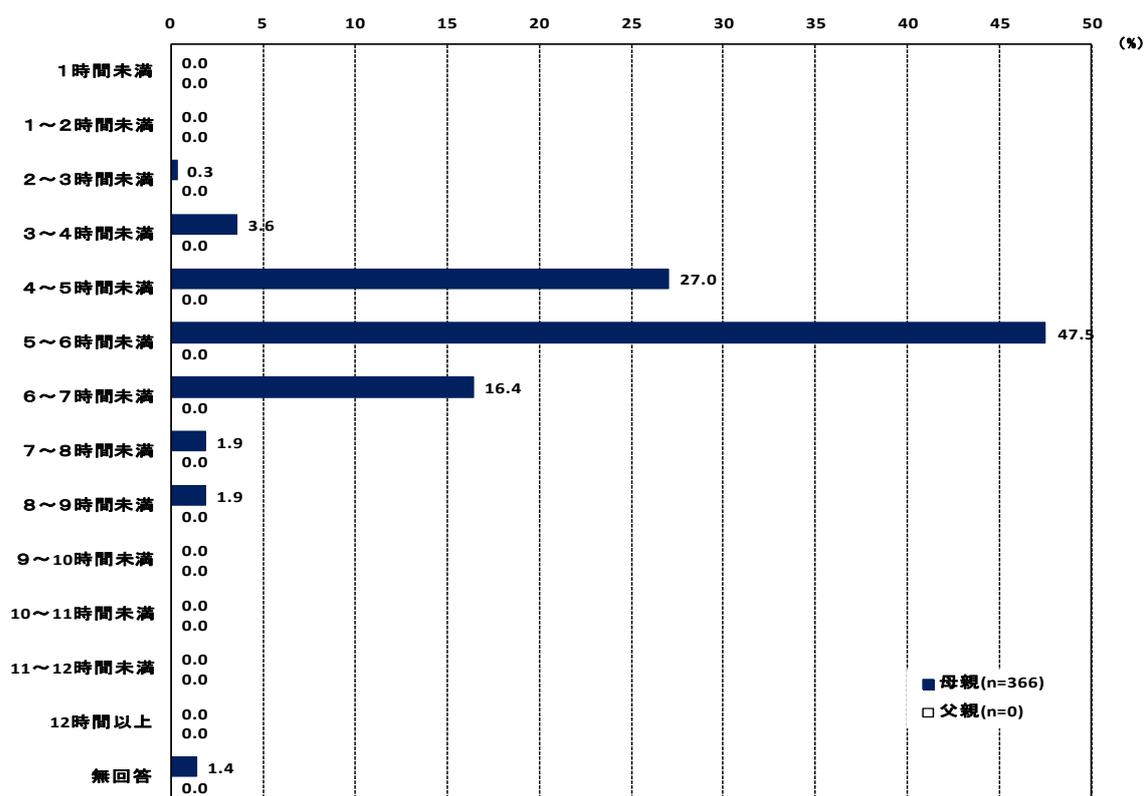
問9-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)



【パートタイム、アルバイト等 1 週当たり就労日数】 **平均 父親 一日 母親 4.0 日**



【パートタイム、アルバイト等 1 日当たり就労時間】 **平均 父親 一時間 母親 4.5 時間**



4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

4-1. 利用しているサービス

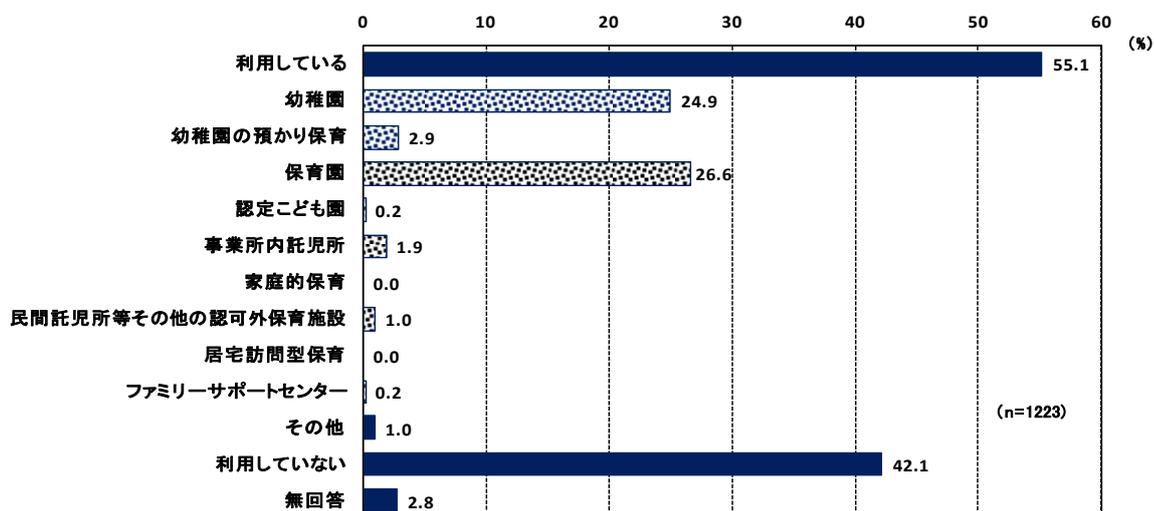
何らかの教育・保育サービスを受けている対象者は 55%となっています。このうち、「保育園」が 26.6%、ついで「幼稚園」が 24.9%でこの 2 項目で半数以上を占めています。それ以外はいずれも数%の利用率となっています。

すべての方にお伺いします。

問 10. あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの平日の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに○)

問 10 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 10-1. あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。



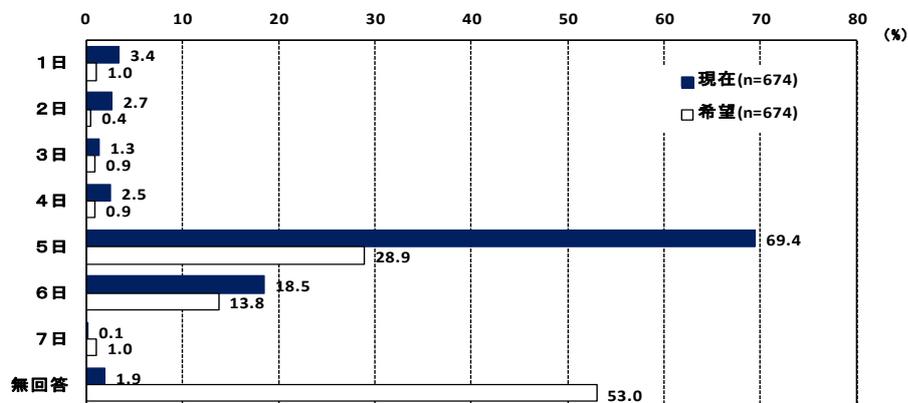
4-2. 保育サービスの利用日数と利用時間

1 週当たりの日数は、「5 日」が 69.4%「6 日」が 18.5%と両方で大半を占め、平均 4.9 日となっています。保育サービスの開始時刻は、「8 時台」と「9 時台」がほぼ 3 分の 1 ずつを占めもっとも高く、終了時刻は「15 時台」が 29.5%でもっとも高く、「17 時台」が 25.8%と続いています。「15 時台」と「17 時台」にピークがみられるものの、保護者の帰宅時間との関係から開始時刻よりも時間帯は分散しています。

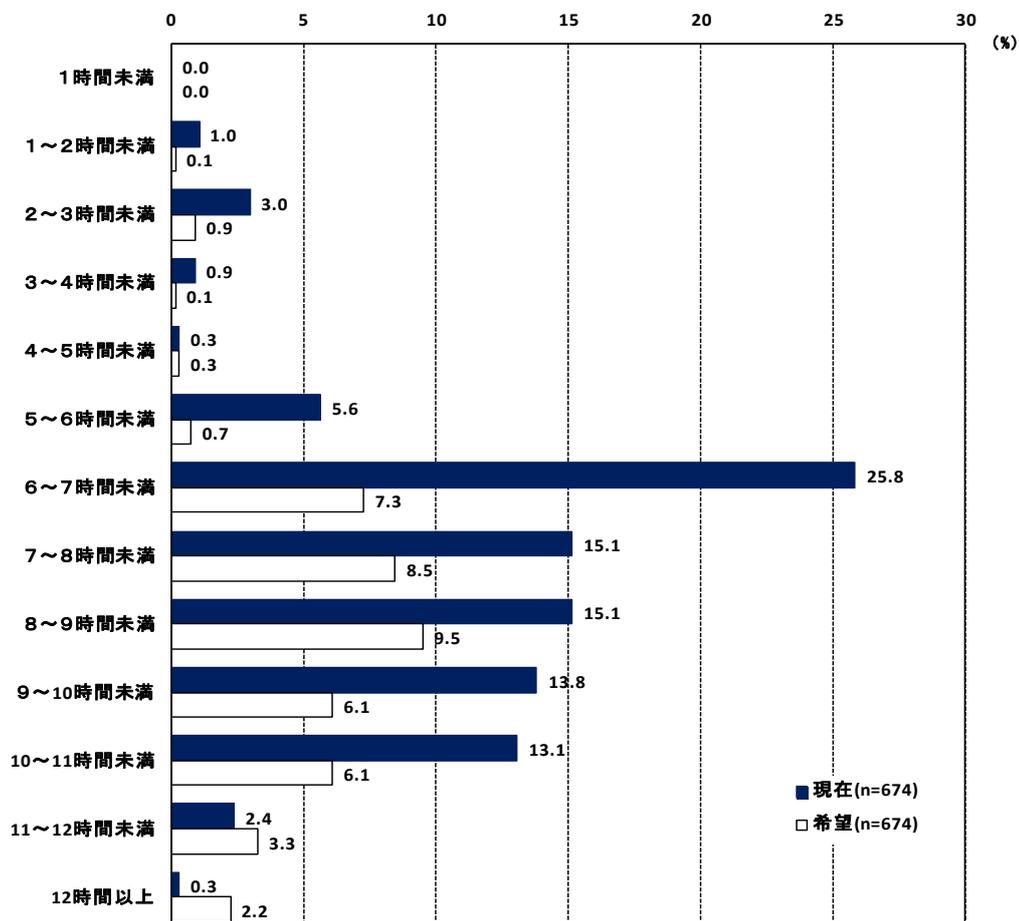
問10で「1.利用している」に○をした方にお伺いします。

問10-2. 週当たりの利用日数、延長保育等も含めた1週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間、現在及び希望する利用時間を具体的にお答えください。

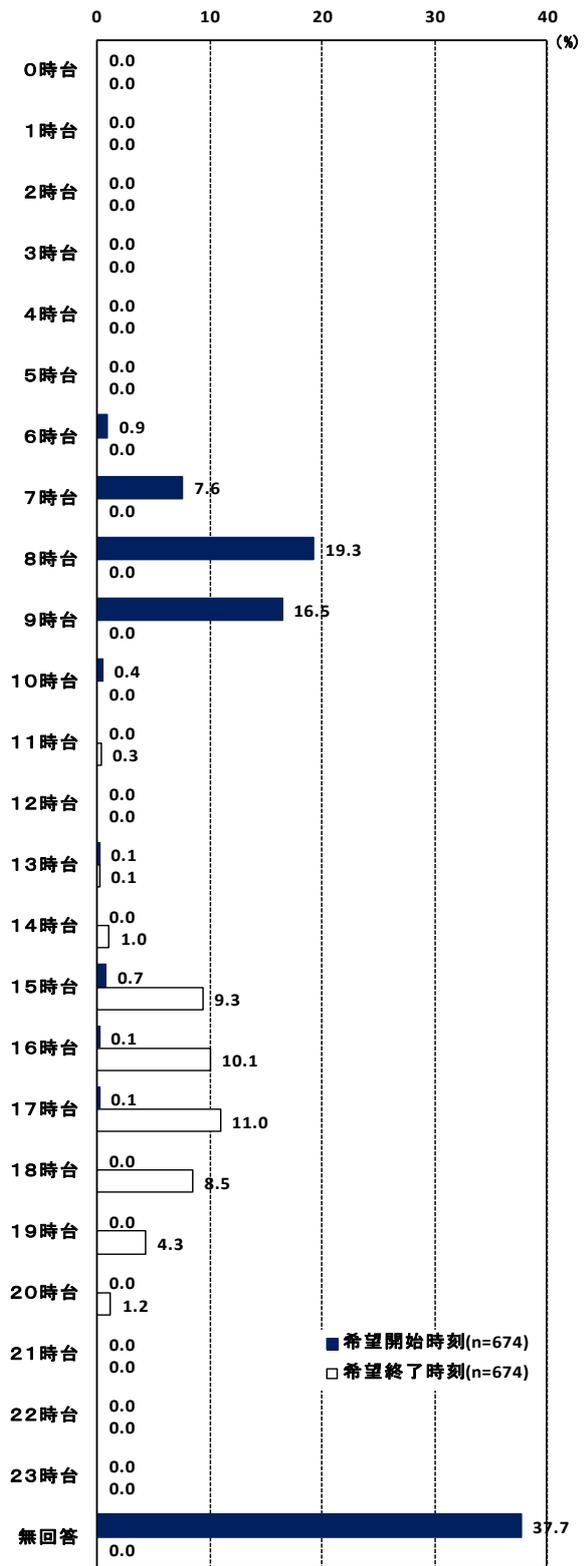
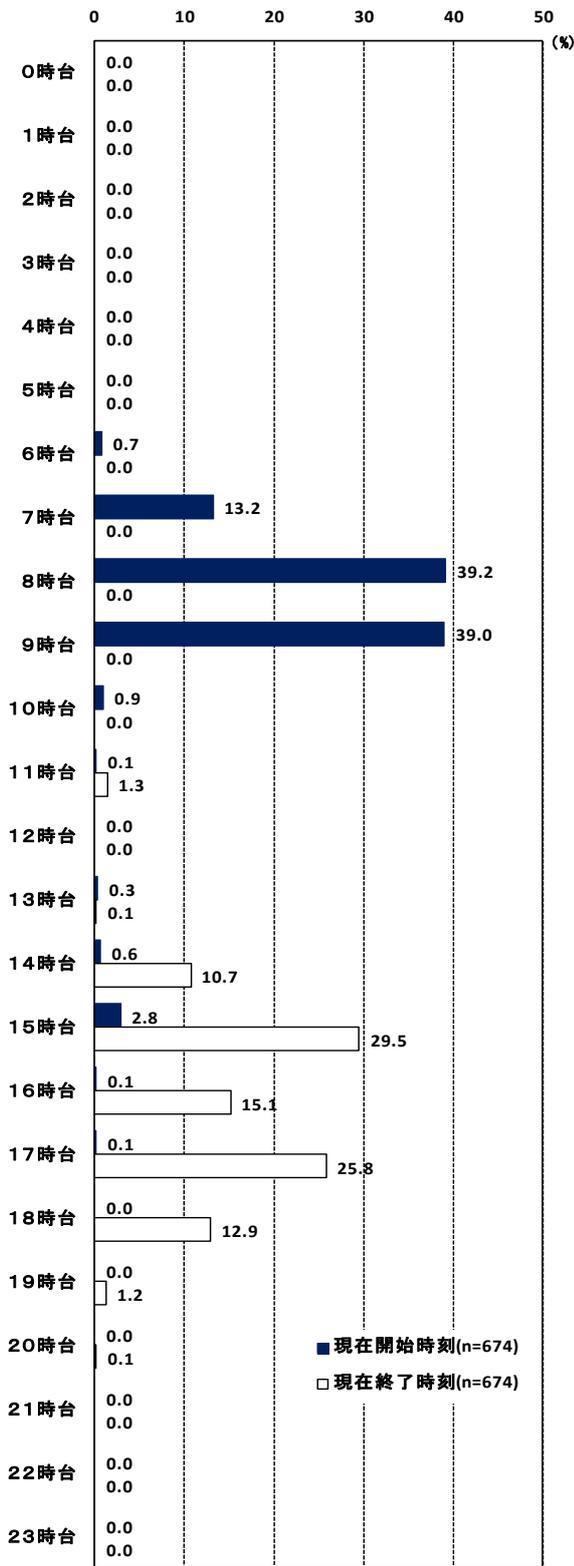
【1 週当たり保育日数】 **平均 現在 4.9 日 希望 5.1 日**



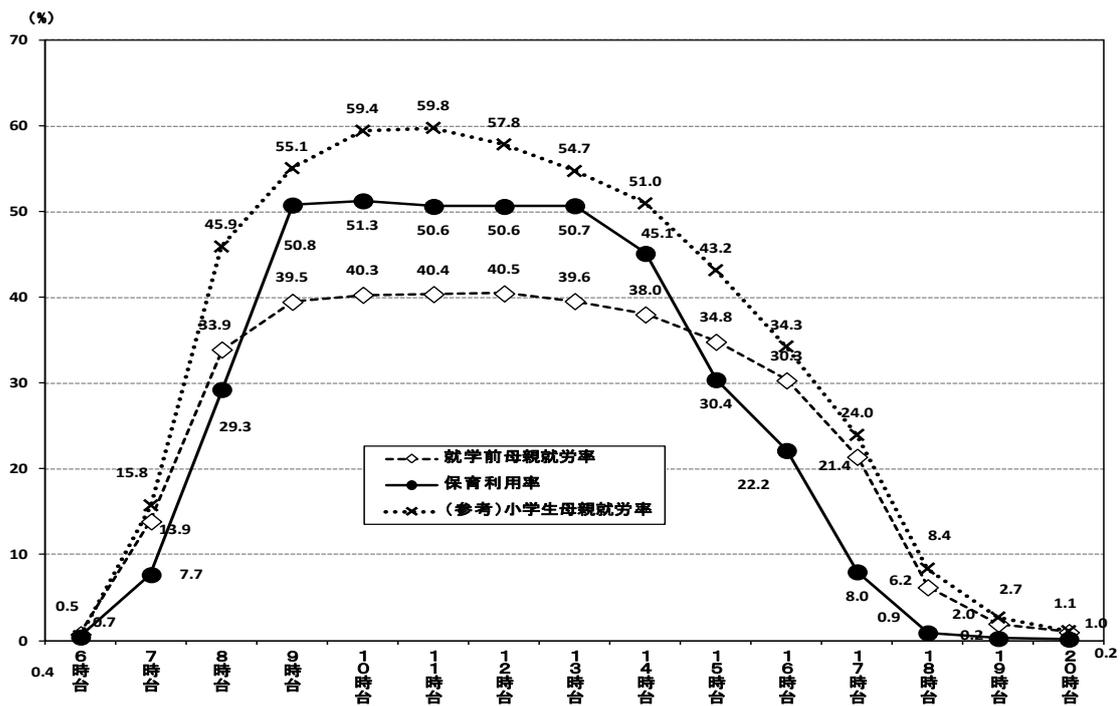
【1日当たり保育時間】 **平均 現在 7.2 時間 希望 8.0 時間**



希望 開始 8時 31分 終了16時 50分



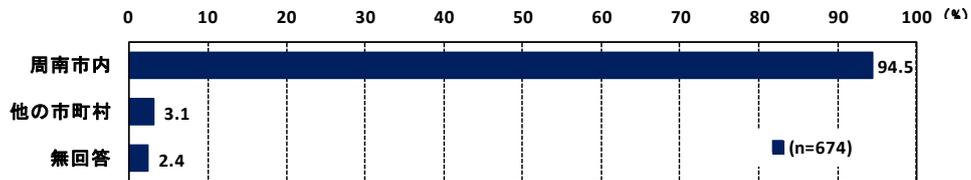
■ (参考) 母親就労率と保育利用率との関係 ■



4-3. 教育・保育事業の実施場所

現在利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「周南市内」が 94.5%でもっとも高く、大半を占めています。

問 10-3. 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(1つに○)

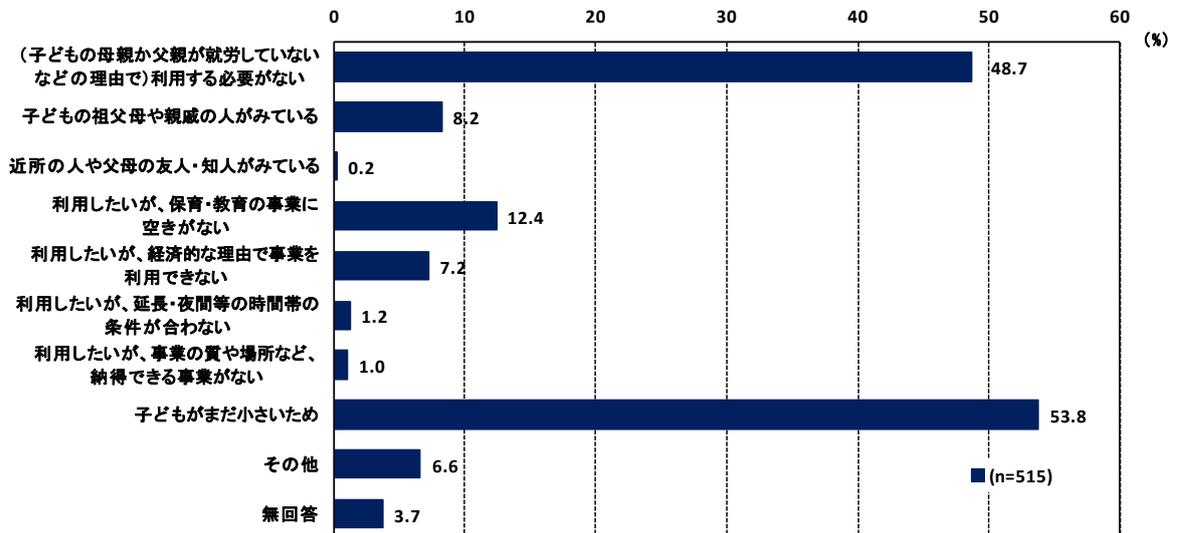


4-4. 利用していない理由

利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」(53.8%)が最も高くなっています。ついで「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が 48.7%となっており、この2項目が主な理由となっています。

問 10 で「2. 利用していない」に○をした方にお伺いします。

問 10-4. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

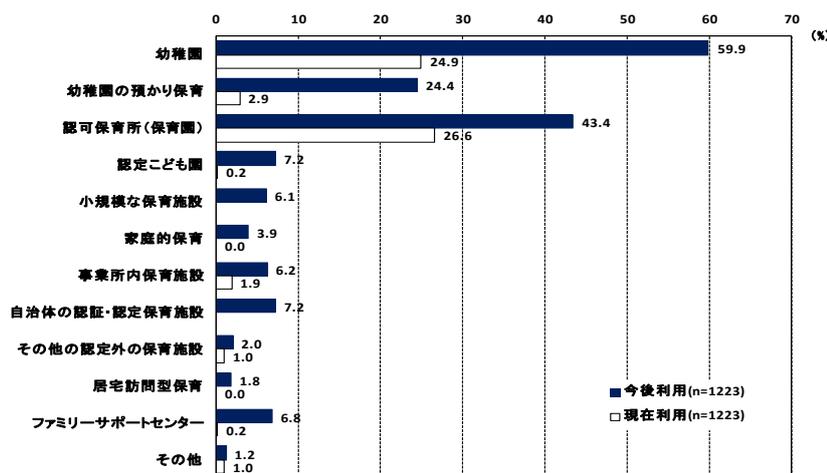
5-1. 今後利用したいサービスと場所

今後利用したい保育サービスを見ると、「幼稚園」が 59.9%、続いて「認可保育所（保育園）」が 43.4%となっており、利用したい場所は大半が周南市内を希望しています。

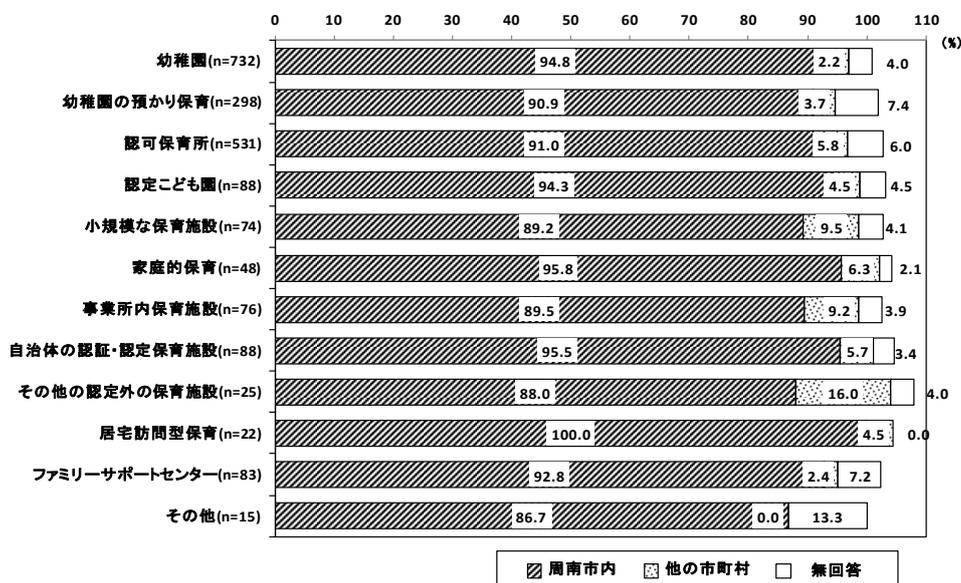
定期的にご利用する場合に重視する点は「提供される教育の質や内容」と「立地の利便の高さ」の 2 項目が目立って高く、「立地の利便の高さ」については特に自宅周辺を希望する割合が 80.7%と非常に高くなっています。

また幼稚園を希望する理由としては、「幼稚園では、学校教育法に基づく質の高い幼児教育を受けられることができると考えたから」、認可保育所を希望する理由としては、「仕事を続けるためには、幼稚園の利用時間では難しいから」がそれぞれ高くなっており、幼稚園には教育の質、認可保育所では就業のための理由となっています。

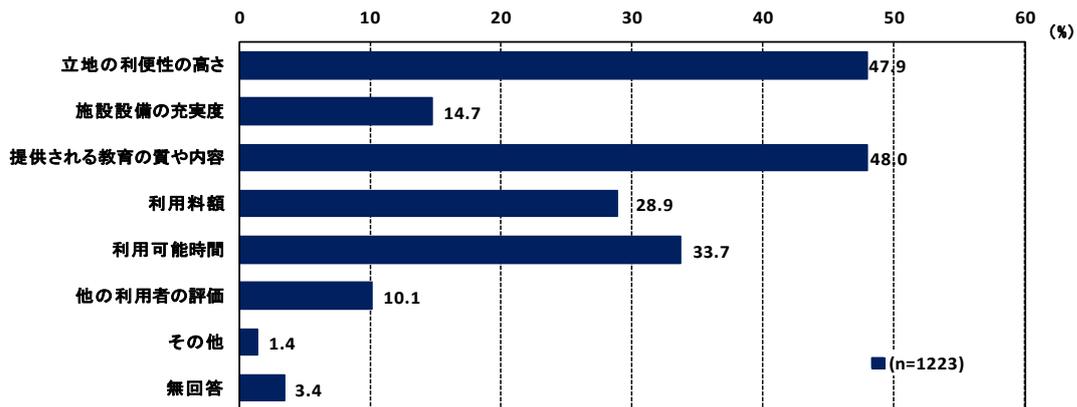
問11. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）。また、選択した事業について、利用したい場所もそれぞれお答えください。



【 利用したい場所 】

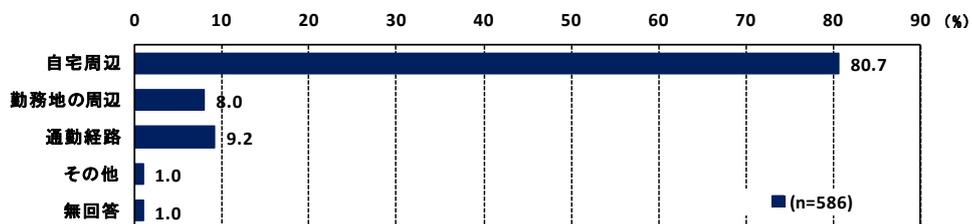


問11-1. 「定期的に」利用したいと考えた場合、どのような点を重視しますか。(2つまで○)



問11-1で「1. 立地の利便性の高さ」に○をした方にお伺いします。

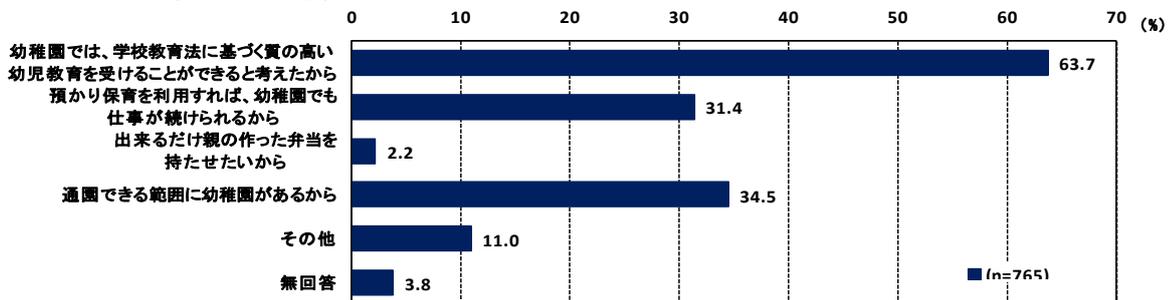
問11-2. どのような場所であれば良いと思いますか。(1つに○)



問11で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をした方にお伺いします。

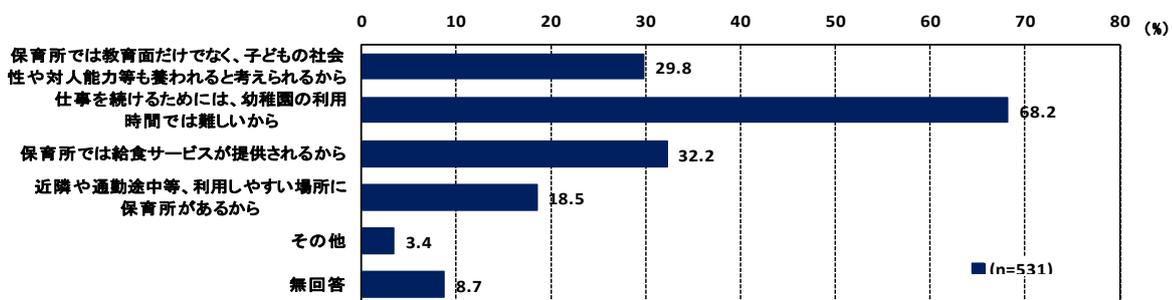
問11-3. 「定期的に」幼稚園または幼稚園の預かり保育を利用したいと考えられた理由は何ですか。

(2つまで○)



問11で「3. 認可保育所」に○をした方にお伺いします。

問11-4. 「定期的に」認可保育所を利用したいと考えられた理由は何ですか。(2つまで○)



6. 子育て支援サービスについて

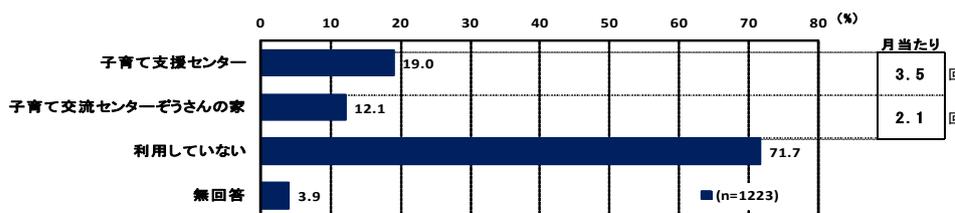
6-1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況等

「子育て支援センター」「子育て交流センターぞうさんの家」等の利用状況をみると、「子育て支援センター」が19.0%「子育て交流センターぞうさんの家」が12.1%という状況であり、利用していないは7割を超えています。

利用していない理由としては、「時間がない」が33.8%でもっとも多く、センター等に行き来する時間も含め時間的な余裕のなさが示されています。そのほか「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」も1割を占めており、サービスの周知、啓発等が必要です。

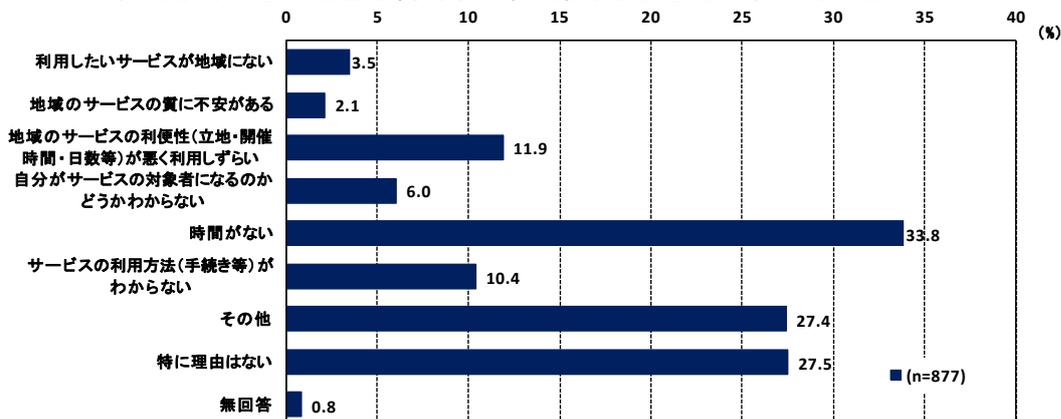
今後については、新たな利用や回数の増加等はしないが過半数を占めています。

問12. あて名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「子育て交流センターぞうさんの家」等）を利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

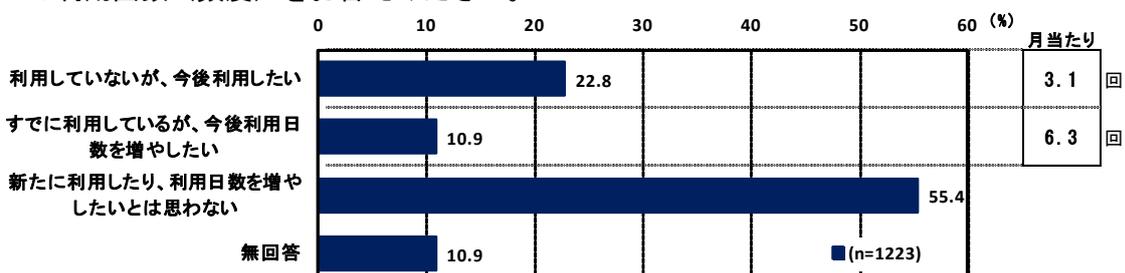


問12で「3. 利用していない」に○をした方にお伺いします。

問12-1. 利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



問13. 問12のような地域子育て支援拠点事業について、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いますか。（1つに○）また、希望するおおよその利用回数（頻度）をお答えください。



6-2. 子育て支援サービスの認知状況等

【認知度】

各種の子育て支援サービスの認知状況としては、「⑦子育て交流センターぞうさんの家、地域子育て支援センター」(81.6%)「②保健センターの情報・相談サービス」(75.0%)「①母親学級、両親学級、育児学級」(70.1%)が7割以上の認知率と目立って高くなっています。一方、「④教育相談センター・教育相談室」「③家庭教育に関する学級・講座」「⑫放課後等デイサービス」「⑪日中一時支援事業」など公的な相談機能や支援施設に対する認知率はいずれも3割以下となっています。

【利用状況】

利用経験では、認知率の高い上位の中では「⑦子育て交流センターぞうさんの家、地域子育て支援センター」は60.8%と目立って高い利用率となっているものの、利用回数は子育て支援センターが月当たりで3.5回、子育て交流センターが月当たり2.1回にとどまっています。また「②保健センターの情報・相談サービス」「①母親学級、両親学級、育児学級」はいずれも半数以下と低めです。

認知率が低率であった「④教育相談センター・教育相談室」「③家庭教育に関する学級・講座」「⑫放課後等デイサービス」「⑪日中一時支援事業」、および「⑧ファミリーサポートセンター」の利用率はいずれも10%以下で、特に「⑫放課後等デイサービス」の利用率は0.7%と極端に低く、まずは認知率を上げるための積極的な展開が求められます。

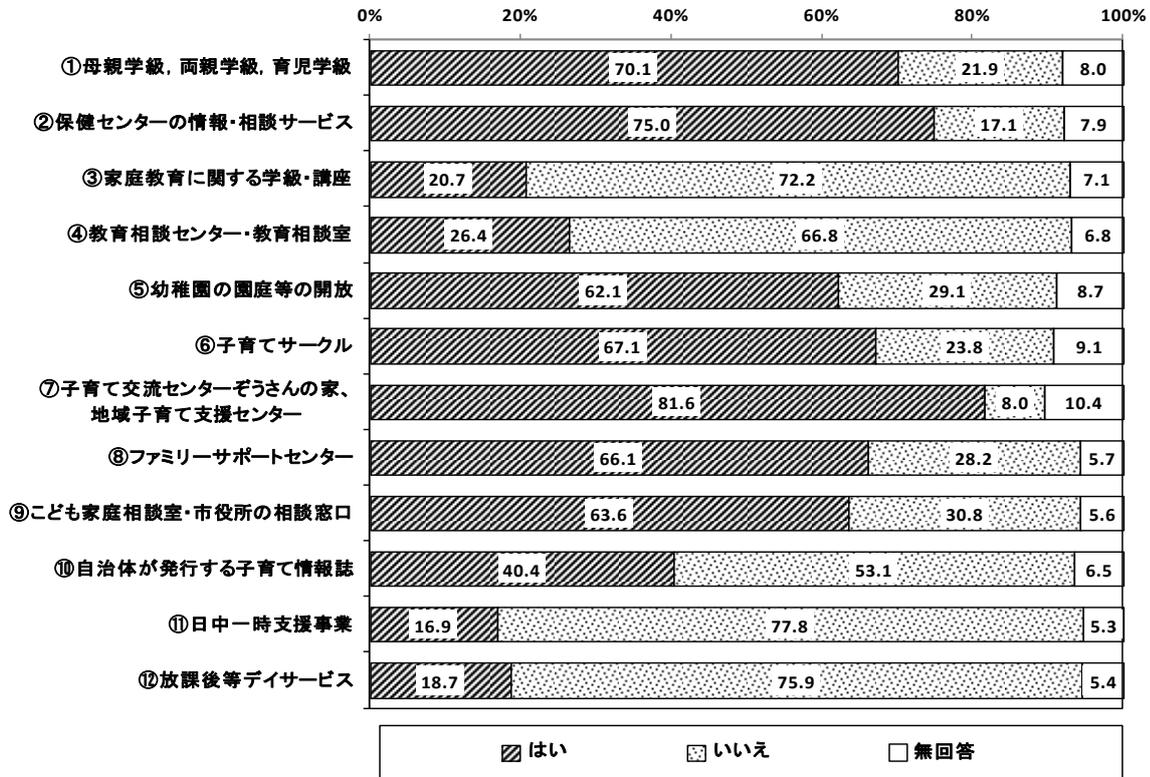
利用していない理由については、「時間がない」(33.8%)、「特に理由はない」(27.5%)が多く、続いて「地域のサービスの利便性(立地・開催時間・日数等)が悪く利用しづらい」(11.9%)「サービスの利用方法(手続き等)がわからない」(10.4%)などとなっており、利用意欲あるものの、実際の利用につなげることができない状況がうかがえます。

【利用希望】

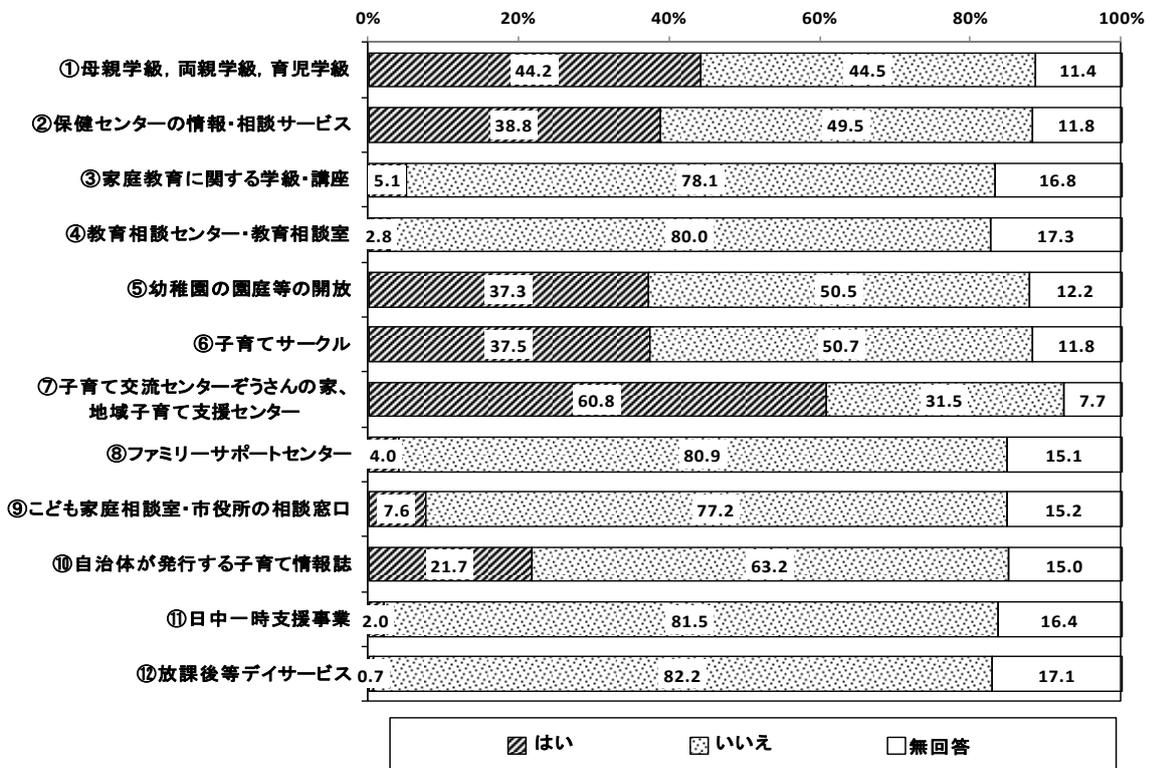
今後の利用意向としては、「⑩自治体が発行する子育て情報誌」(53.7%)「⑤幼稚園の園庭等の解放」(52.6%)はいずれも半数以上が希望しており、堅調です。また「②保健センターの情報・相談サービス」「③家庭教育に関する学級・講座」「⑥子育てサークル」「⑦子育て交流センターぞうさんの家、地域子育て支援センター」はいずれも40%以上の利用意向率であり、同じような環境にいる母親同士の交流の場所や、子育ての悩みに関する相談先等へのニーズの高さを示しています。

問 14. 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A~Cのそれぞれについて、1つに○)

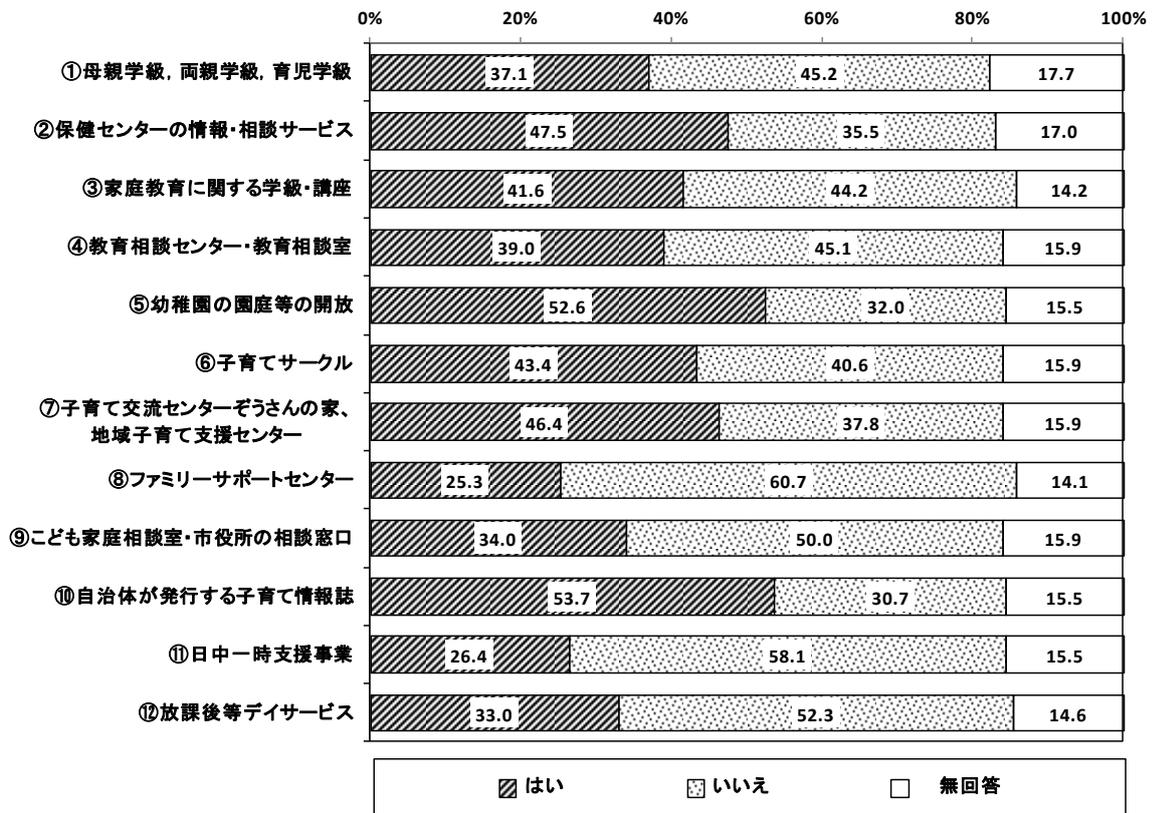
【知っている】



【利用したことがある】



【今後利用したい】



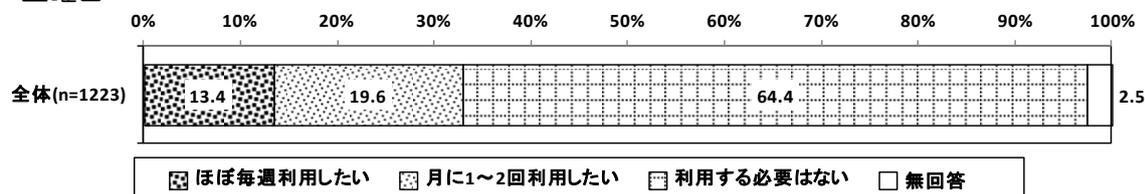
7. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日・日曜日の保育サービス利用意向についてみると、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせ 33.0%と約 3 人に 1 人の割合となっていますが、日曜日・祝日では 12.9%とかなり低くなっています。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中については 54.0%が利用したいと回答しています。

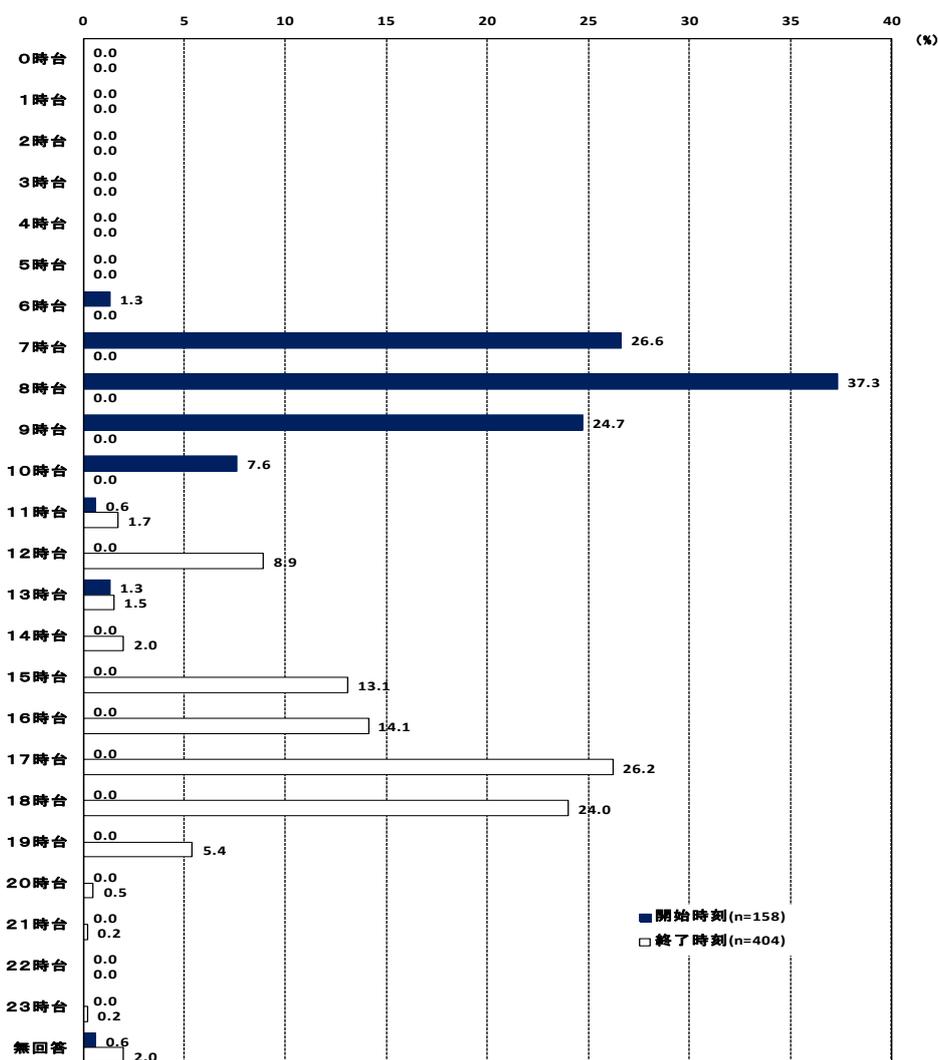
利用時間帯としては、開始時刻は土、日が「8 時台」、「7 時台」、長期の休暇期間中は「9 時台」が高く、終了時刻は土曜日は「17 時台」、日曜日・祝日は「18 時台」、長期の休暇期間中は「15 時台」がそれぞれ最も高くなっています。

問 15. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

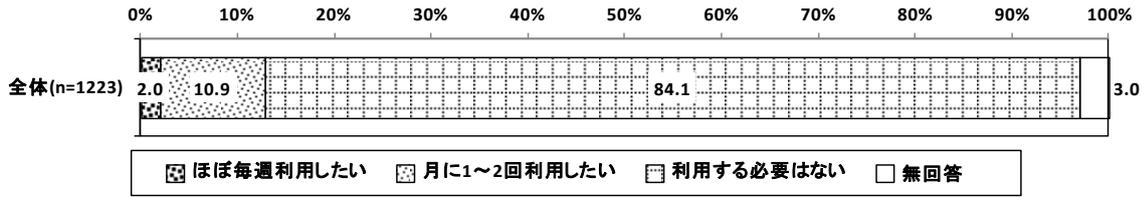
(1) 土曜日



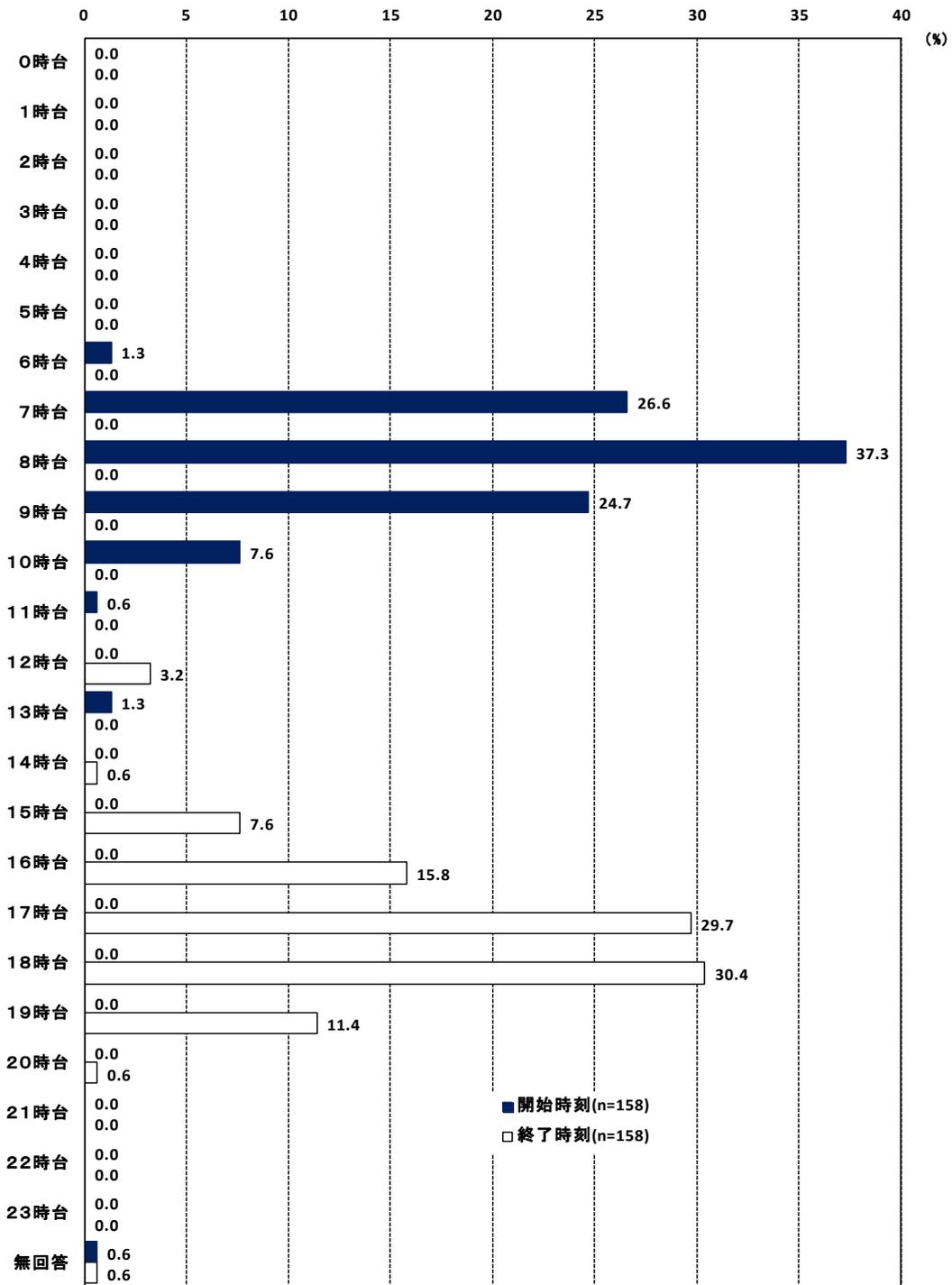
【開始・終了時刻】 平均 開始 8 時 26 分 終了 16 時 22 分



(2) 日曜日・祝日

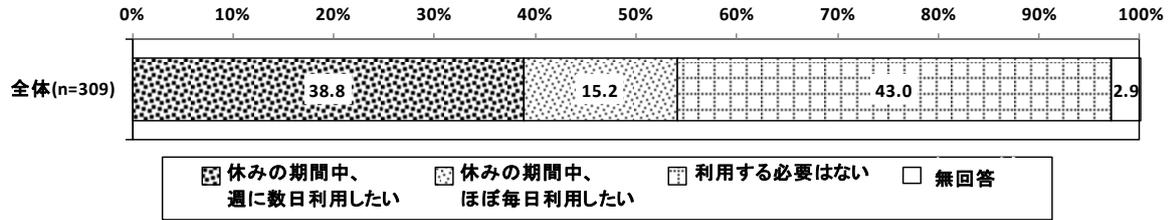


【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 18分 終了 17時 06分

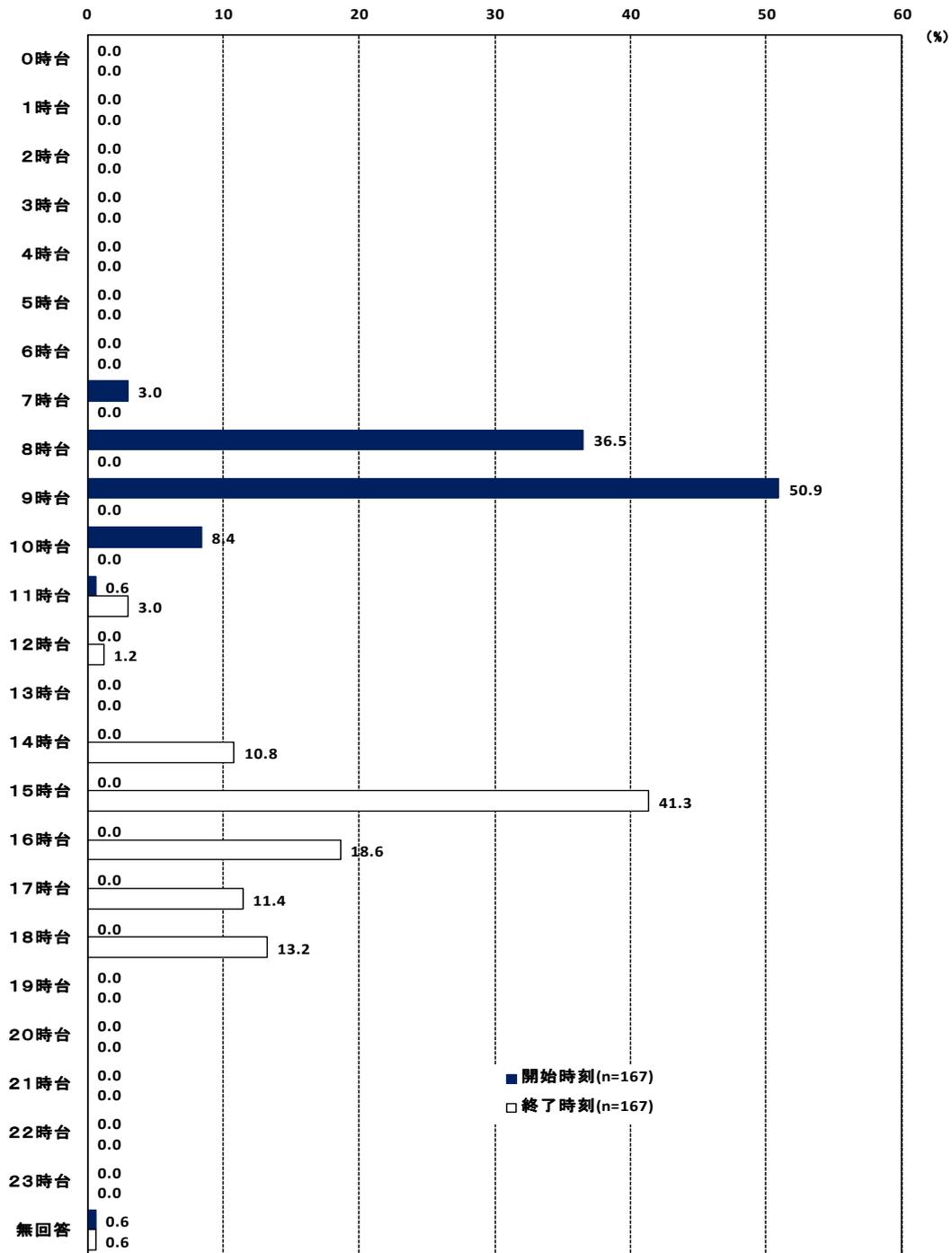


現在、幼稚園を利用している方にお伺いします。利用していない方は、問 15 にお進みください。

問16. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか。



【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 46分 終了 15時 36分



8. 病児・病後児保育について

8-1. 過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

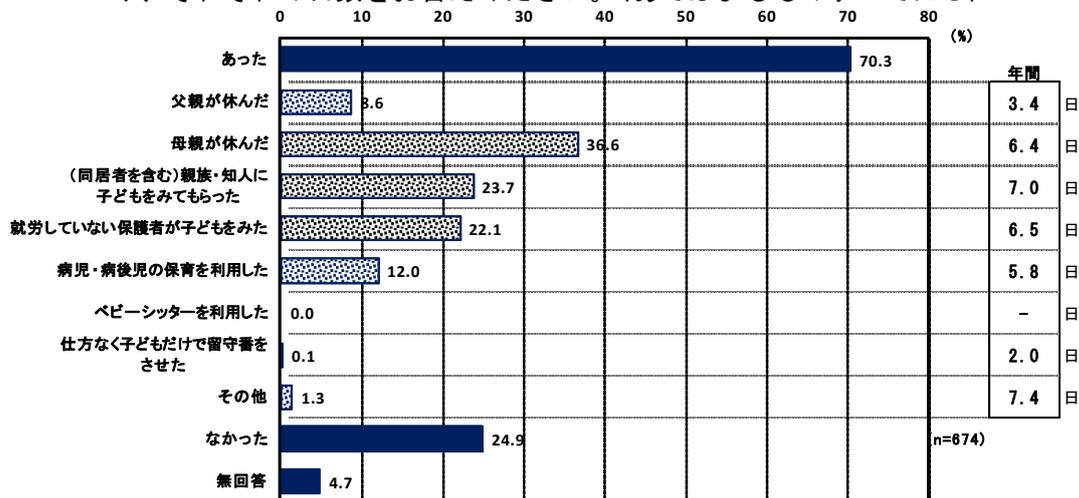
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験についてみると、「あった」が70.3%と7割以上を占めています。

その対処方法としては、「母親が休んだ」が36.6%でもっとも高く、平均日数は6.4日、ついで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が23.7%で、平均日数7.0日、「就労していない保護者がみた」が22.1%で平均日数6.5日となっています。また、「病児・病後児保育を利用した」は12.0%にとどまり、平均日数は5.8日となっています。

問17. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

問17で「1. あった」に○をつけた方にお伺いします。

問17-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

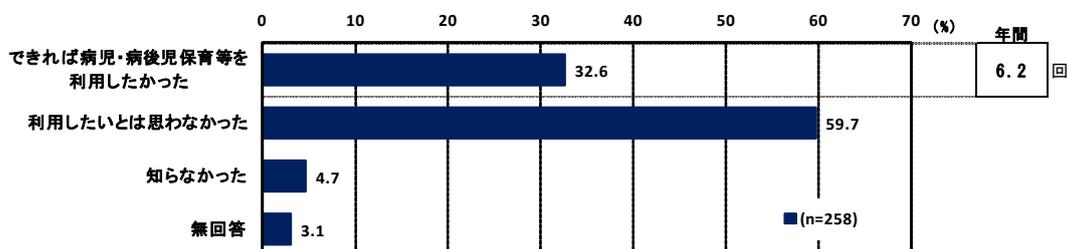


8-2. 病児・病後児保育の利用希望

病児・病後児保育の利用希望について、「できれば病児・病後児保育室等を利用したかった」と答えた人は32.6%で、平均日数は年間6.2日となりました。望ましい事業形態としては、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が70.2%で最も高く、ついで「幼稚園や保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が59.5%となっています。

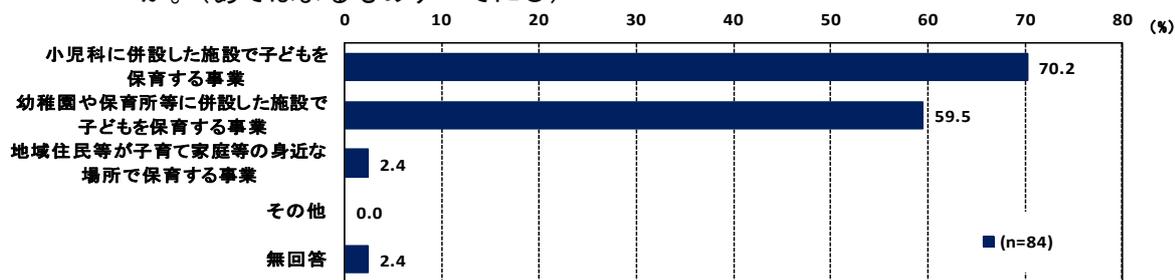
「利用したいとは思わなかった」と答えた人は59.7%で、その理由としては「親が仕事を休んで対応する」(58.4%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(42.2%)の2項目が目立って高く、次いで「利用料がかかる・高い」が28.6%となりました。

問17-2. その際、できれば病児保育室等を利用したいと思いましたが。(1つに○) また、施設を利用したいと思った日数をお答えください。



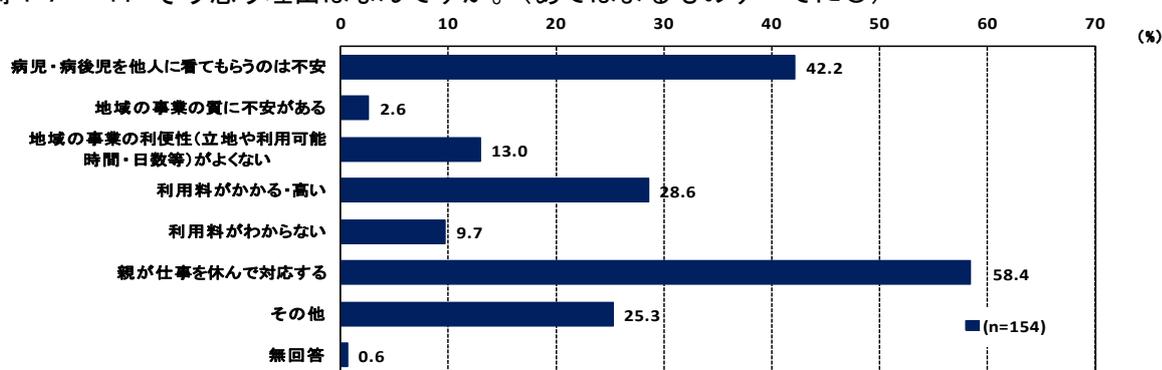
問17-2で「1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった」に○をつけた方にお伺いします。

問17-3. 問17-2の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



問17-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にお伺いします。

問17-4. そう思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



9. 一時預かりについて

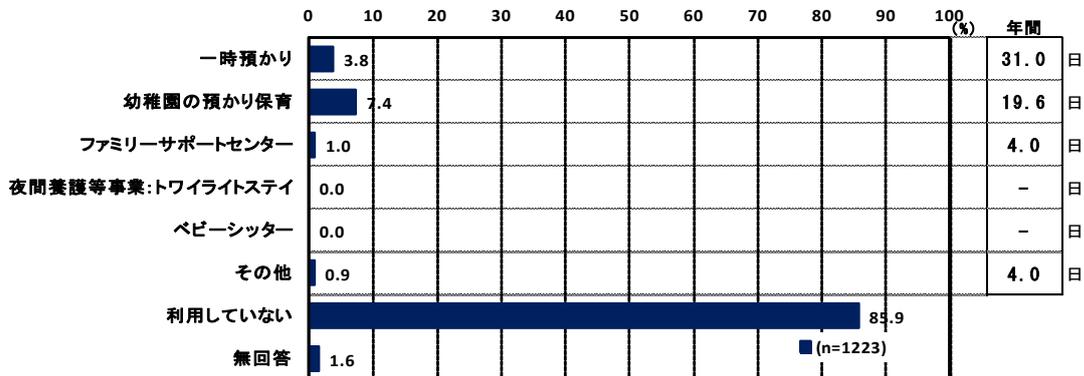
9-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

この1年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労の目的で、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けるために利用している施設についてみると、「幼稚園の預かり保育」は7.4%で年間平均日数は19.6日、「一時預かり」が3.8%で年間平均日数は31.0日となっています。また「利用していない」と答えた人は85.9%と大半を占め、その理由としては「特に利用する必要がない」が81.8%となりました。

今後そのような事業を「利用したい」人の割合は27.9%で、その理由としては、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が16.5%で平均日数15.2日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が13.2%で平均日数8.9日となっています。

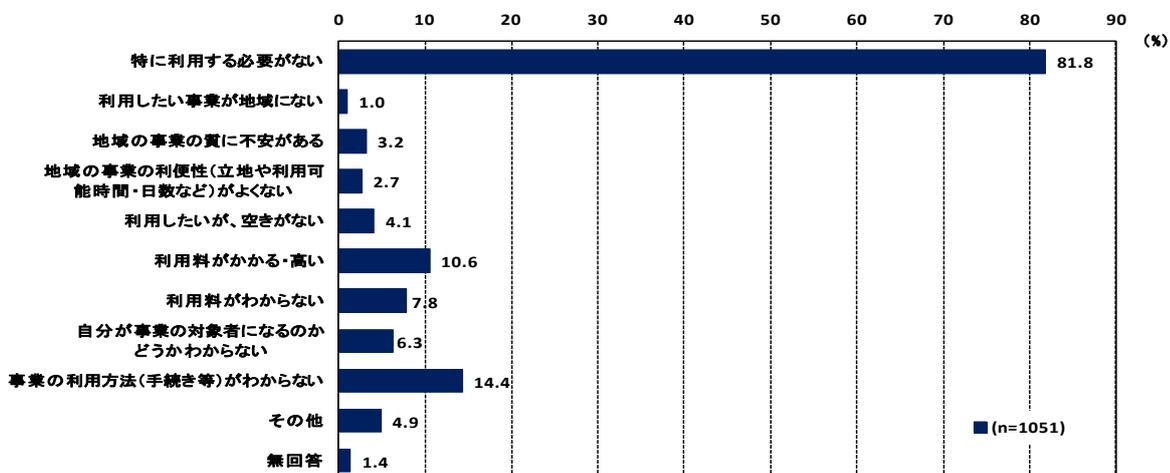
また、望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」（70.4%）、「小規模施設で子どもを保育する事業」（47.2%）を希望する割合が高くなっています。

問18. あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまるものにすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。

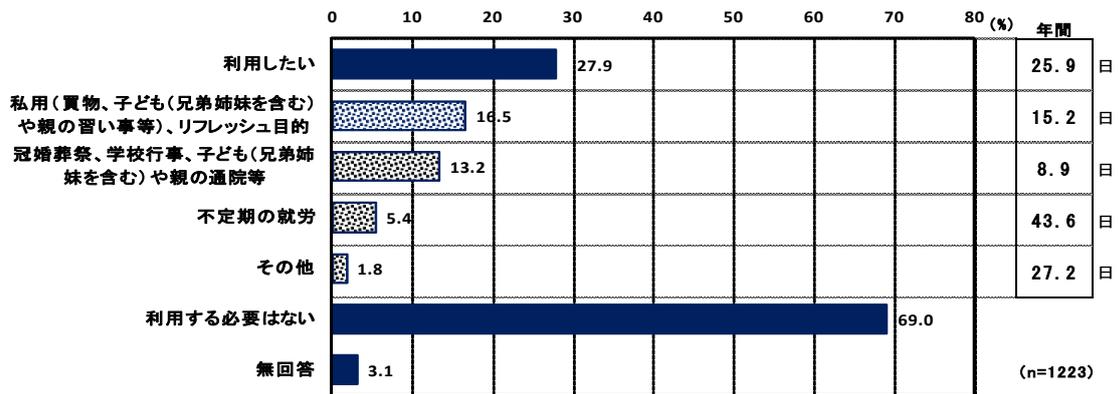


問18で「7. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

問18-1. 現在利用していない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

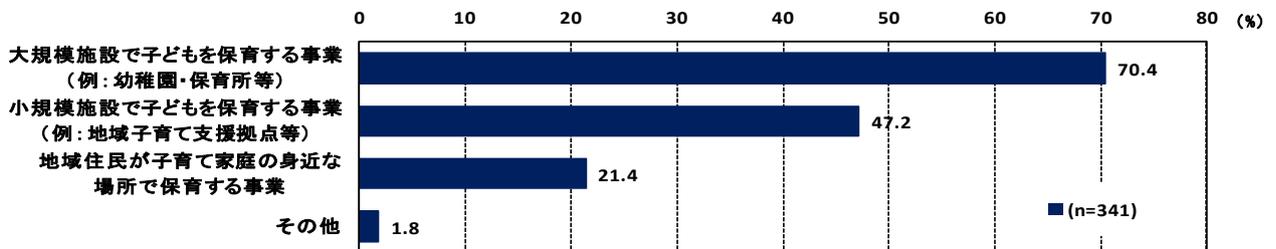


問 19. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。



19で「1. 利用したい」に○をつけた方にお伺いします。

問 19-1. 問 19の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)。



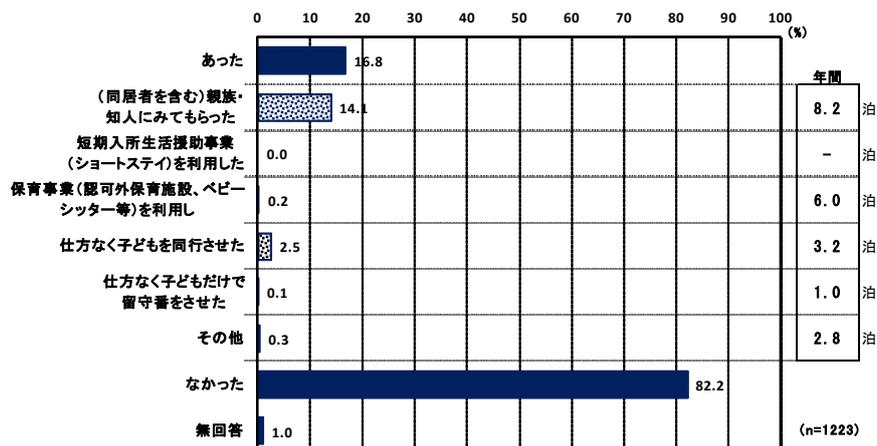
9-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならない経験についてみると、「あった」は16.8%です。

その対処方法としては、ほぼ全員が「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答しており、その平均日数は年間8.2日となっています。

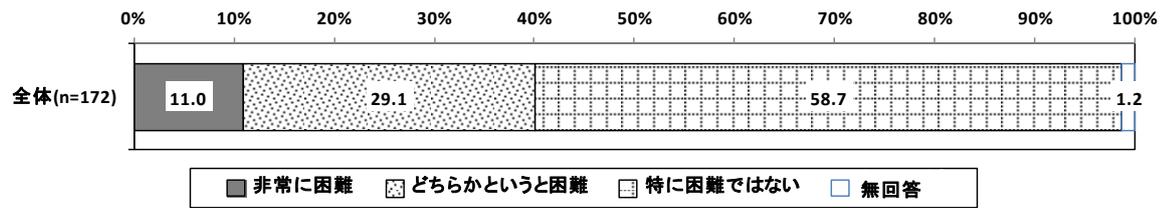
また、親族・知人に預けた場合の困難度としては、「非常」「どちらか」を含め困難が40.1%、に対し、「特に困難ではない」が58.7%と半数を超えています。

問20. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法の日数もお答えください。



問20で「1. あった（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をした方にお伺いします。

問20-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つに○）



10. 放課後児童クラブについて

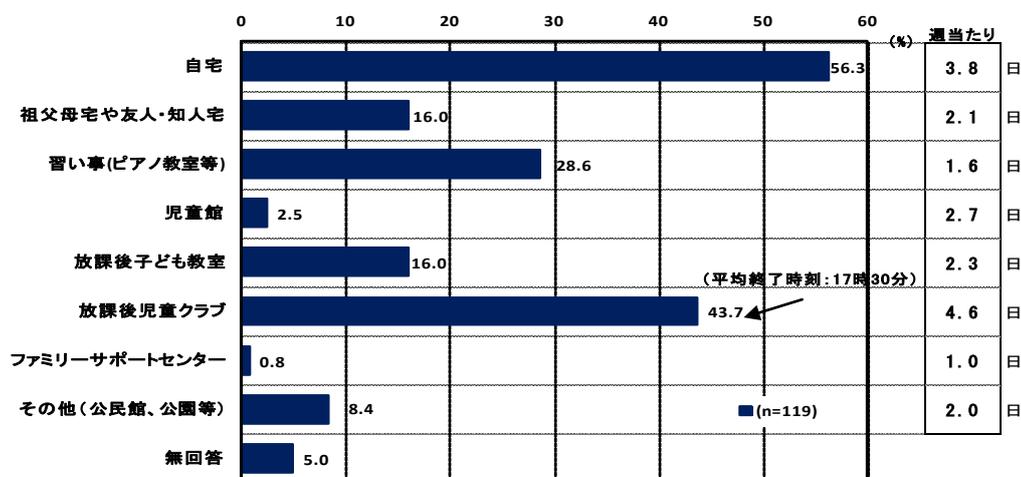
10-1. 平日の放課後の過ごし方(低学年の時)

小学校低学年時に、放課後の時間を過ごさせたい場所について、「自宅」が 56.3%でもっとも高く、週当たり 3.8 日となっています。ついで「放課後児童クラブ」が 43.7%で、週当たり 4.6 日、平均終了時刻は 17 時 30 分となっています。

以下「習い事(ピアノ教室等)」が 28.6%と続いています。

あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方にお伺いします。該当しない方は、問 24へお進みください。

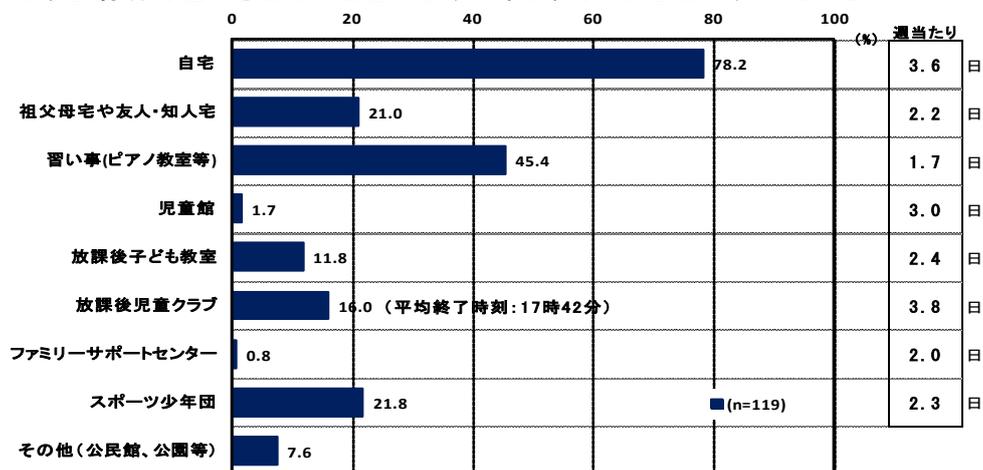
問 2 1. あて名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



10-2. 平日の放課後の過ごし方(高学年の時)

小学校高学年時に、放課後の時間を過ごさせたい場所について、「自宅」が 78.2%でもっとも高く、ついで「習い事(ピアノ教室等)」が 45.4%、以下「スポーツ少年団」(21.8%)「祖父母宅や友人・知人宅」(21.0%)と続いており、「放課後児童クラブ」は 16.0%にとどまっています。週当たり 3.8 日、平均終了時刻は 17 時 42 分となっています。

問 2 2. あて名のお子さんについて、小学校5~6年生になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



10-3. 放課後児童クラブの利用意向

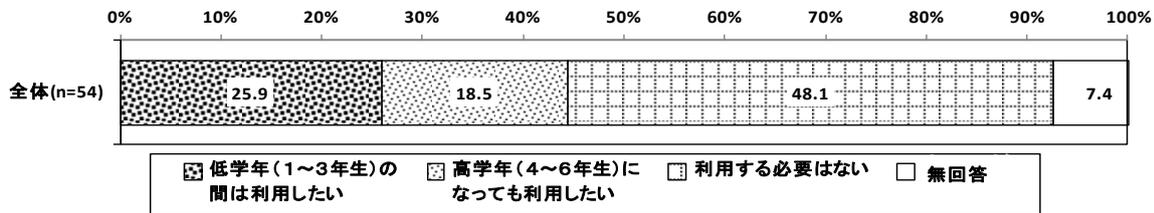
放課後児童クラブの利用意向をみると、土曜日は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を含めて44.4%と半数近い人が利用を希望しています。日曜日・祝日は、「低学年時」「高学年時」を含めて13.0%なのに対し、夏休み・冬休みなど長期の休暇中は、同様に91.7%と大半が希望しています。

開始・終了時刻についてみると、土曜日は開始「8時台」、終了「17時台」が最も多く、日曜日・祝日は開始「8時台」「9時台」終了「17時台」が最も多くなっています。夏休み・冬休みなど長期の休暇中は、開始「8時台」、終了「17時台」が最も多くなっています。

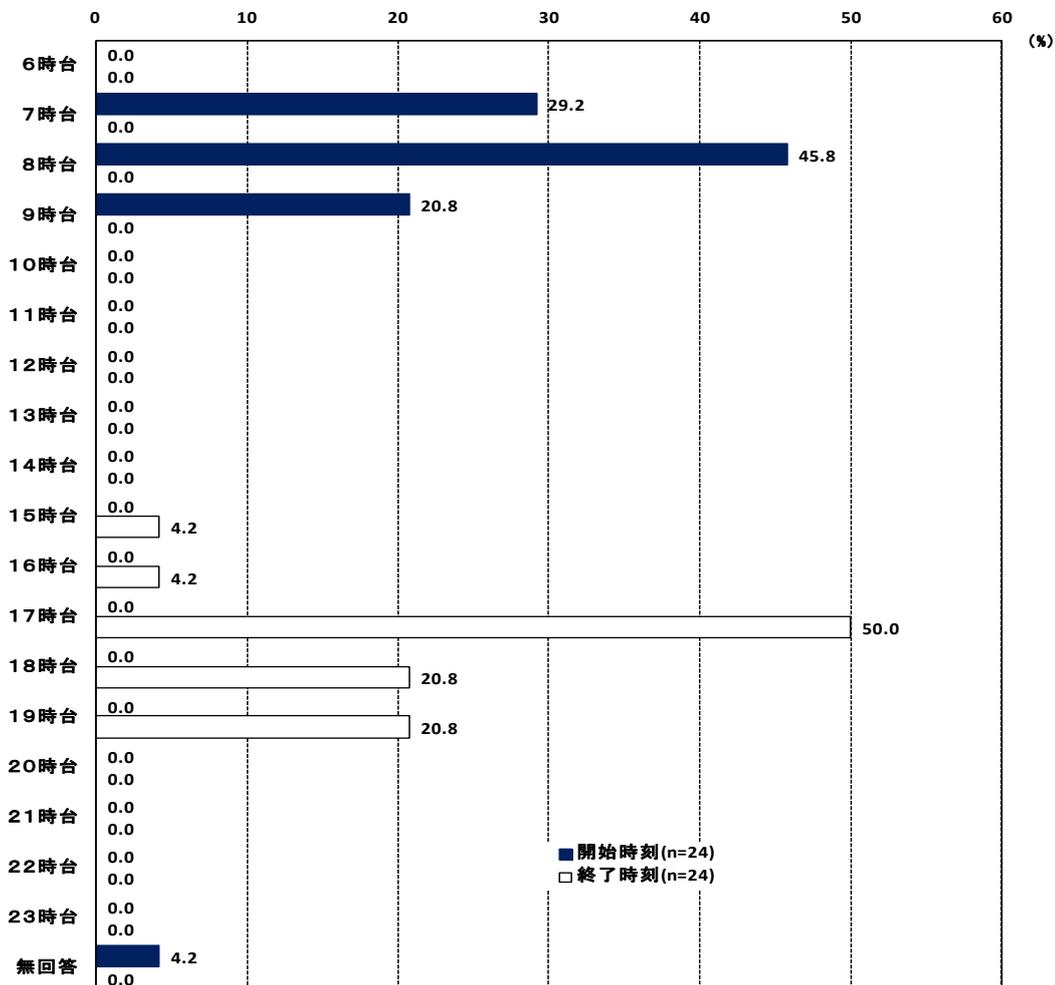
問21または問22で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にお伺いします。希望しない方は、問24にお進みください。

問23. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

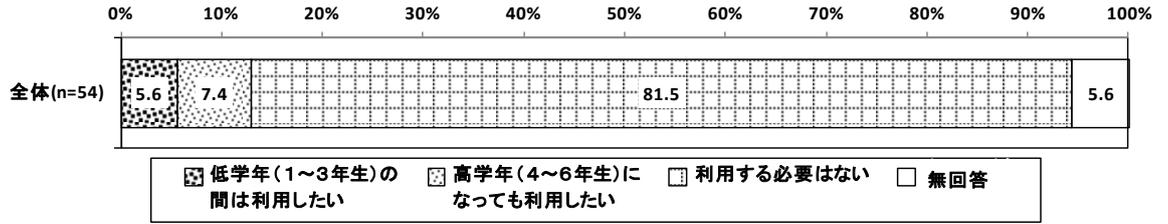
(1) 土曜日



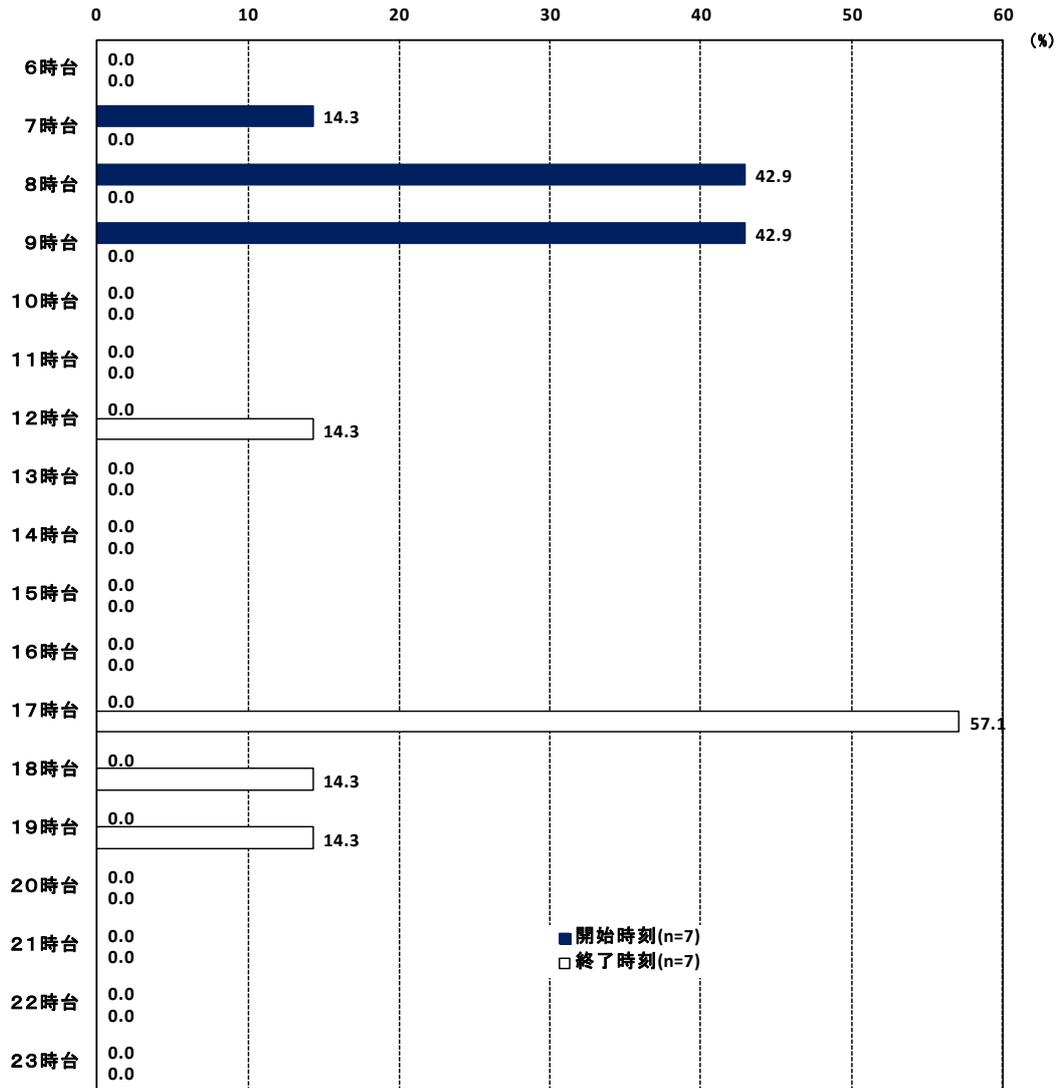
【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 03分 終了 17時 36分



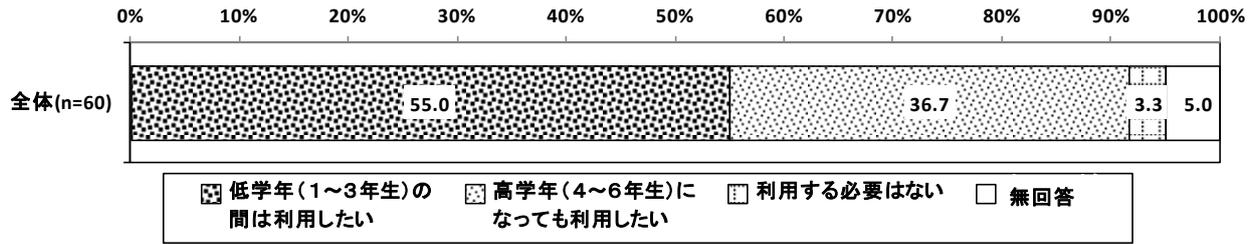
(2) 日曜日・祝日



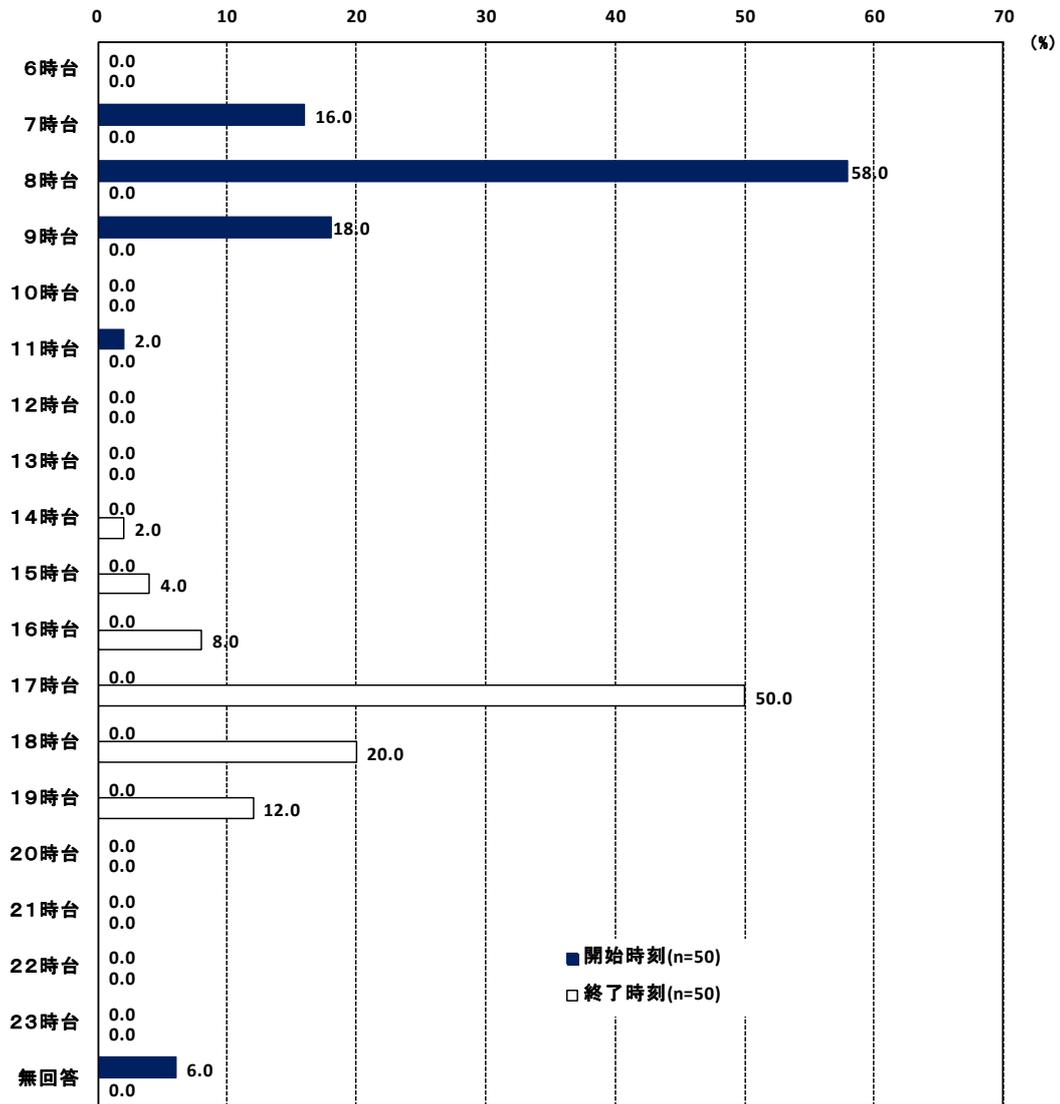
【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 25分 終了 16時 51分



(3) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中



【開始・終了時刻】 平均 開始 8時 13分 終了 17時 19分



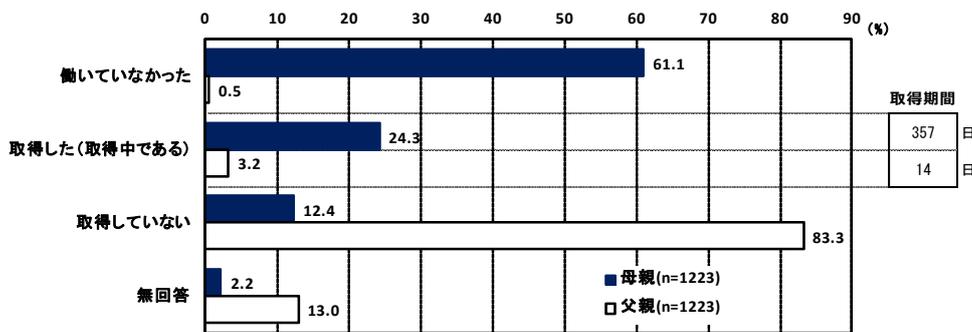
11. 育児休業制度等の利用状況

11-1. 育児休業制度の利用の有無

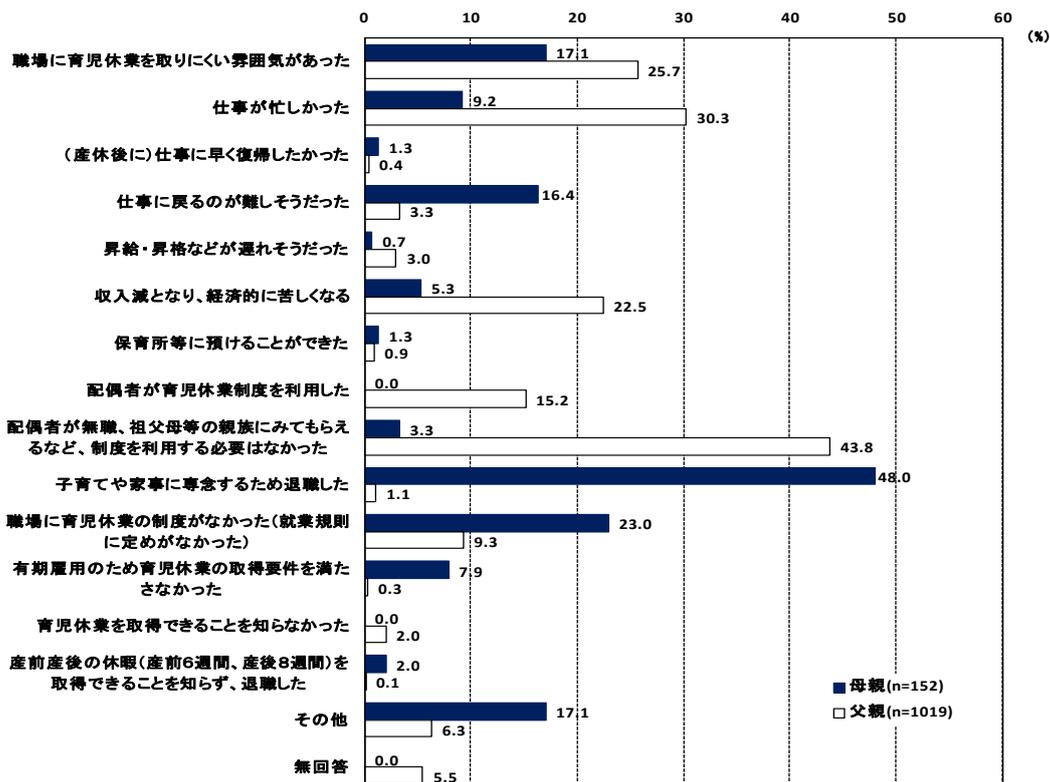
アンケート対象となった子どもが生まれた時に、母親又は父親の育児休業制度の利用経験をみると、母親が「取得した（取得中である）」が 24.3%であるのに対し、父親は 3.2%にとどまっています。「取得していない」という母親が 12.4%で、取得していない理由としては「子育てや家事に専念するため退職した」が 48.0%でもっとも高く、ついで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 23.0%、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（17.1%）「仕事に戻るのが難しそうだった」（16.4%）と続いています。

すべての方にお伺いします。

問24. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(①母親、②父親ごと1つに○)



【取得していない理由】



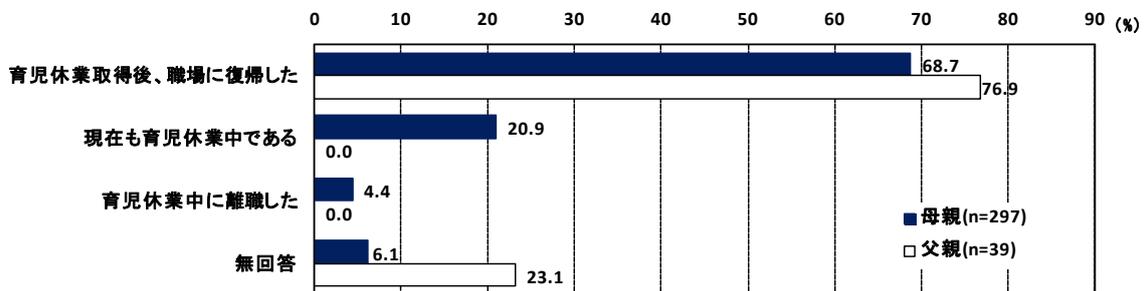
11-2. 育児休業取得後の対応等

育児休業取得後の職場復帰について、「育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた母親は68.7%で、復帰時期については、希望は子供が1歳5ヶ月の時期に対し、子どもが1歳の時期には職場復帰をしているのが現状です。

希望の時期に職場復帰しなかった理由については、希望より早く復帰した方は「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(38.3%)「希望する保育所に入園するため」(35.5%)となっており、希望より遅く復帰した方は「希望する保育所に入れなかったため」が78.6%が目立って高くなっています。

以下の問25、26は問24で母親または父親が「2」に○をつけた方にお伺いします。該当しない方は、問27へお進みください。

問25・問26. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)



問25. 問26. で「1」に○をつけた方にお伺いします。

問25-1. 問26-1. 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場に復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか

【母親】

希望 1歳 5ヶ月

実際の取得期間 1歳 0ヶ月

【父親】

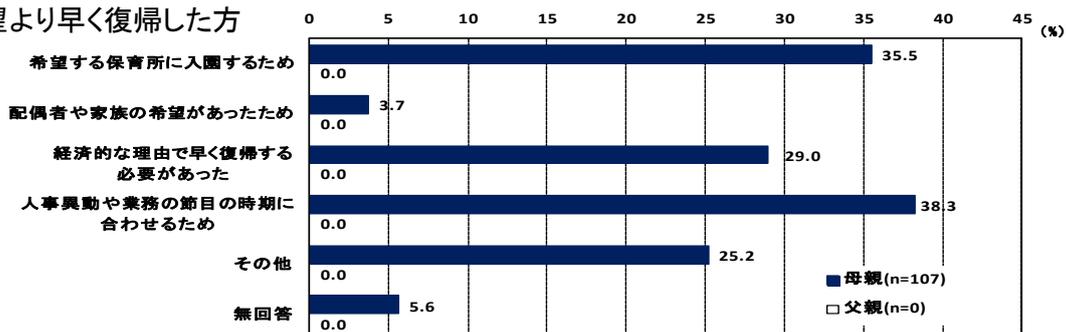
希望 1歳 2ヶ月

実際の取得期間 1歳 2ヶ月

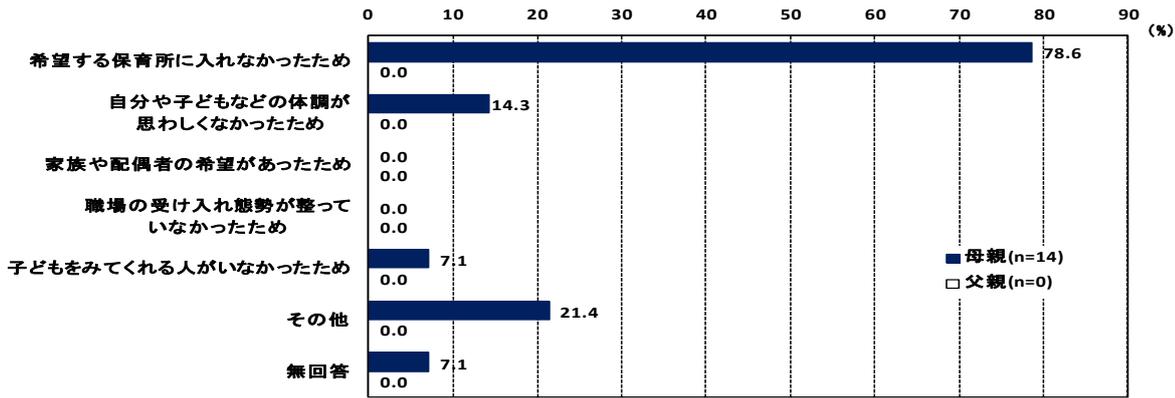
問25-1. 問26-1で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。

問25-2・問26-2. 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 希望より早く復帰した方



(2) 希望より遅く復帰した方



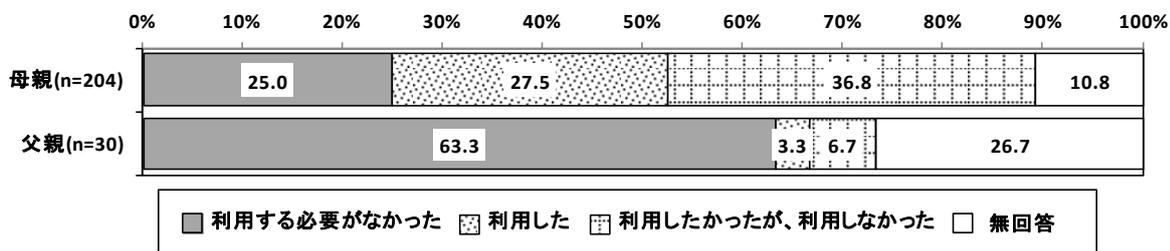
11-3. 短時間勤務制度の利用等

母親の短時間勤務制度の利用率については、「利用した」が 27.5%であるのに対し、「利用したかったが、利用しなかった」36.8%で、3人に1人は利用を希望していたにもかかわらず、利用ができなかった状況がうかがえます。利用できなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 54.7%でもっとも高く、以下「仕事が忙しかった」34.7%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」26.7%と続いており、職場環境や短時間勤務制度への理解度等が上位を占めています。

また、「あて名のお子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか」という質問に対しては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と答えた人が82.3%と8割以上になりました。

仕事と子育ての両立のために必要なことについてみると、「家族の協力」が90.3%と目立って高く、ついで「職場の中の意識や理解、協力体制」が78.1%と続き、以下「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」(57.2%)などがあがっています。

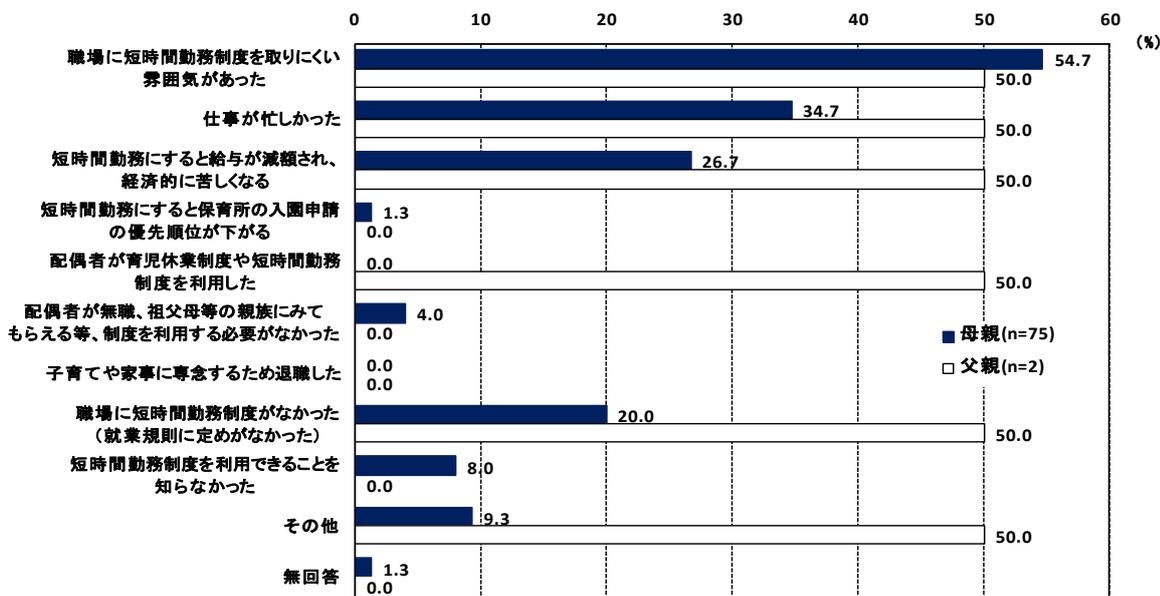
問25-3. 問26-3. 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)



問25-3・問26-3で「3」に○をした方にお伺いします。

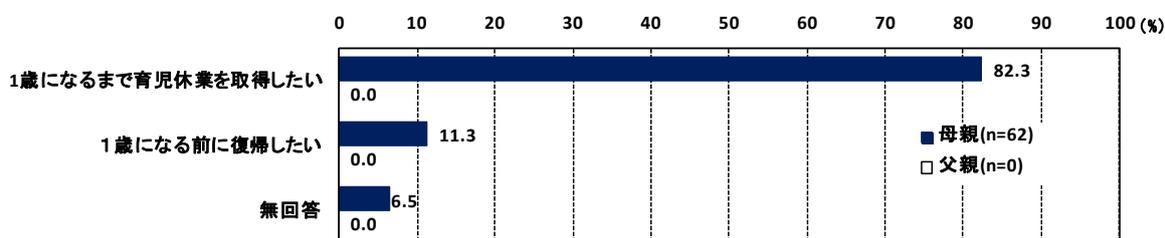
問25-4. 問26-4. 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなんですか。

（あてはまるものすべてに○）



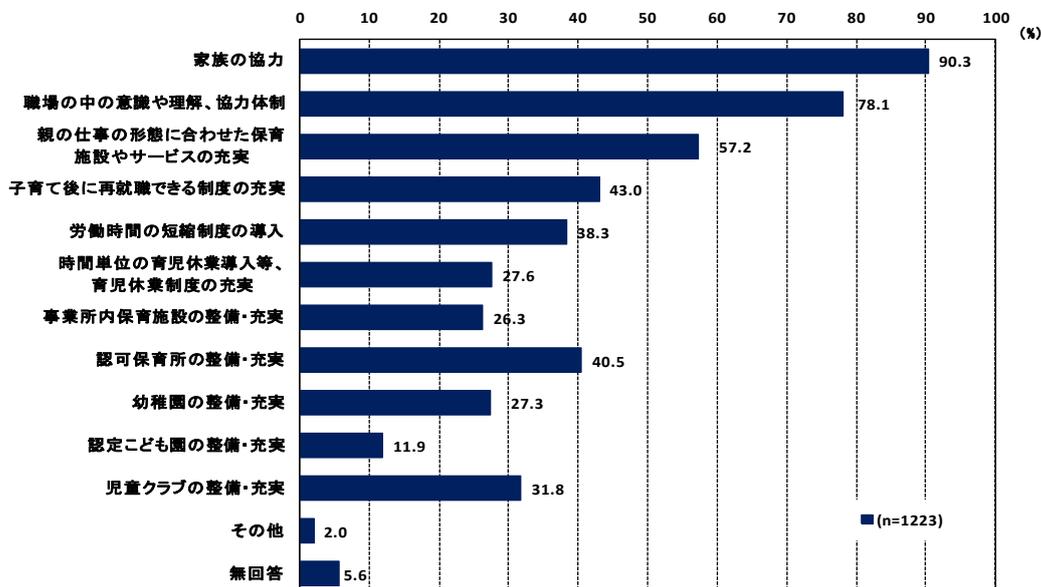
問25・問26で「2. 現在も育児休業中である」に○をした方にお伺いします。

問25-5. 問26-5. あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（1つに○）



すべての方にお伺いします。

問27. 仕事と子育てを両立するためには何が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



12. 子育て全般について

12-1. 子育てについての意識や悩み

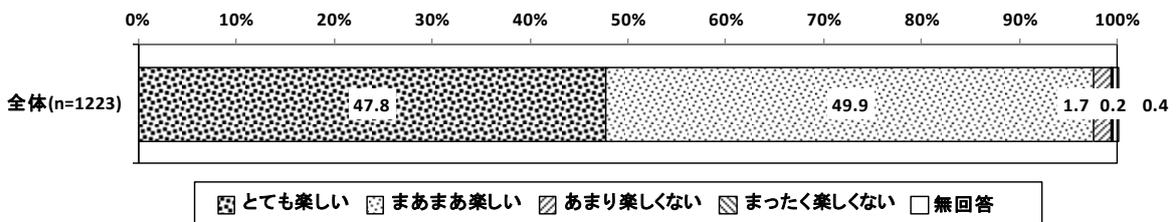
「子育ては楽しいと思いますか」という問いに対し、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を含めて97.7%となっており、大半の人が「楽しい」と感じています。

前回調査(平成 20 年 9 月)でも、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を含めて 96.1%となっています。

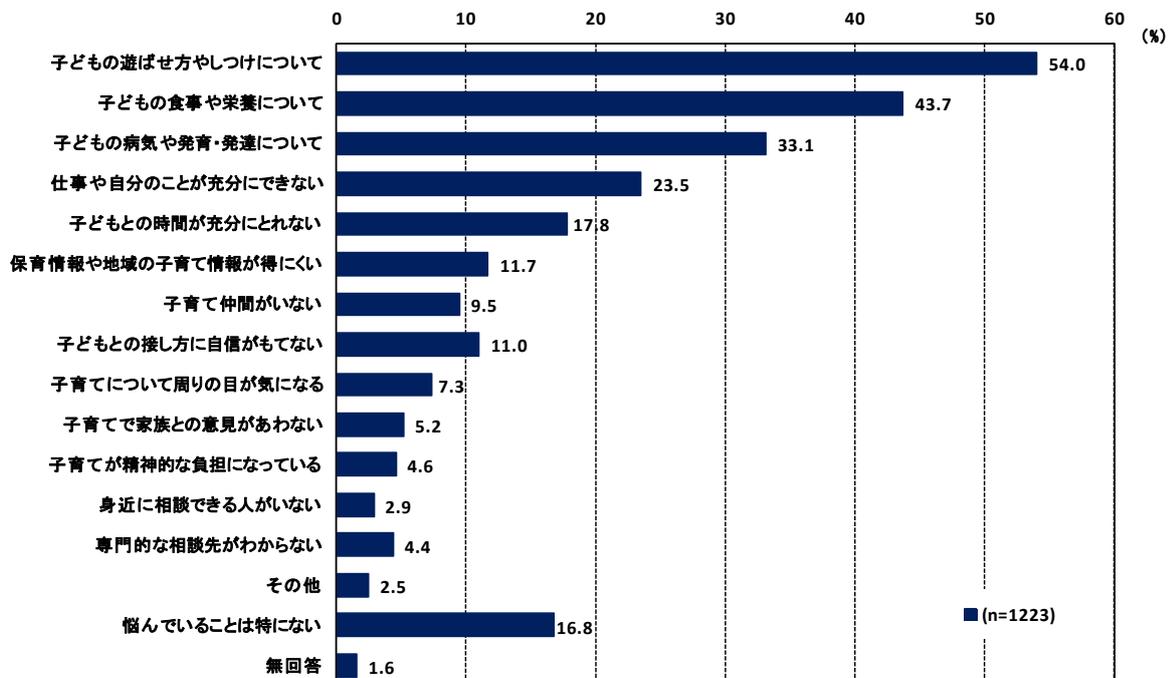
子育てに関する悩みについては、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」は 54.0%でもっとも高く、以下「子どもの食事や栄養について」(43.7%)「子どもの病気や発育・発達について」(33.1%)と続いています。前回と比較すると、「子どもの食事や栄養」(前回 40.5%)「子どもの病気や発育・発達について」(同 29.1%)は比率が高くなっており、健康に対する関心の高さを示しています。

すべての方にお伺いします。

問 28. 子育ては楽しいと思いますか。(1つに○)



問 29. 子育てに関する悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

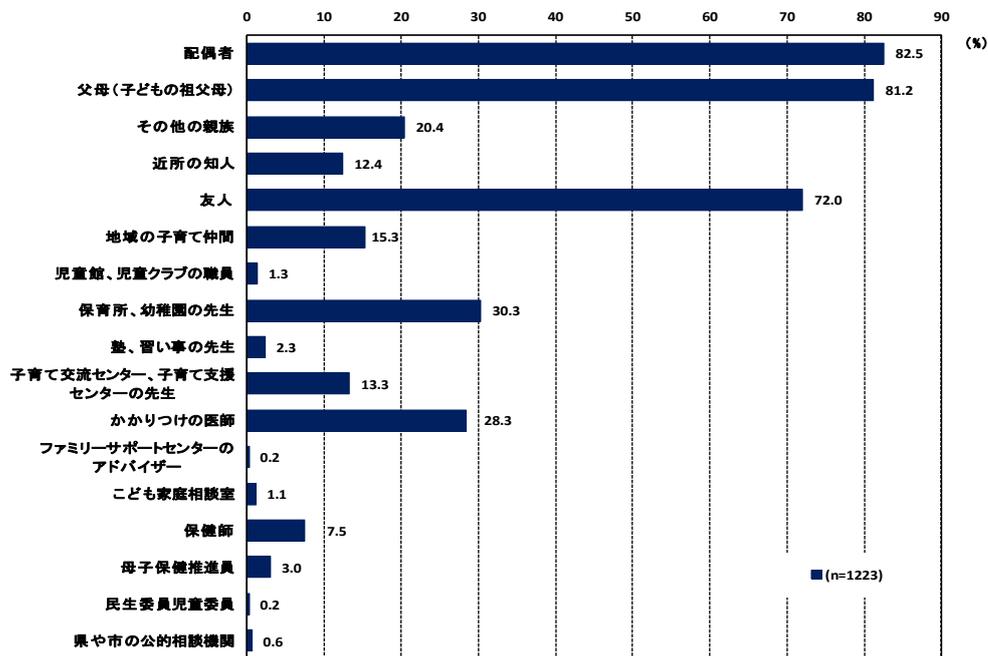


12-2. 悩みや不安の身近な相談先

子育ての悩みや不安について、相談相手としては、「配偶者」(82.5%)「父母(子どもの祖父母)」(81.2%)「友人」(72.0%)の3項目が目立って高く、いずれも7割を超えています。以下、「保育所、幼稚園の先生」の30.3%、「かかりつけの医師」の28.3%、「その他の親族」の20.4%の順となっています。上位3項目は前回調査と変わらず、身近な子育て経験者の存在の大きさが目立っています。

その他、「民生委員児童委員」、「ファミリーサポートセンターのアドバイザー」「県や市の公的相談機関」等の公的機関は、極めて低率です。

問30. お子さんのことで何かわからないことや困ったこと、悩み事があるとき、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

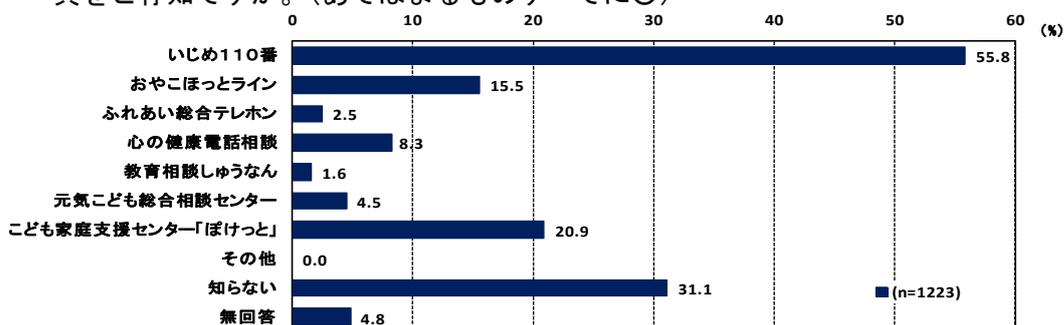


12-3. 悩みや不安の専門的な相談先

悩みや不安の専門的な相談窓口についての認知度について、「いじめ110番」が55.8%でもっとも高く、全体の半数を超えています。

以下、「子ども家庭支援センター『ぽけっと』」が20.9%、「おやこホットライン」が15.5%の順となっています。「教育相談しゅうなん」については、認知度が1.6%と極めて低率です。

問31. 県内には青少年の悩みにこたえるために、いろいろな相談窓口があります。次のうちの窓口をご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)



12-4. 子どもの遊び場や外出時について

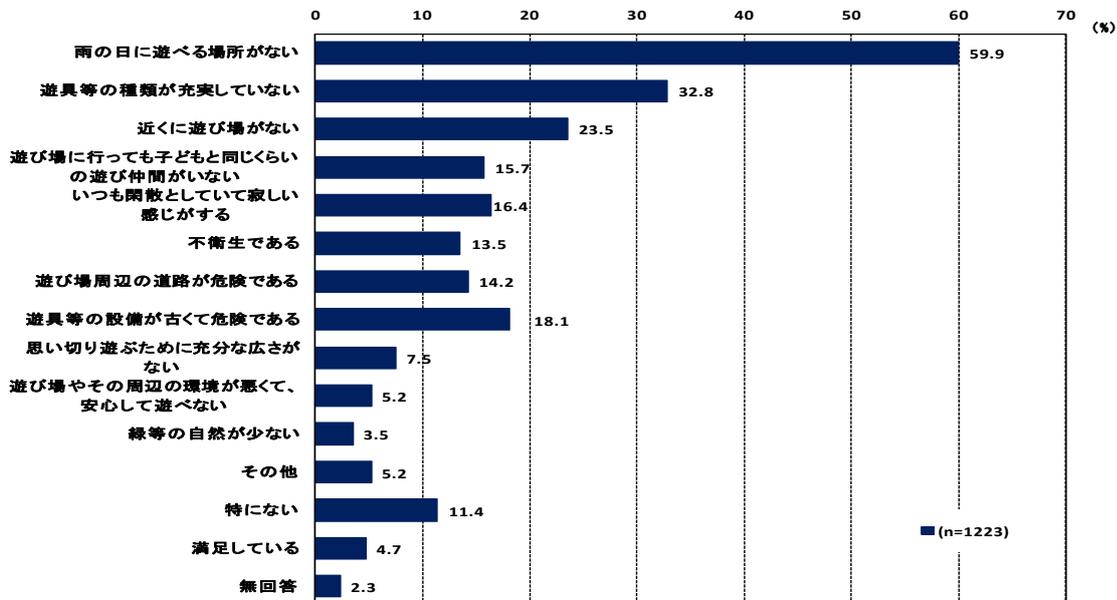
家の近くの子どもの遊び場に対して、日頃困っていることについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が 59.9%と圧倒的に高くなり、「遊具等の種類が充実していない」32.8%、「近くに遊び場がない」23.5%、「遊具等の設備が古くて危険である」18.1%と続いています。前回調査と比較すると、上位 3 項目に変化ありませんが、今回は「遊具等の設備が古くて危険である」がその次に挙げられており、設備面での安全・安心が求められています。

子どもと一緒に外出で困ることについては、「トイレやオムツ替え、親子での移動に配慮されていない」が 33.4%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」が 31.2%、「買い物や用事の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」が 29.4%などとなっています。

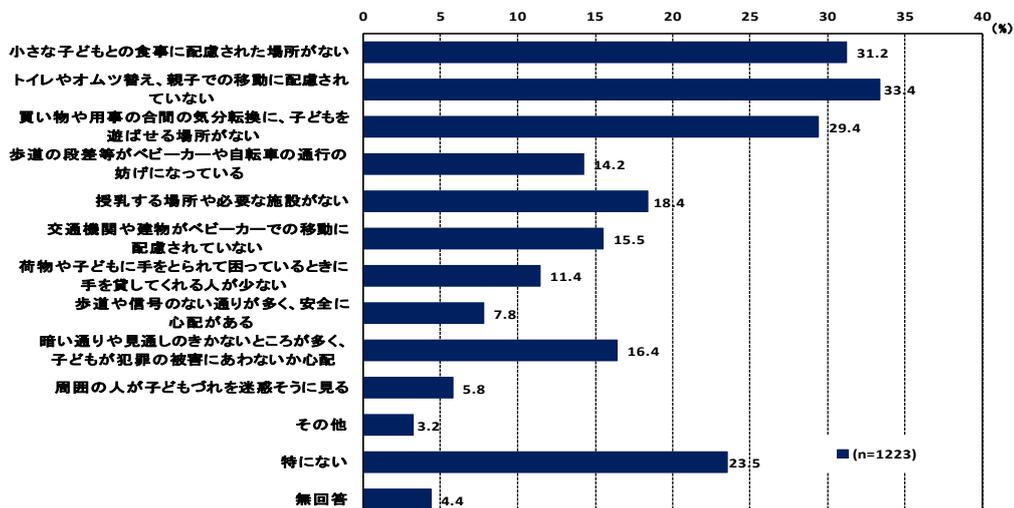
前回調査と比較すると、上位 3 項目には変わりないものの、前回 2 位だった「トイレやオムツ替え、親子での移動に配慮されていない」が、今回 1 位にあげられています。

すべての方にお伺いします。

問 3 2. 家の近くでお子さんの遊び場について、日ごろ困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



問 3 3. お子さんと一緒に外出の際に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



12-5. 地域での子育て支援について

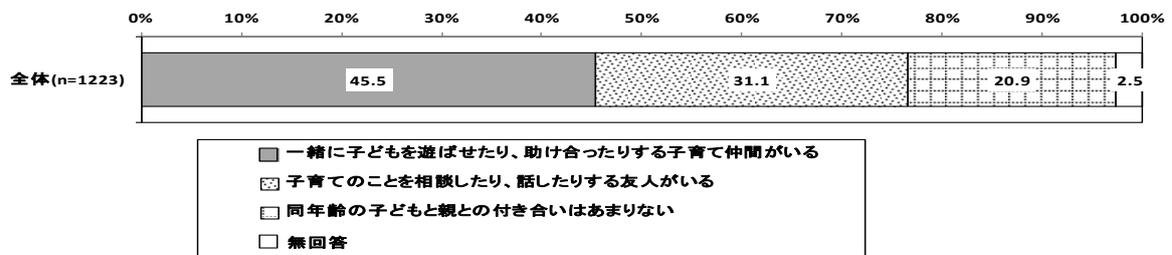
育児グループ等の子育て仲間の有無については、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」は 45.5%、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」は 31.1%で、7 割以上の方が子育て仲間や友人がいると答えています。前回調査でも8 割近くの方が子育て仲間や友人がいると答えています。

子育ての仲間づくりの機会への参加意欲については、「ぜひ参加したい」「参加したい」を含めると約 5 割の方が参加意欲を持っています。「参加したくない」と答えた理由については「付き合いが面倒」「忙しくて時間がない」のような理由がみられました。

前回調査でも参加意欲のある人は 6 割近くを占めています。

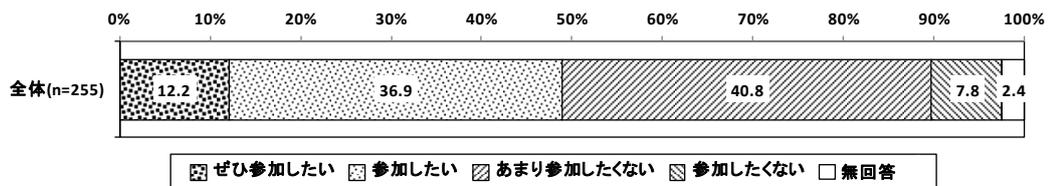
安心して子育てをするために地域で必要だと思う取り組みについては、「子育て中の親子が集まれる場や遊べる場を増やす」が 60.6%で目立って高く、以下「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」44.2%、「子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みを作る」34.4%となっています。前回調査でも、この上位 3 項目に変わりはありません。

問 3 4. あなたは、子をもつ親同士のつきあい、育児グループ等の子育ての仲間はいますか。(1つに



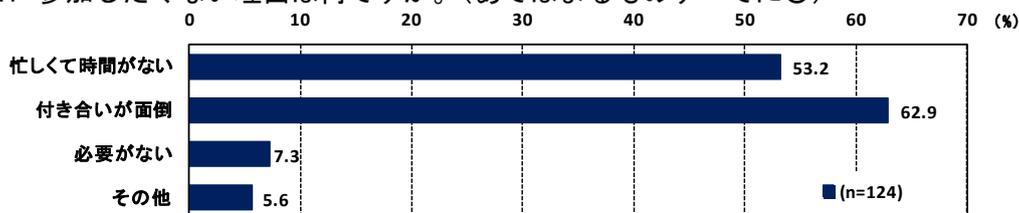
問34で「3」に○をした方にお伺いします。

問 3 4 - 1. 子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思いますか。(1つに○)

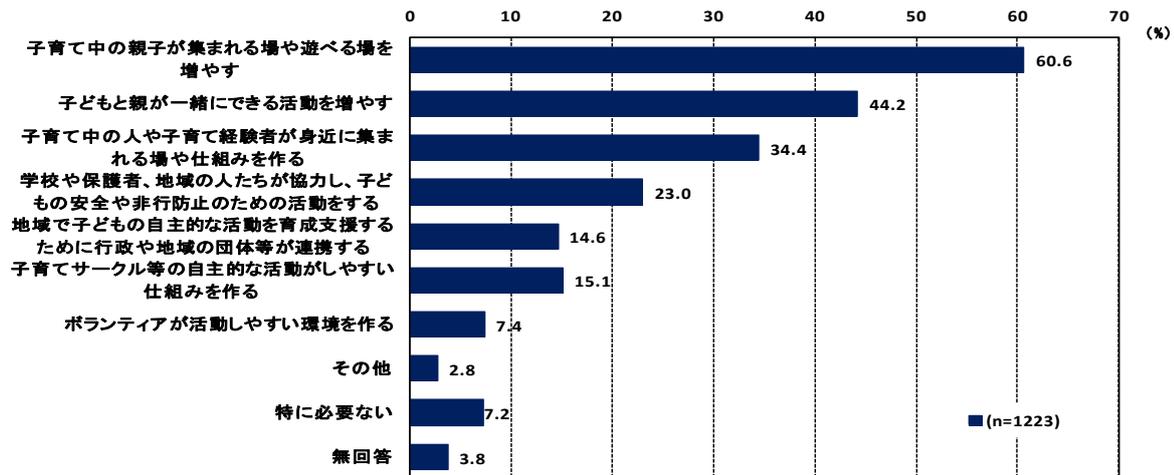


問34-1で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問 3 4 - 2. 参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



問35. 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

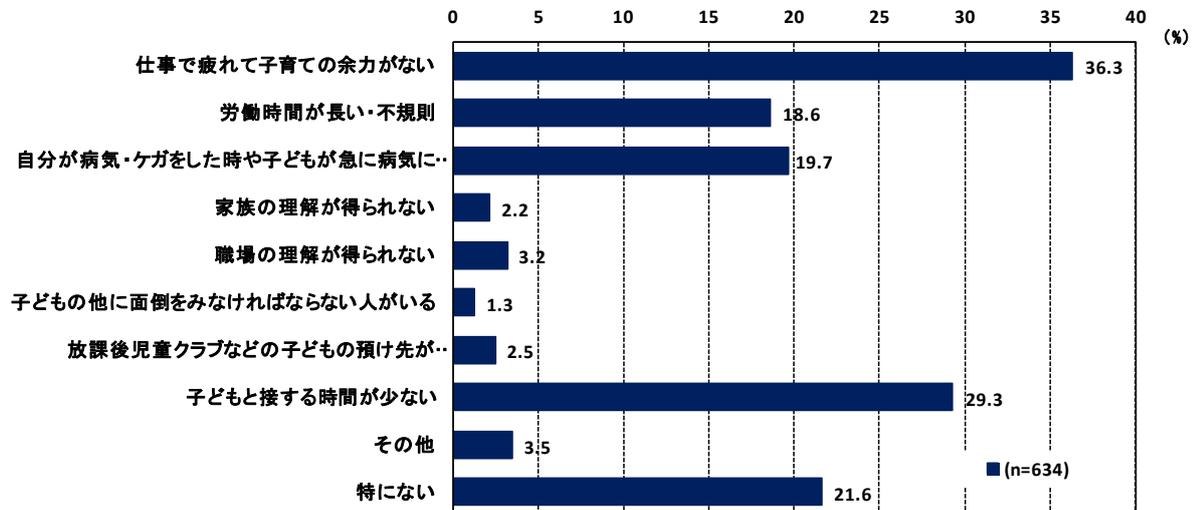


12-6. 仕事と子育ての両立について

仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることについては、「仕事で疲れて子育ての余力がない」が36.3%でもっとも高く、ついで「子どもと接する時間が少ない」が29.3%となっています。以下「自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気に」

【現在就労されている方にお伺いします。】

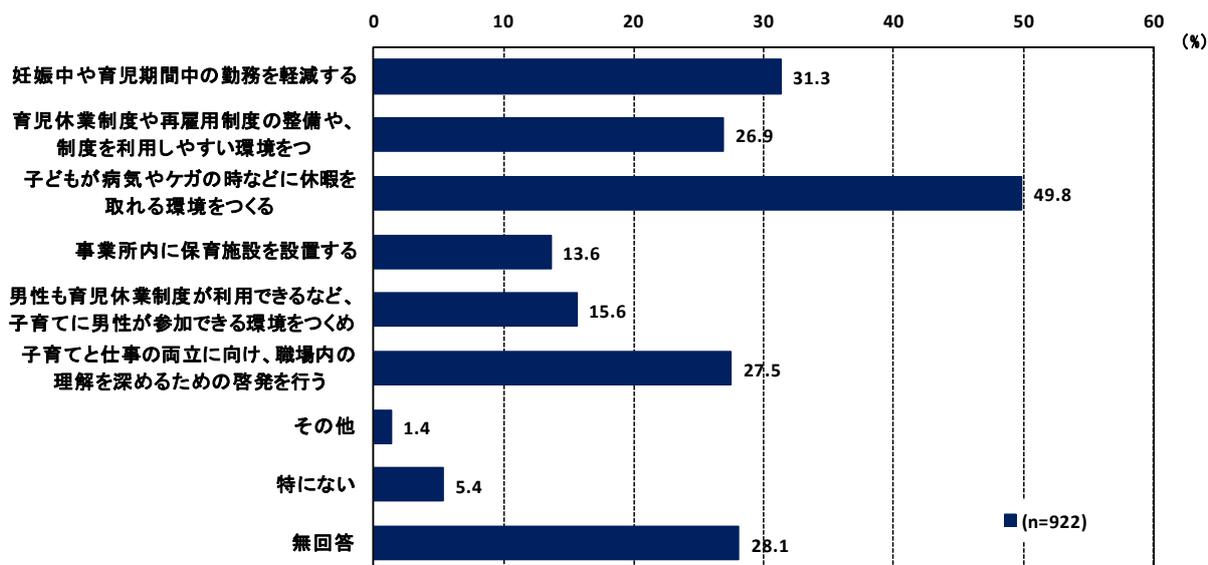
問37. 仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。(2つまで○)



12-7. 子育てと仕事の両立支援に必要なことについて

子育てと仕事の両立支援のために企業等が取り組む必要があることについての希望をみると、「子どもが病気やケガの時などに休暇を取れる環境をつくる」が 49.8%でもっとも高く、以下「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」が 31.3%、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が 27.5%、「育児休業制度や再雇用制度の整備や、制度を利用しやすい環境をつくる」が 26.9%と続いています。

問 38. 子育てと仕事の両立支援のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。
(3つまで○)



13. 子どもの権利について

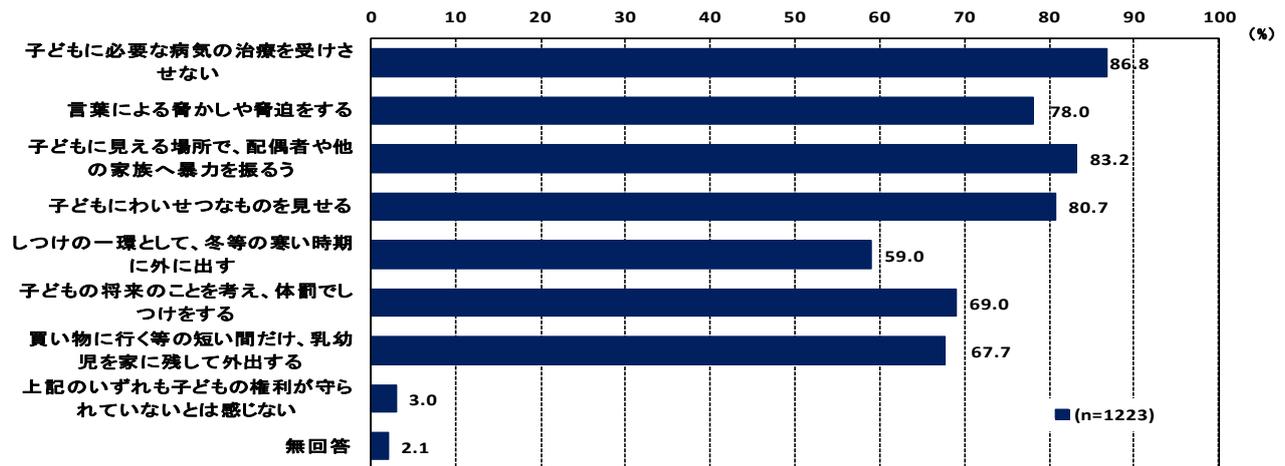
子どもの権利が守られていないと感じる行為についてみると、「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」(86.8%)、「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」(83.2%)、「子どもにわいせつなものを見せる」(80.7%)の3項目が8割を超えています。

子どもの権利が守られていないと感じられる家庭を知った時の行動についてみると、「地域の役員(民生委員・児童委員、主任児童委員等)や家族、知人に相談する」が31.6%と最も高く、続いて「公的機関(児童相談所、市役所等)に連絡する」(27.1%)、「とりあえず様子を見る」(25.8%)となりました。

「気になるが、何もできない」は13.7%、「何もしない」は0.7%となっています。

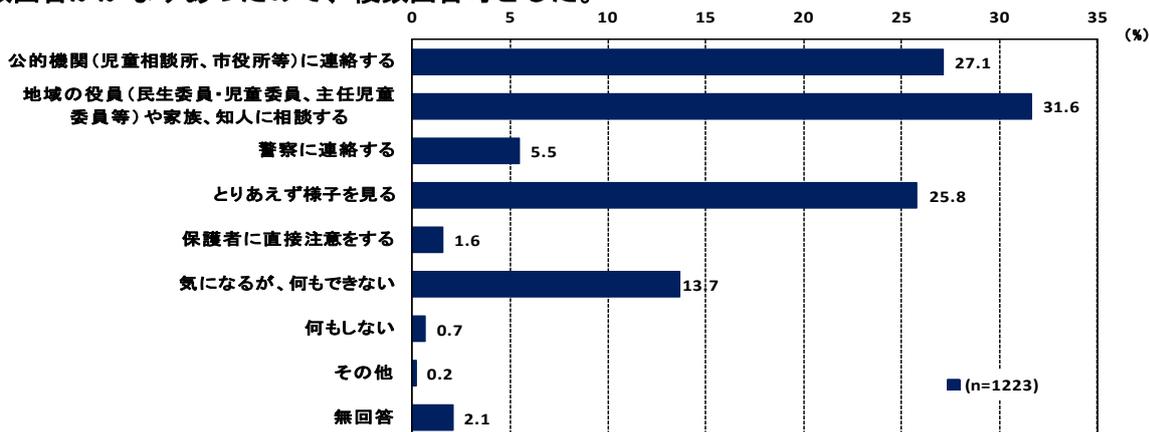
すべての方にお伺いします。

問36. あなたはどのような行為に対して、子どもの権利が守られていないと感じますか。(あてはまるものすべてに○)



問37. 子どもの権利が守られていないと感じられる行為が行われている家庭を知った時、あなたなら最初にどうしますか。(1つに○)

複数回答がかなりあったので、複数回答可とした。

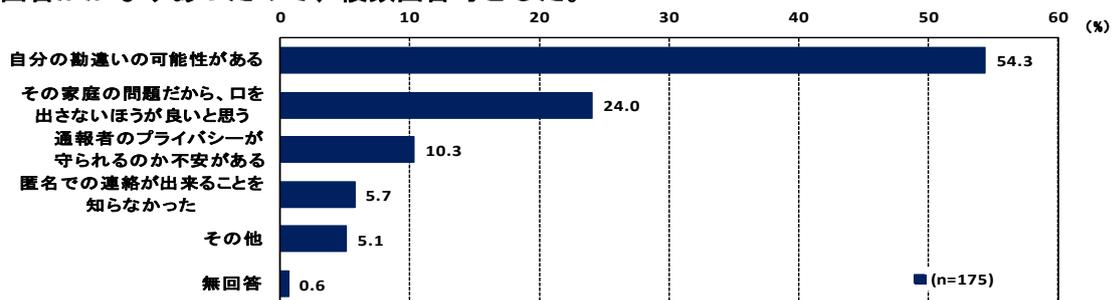


「気になるが、何もできない」「何もしない」と答えた人について、その理由をみると、「自分の勘違いの可能性がある」が 54.3%でもっとも多く、以下「その家庭の問題だから、口を出さない方が良くと思う」24.0%、「通報者のプライバシーが守られるのか不安だから」10.3%、「匿名での連絡ができることを知らなかった」5.7%と続いています。

問37で「6 気になるが、何もできない」または「7 何もしない」に○をした方にお伺いします。

問37-1. その理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(1つに○)

複数回答がかなりあったので、複数回答可とした。



14. 子育て支援策についての満足度と重要度

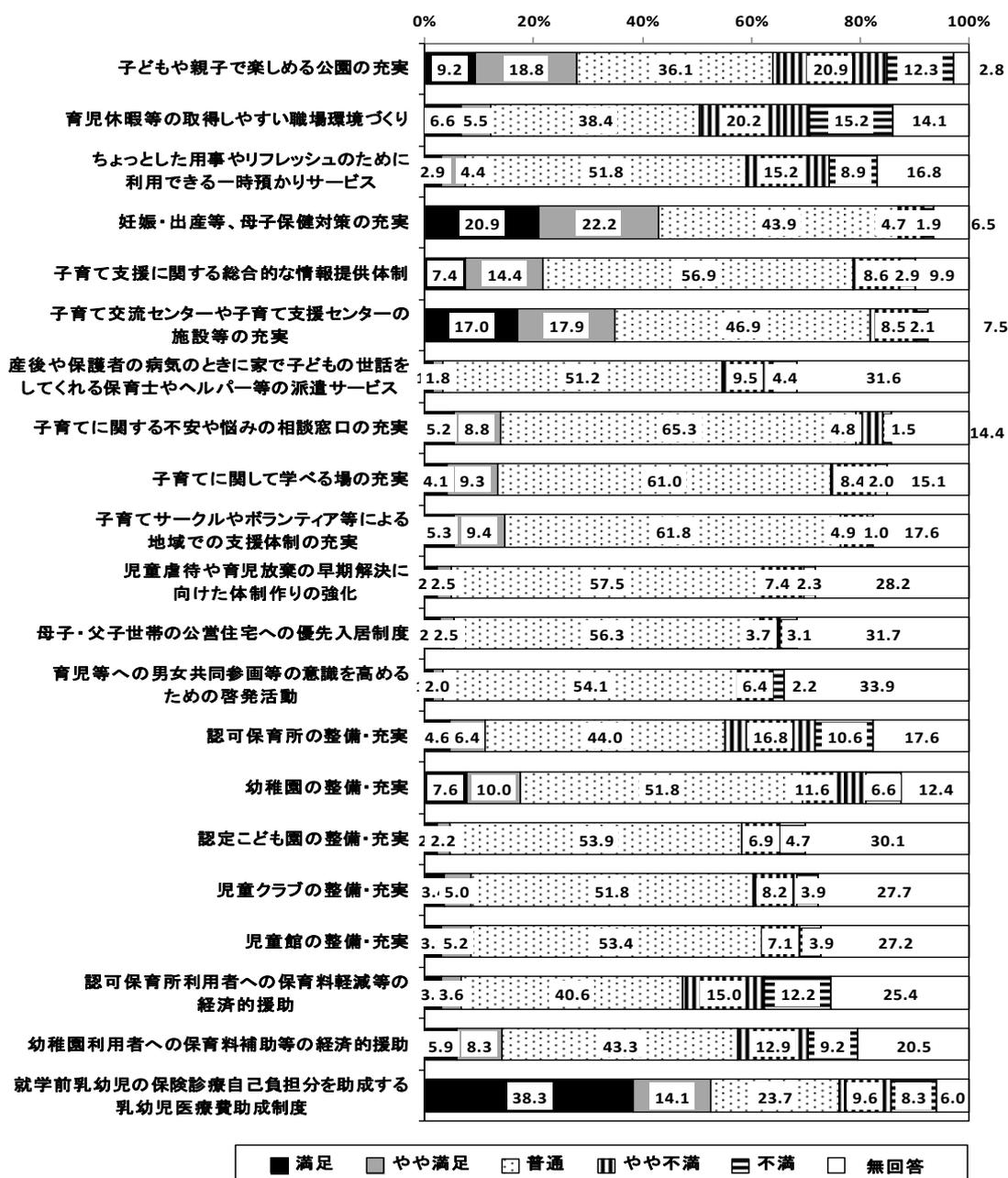
【満足度】

本市の子育て支援策に対する「満足度」は、「就学前乳幼児の保険診療自己負担分を助成する乳幼児医療費助成制度」が「満足」「やや満足」を含めて52.4%と半数以上で、ついで「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」が43.1%となっています。

一方、「育児休暇等の取得しやすい職場環境づくり」については、「やや不満」「不満」を含めて35.4%となりました。以下「子どもや親子で楽しめる公園の充実」の33.2%、「認可保育所の設備・充実」の27.4%、「認可保育所利用者への保育料補助等の経済的援助」の27.2%と続いており、子育てと仕事の両立のための職場づくりや保育所制度の充実にニーズが高まっています。

問38. 本市の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

【満足度】

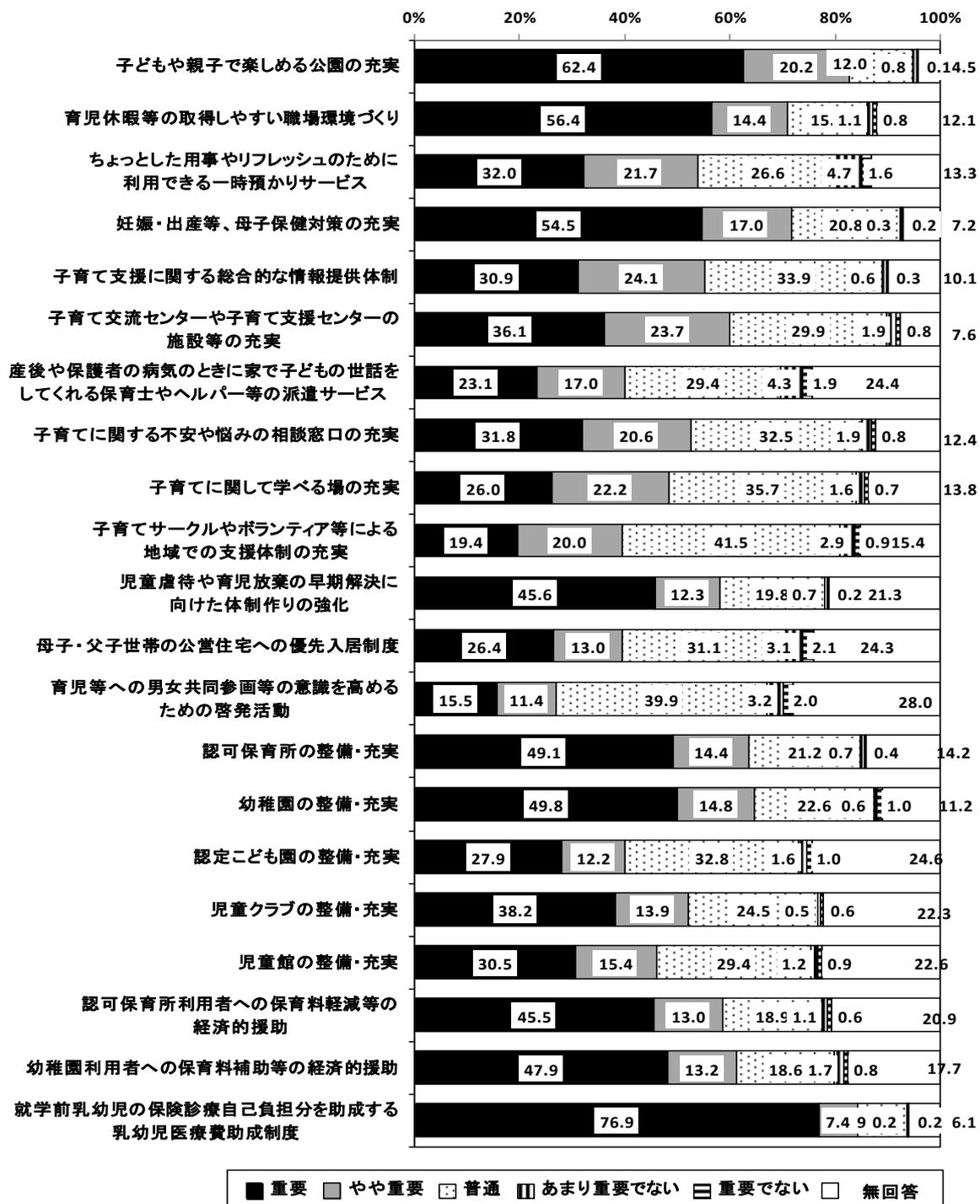


【重要度】

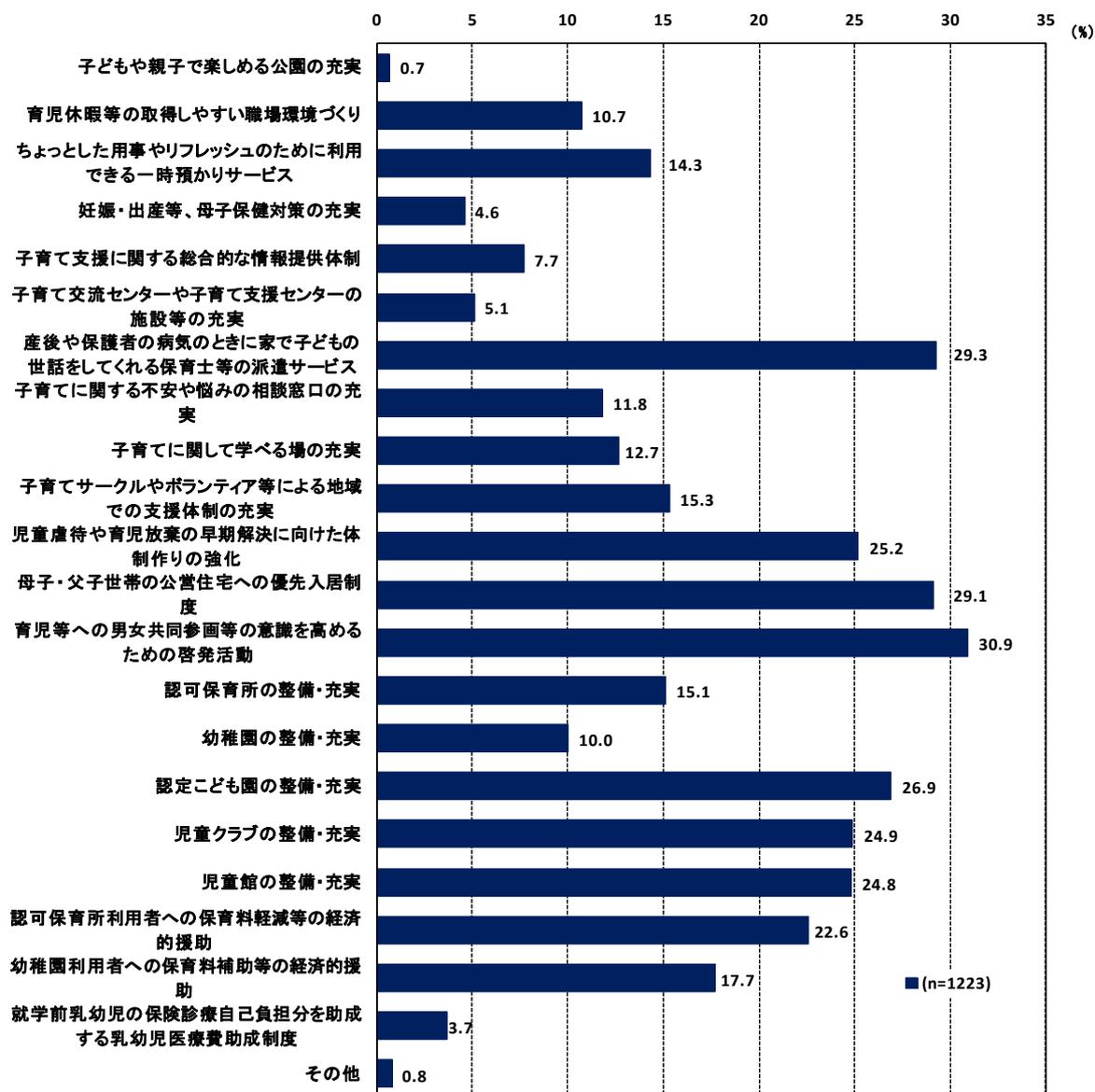
本市の子育て支援策に対する「重要度」は、「就学前乳幼児の保険診療自己負担分を助成する乳幼児医療費助成制度」が「重要」「やや重要」を含めて 84.3%で、ついで「子どもや親子で楽しめる公園の充実」が 82.6%と目立って高くなっています。以下「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」の 71.5%、「育児休暇等の取得しやすい職場環境づくり」の 70.8%、「幼稚園の整備・充実」の 64.6%、「認可保育所の整備・充実」の 63.5%、「幼稚園利用者への保育料補助等の経済的援助」の 61.1%と続いています。

安心して子育てができるよう、医療費助成制度や、公園等設備の充実に対してのニーズがうかがえます。

【重要度】



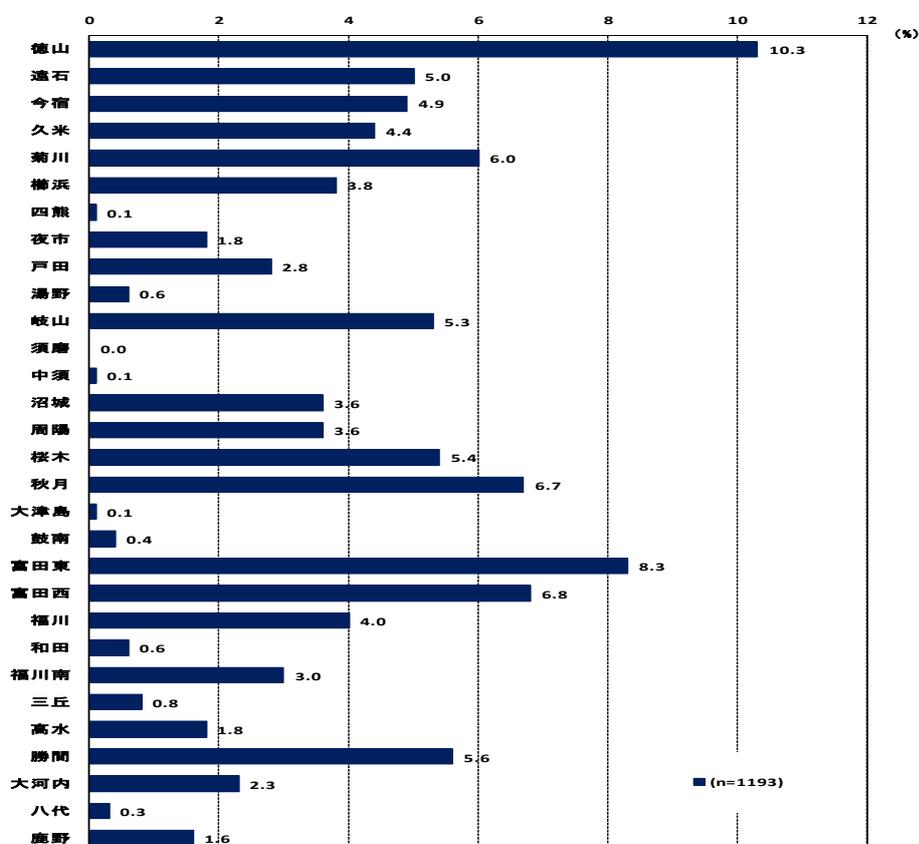
【制度・内容がわからない】



III 小学生児童調査結果

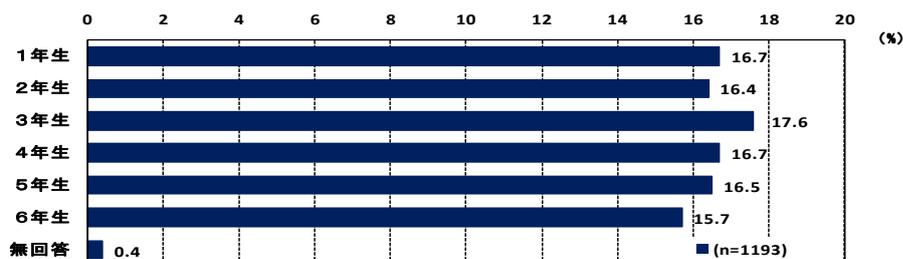
1. 対象者及び保護者の特性

問1. お住まいの地区を教えてください。(1つに〇)

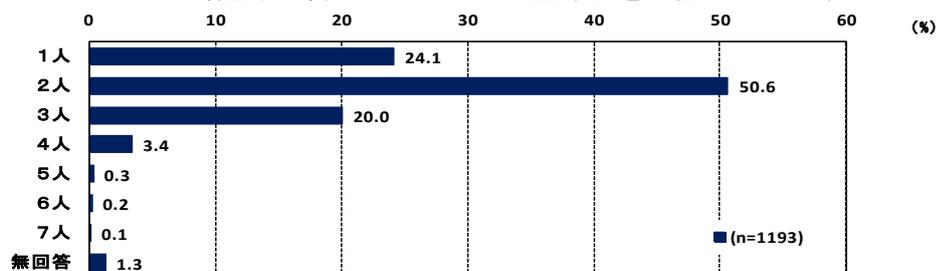


問2. あて名のお子さんの生年月と学年をお聞きます。

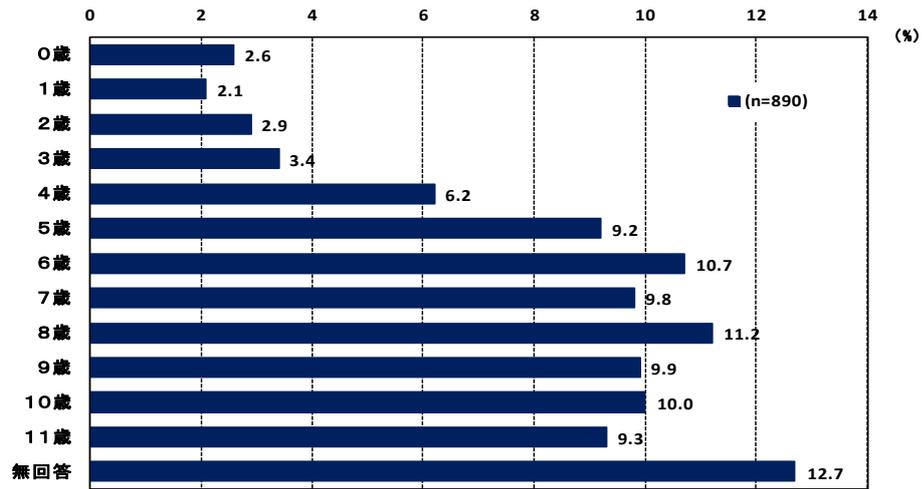
【学年】



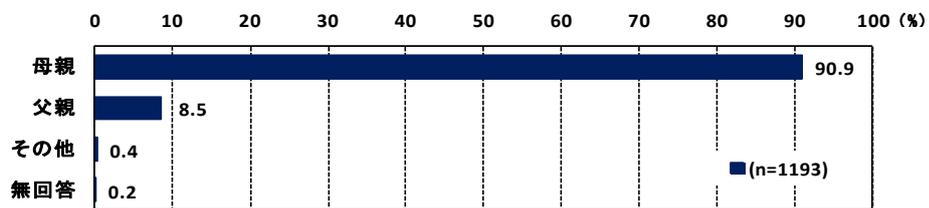
問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。



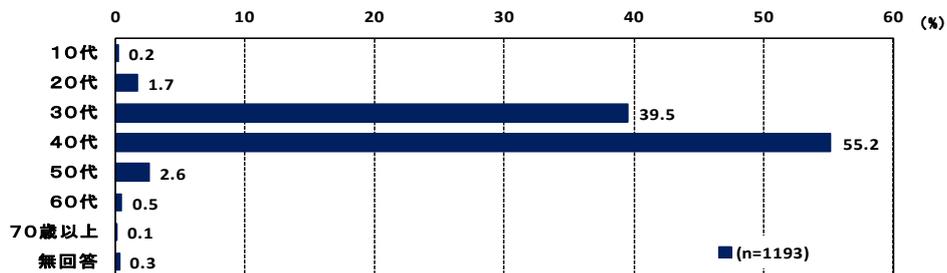
【末子年齢】



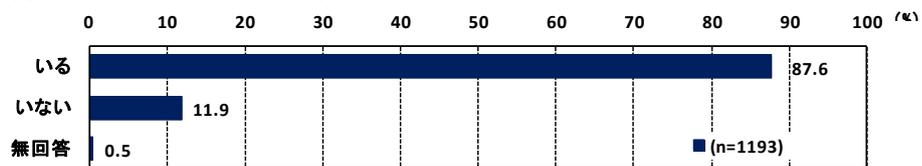
問4. あなたは、あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



問5. あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

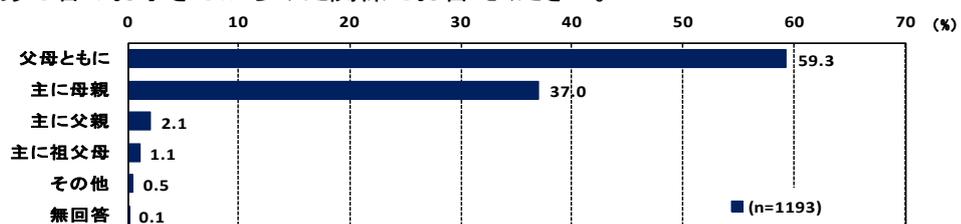


問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)

※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。



2. 保護者の就労状況について

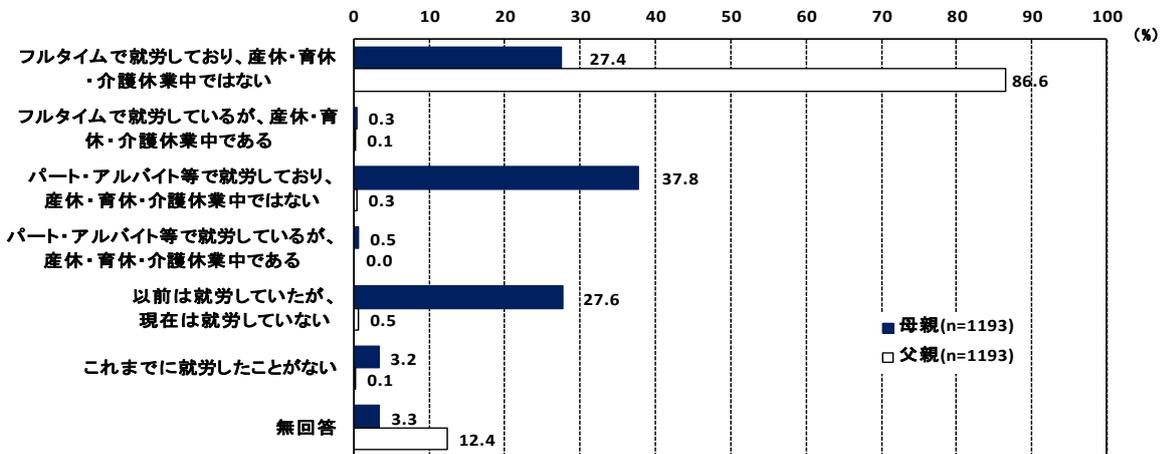
2-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況をみると、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.8%でもっとも高くなっています。ついで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が27.6%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.4%となっています。父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が86.6%と大半を占めています。

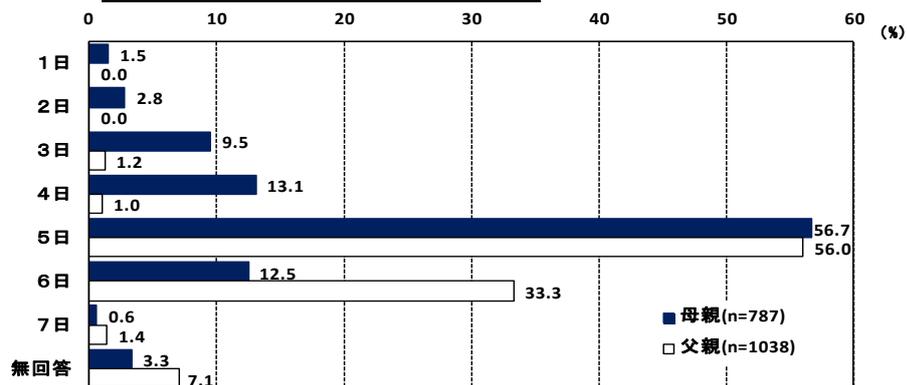
母親の1週間当たり就労日数は、5日が56.7%でもっとも高く、1日当たり就労時間は8～9時間未満がもっとも高くなっています。

出勤・帰宅時刻についてみると、母親の出勤時刻は「8時台」の45.7%がもっとも高くなっており、帰宅時刻は「18時台」の24.0%がもっとも高くなっています。

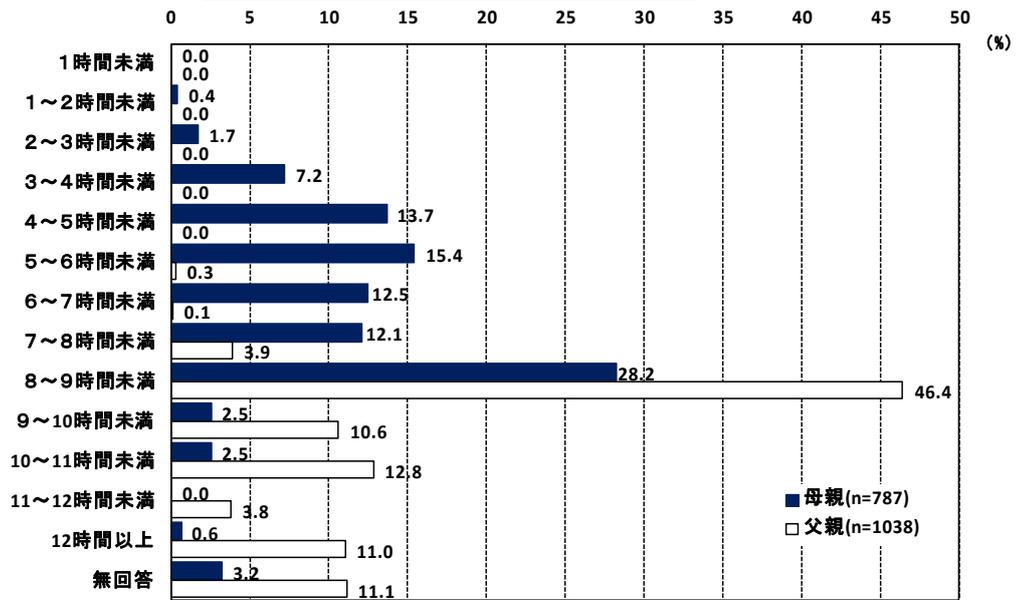
問8. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお伺いします。(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)



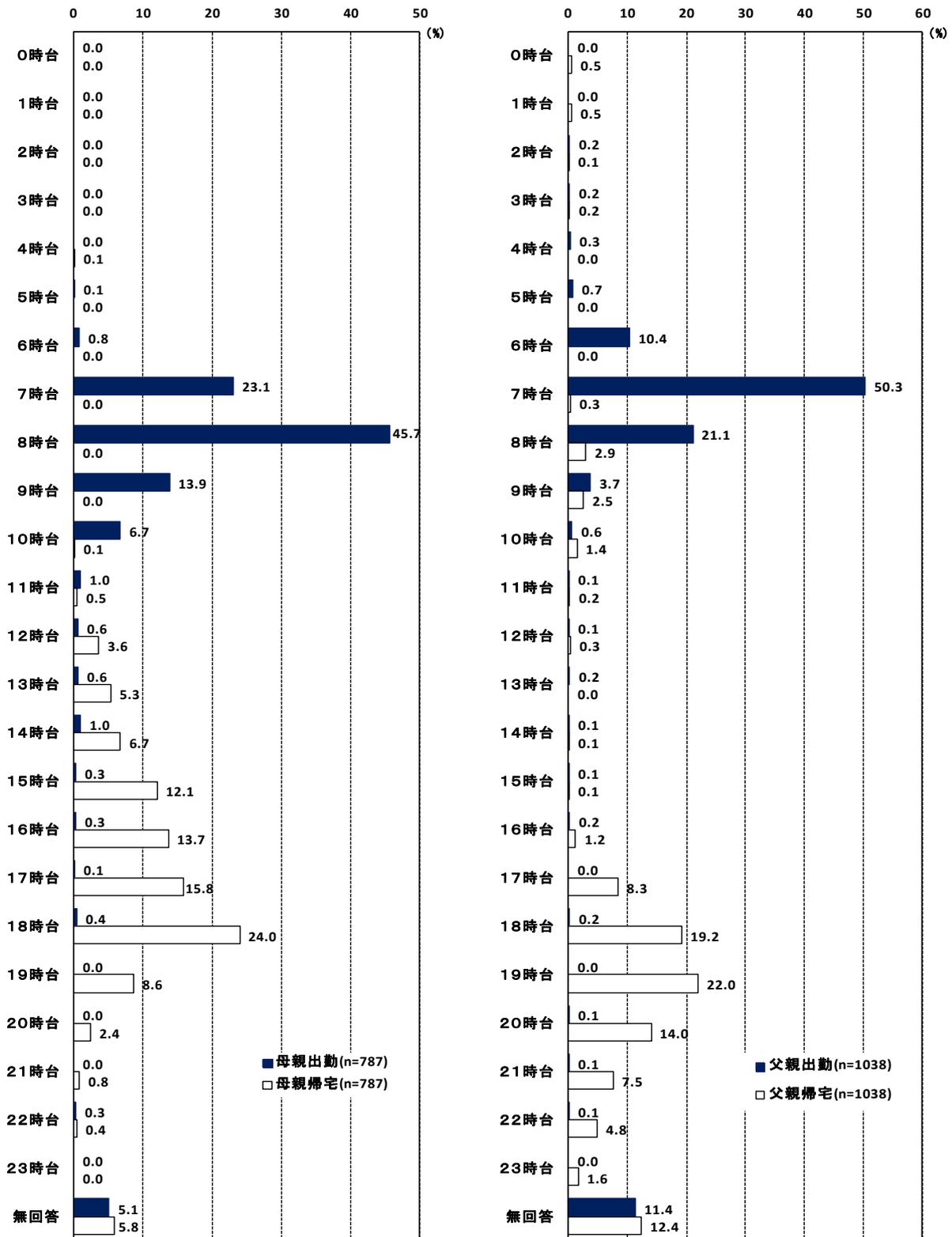
【1週間当たり就労日数】 **平均 母親 4.6日 父親 5.3日**



【1日当たり就労時間数】 **平均 母親 6.1時間 父親 9.0時間**



【出勤・帰宅時刻】 平均 母親 出勤 8時 25分 帰宅 16時 30分
父親 出勤 7時 22分 帰宅 19時 00分



【 就労形態による世帯累計 】

サンプル数		458						
				父		親		
		フルタイム で就労して いない	パート・ア ルバイト等 で就労して いる	パート・ア ルバイト等 で就労して いる	パート・ア ルバイト等 で就労して いる	パート・ア ルバイト等 で就労して いる	パート・ア ルバイト等 で就労して いる	無回答・ いない
母	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	163 35.6%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	29 6.3%
	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%
	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	123 26.9%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	17 3.7%
	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4 0.87%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%
親	以前は就労していたが、現在は就労していない	61 13.3%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	7 1.5%
	これまでに就労したことがない	7 1.5%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答・いない	15 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	14 3.1%

上段：実数 下段：サンプル数を母数とするパーセント

共働き世帯	299	65.3%
専業主婦世帯	78	17.0%
父親就労無回答世帯	69	15.1%
母親就労無回答世帯	16	3.5%

母親・父親の就業形態からみた家族類型をみると、共働き世帯の 65.3%でもっとも多く、次いで専業主婦世帯が 17.0%となっています。

共働き世帯の就業形態では、母親が「フルタイム」の比率が「パート・アルバイト」の比率を 10 ポイントほど上回っており、教育・保育サービス別の今後の必要量に影響を及ぼすと予想されます。

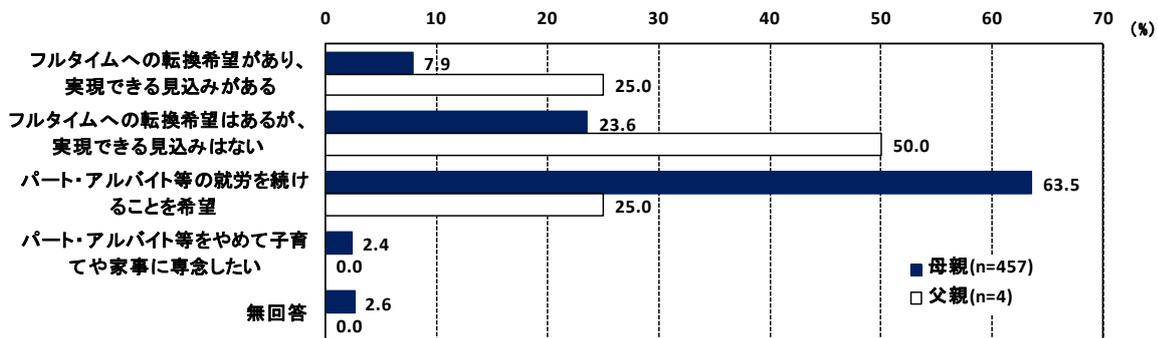
3-2. フルタイムへの転換希望

フルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が63.5%でもっとも高く、全体の6割を超えています。ついで、「フルタイムへの転換希望があるが、実現できる見込みはない」が23.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.9%となっています。

全体でフルタイムへの転換希望の割合は31.5%で、約3人に1人の人がフルタイムへの転換を希望しています。しかし、実現できる見込みがあるのはそのうちわずか7.9%と、フルタイムへの転換の実現は厳しい状況がうかがえます。

問8. で「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にお伺いします。

問8-1. フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)



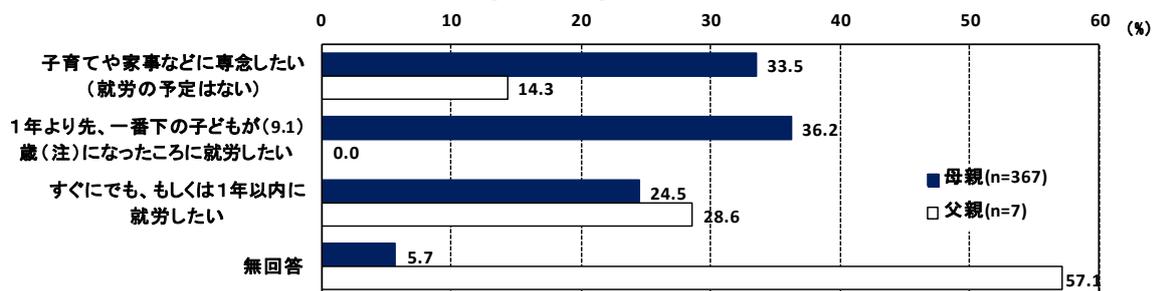
3-3. 現在就労していない母親(父親)の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでももしくは1年以内に就労したい」が24.5%、「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」が36.2%と、全体の就労意向は6割を超えており、就労意欲は強くなっています。

問8で「5」または「6」に○をつけた方にお伺いします。

問8-2. 今後の就労希望はありますか。(①母親、②父親ごと1つに○)



(注) ()歳の数字は、平均年齢

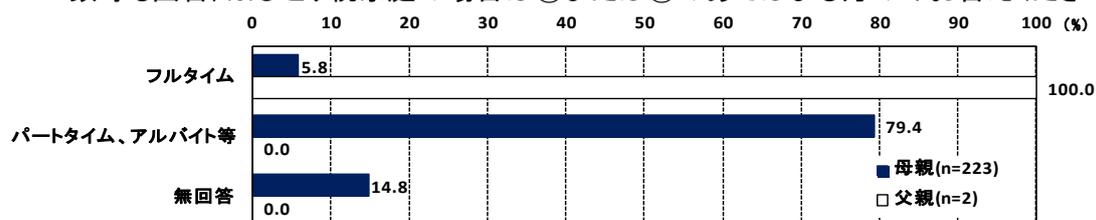
(2) 就労希望の形態

希望する就労形態としては、「フルタイムによる就労」は 5.8%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等による就労」が 79.4%と圧倒的に高くなっています。

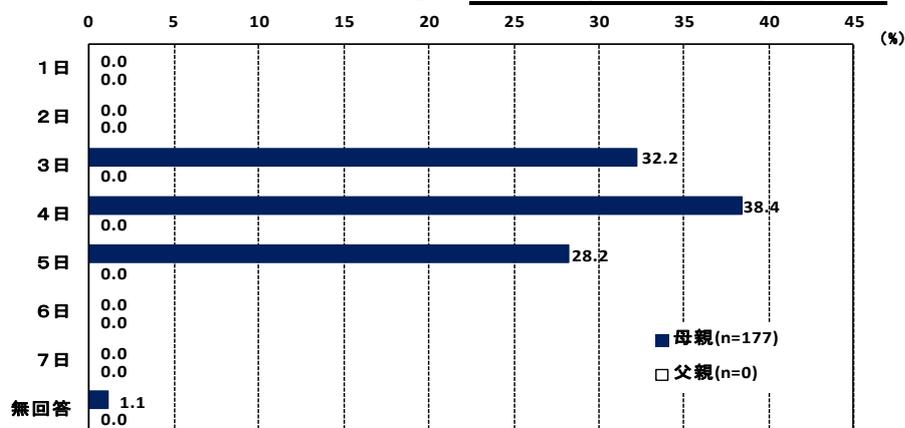
パート・アルバイトの就労時要件としては、就労日数は週当たり 4 日が多く、平均 3.9 日、就労時間は 1 日当たり 5~6 時間未満がもっとも多く、平均で 4.5 時間となっています。

問8-2で「2」または「3」に○をつけた方にお伺いします。

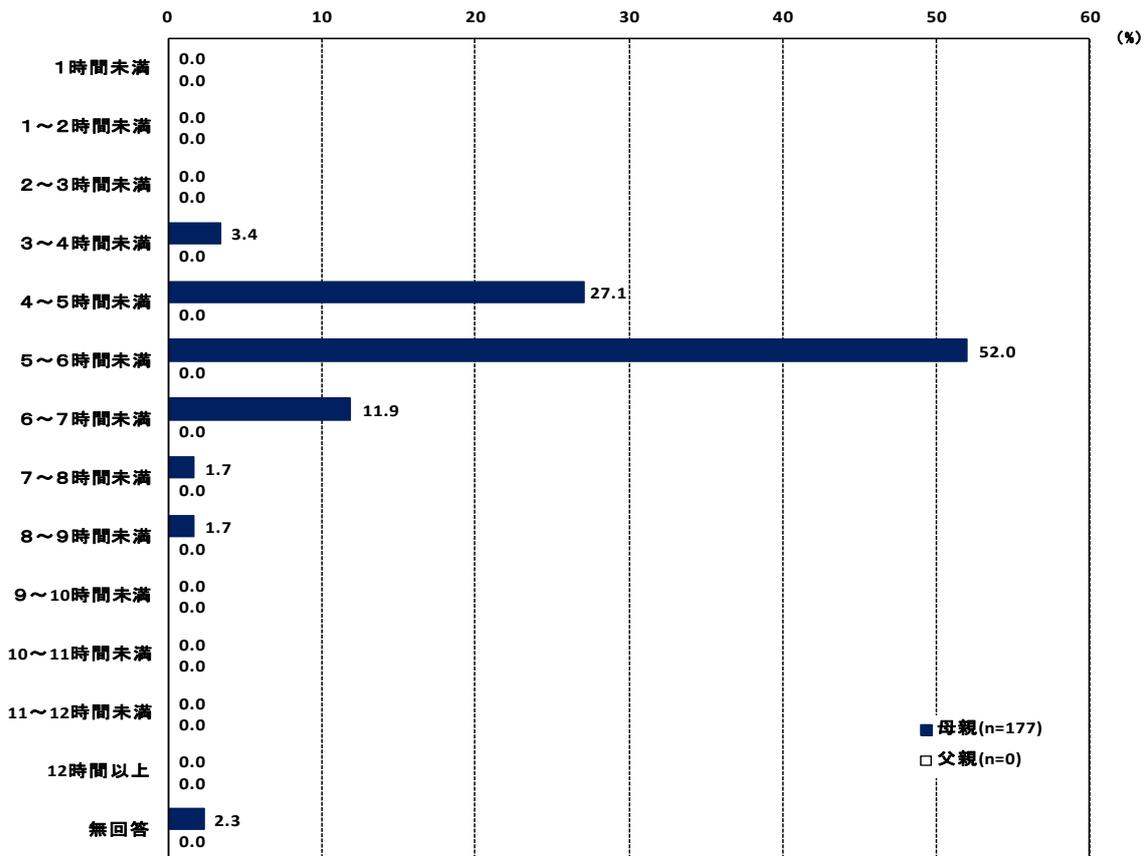
問8-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。(①母親、②父親ごと1つに○、選択肢によっては日数等も回答)※ひとり親家庭の場合は①または②のあてはまる方のみお答えください。



【パートタイム、アルバイト等1週当たり就労日数】 平均 父親 一日 母親 3.9日



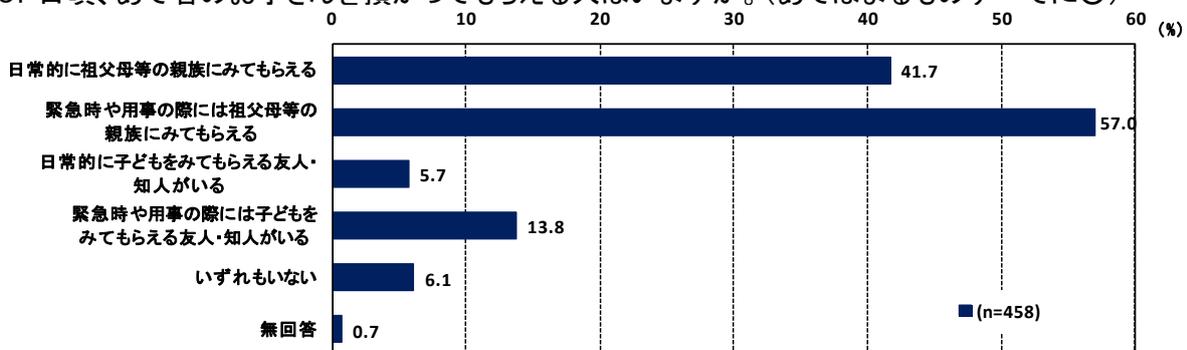
【パートタイム、アルバイト等1日当たり就労時間】 平均 父親 一時間 母親 4.5時間



3. 祖父母などに預かってもらっている状況

祖父母等に預かってもらうことのできる人について、その状況を見ると、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.0%と全体の半数以上を占めています。一方、「いずれもない」が6.1%となっており、緊急時の対応が困難となっています。

問9. 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



4. 子どもの居場所について

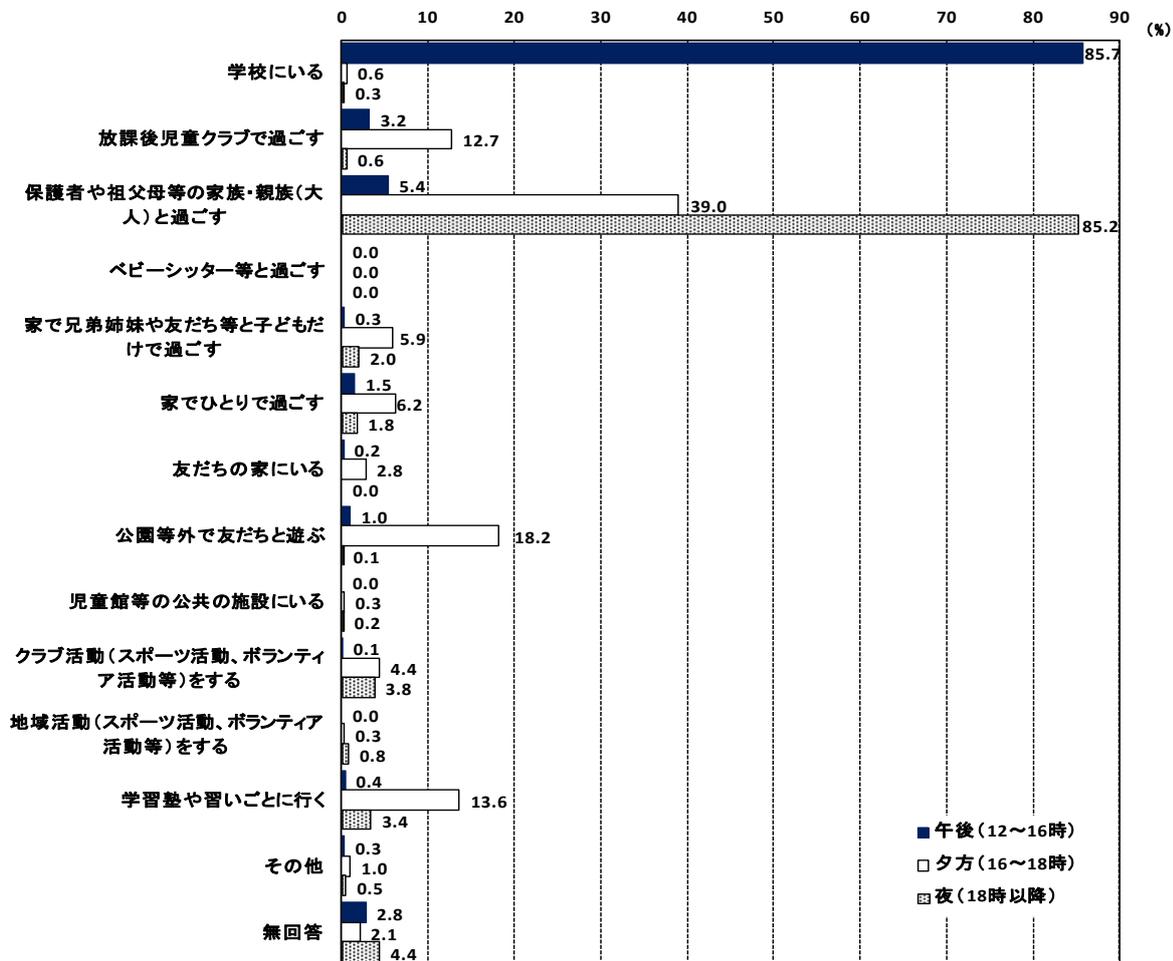
平日の放課後や土曜日の日常的な過ごし方についてみると、平日の午後は「学校にいる」が85.7%で最も高く、夕方は「保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごす」が39.0%、「公園等外で友達と遊ぶ」18.2%、「学習塾や習い事に行く」13.6%、「放課後児童クラブで過ごす」は12.7%となっています。夜は、「保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごす」が85.2%となっています。

土曜日についてみると、一日を通して「保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごす」が最も高く、その他は午前中に「クラブ活動(スポーツ活動、ボランティア活動等)をする」が13.2%、午後に「公園等外で友達と遊ぶ」が13.0%となっています。

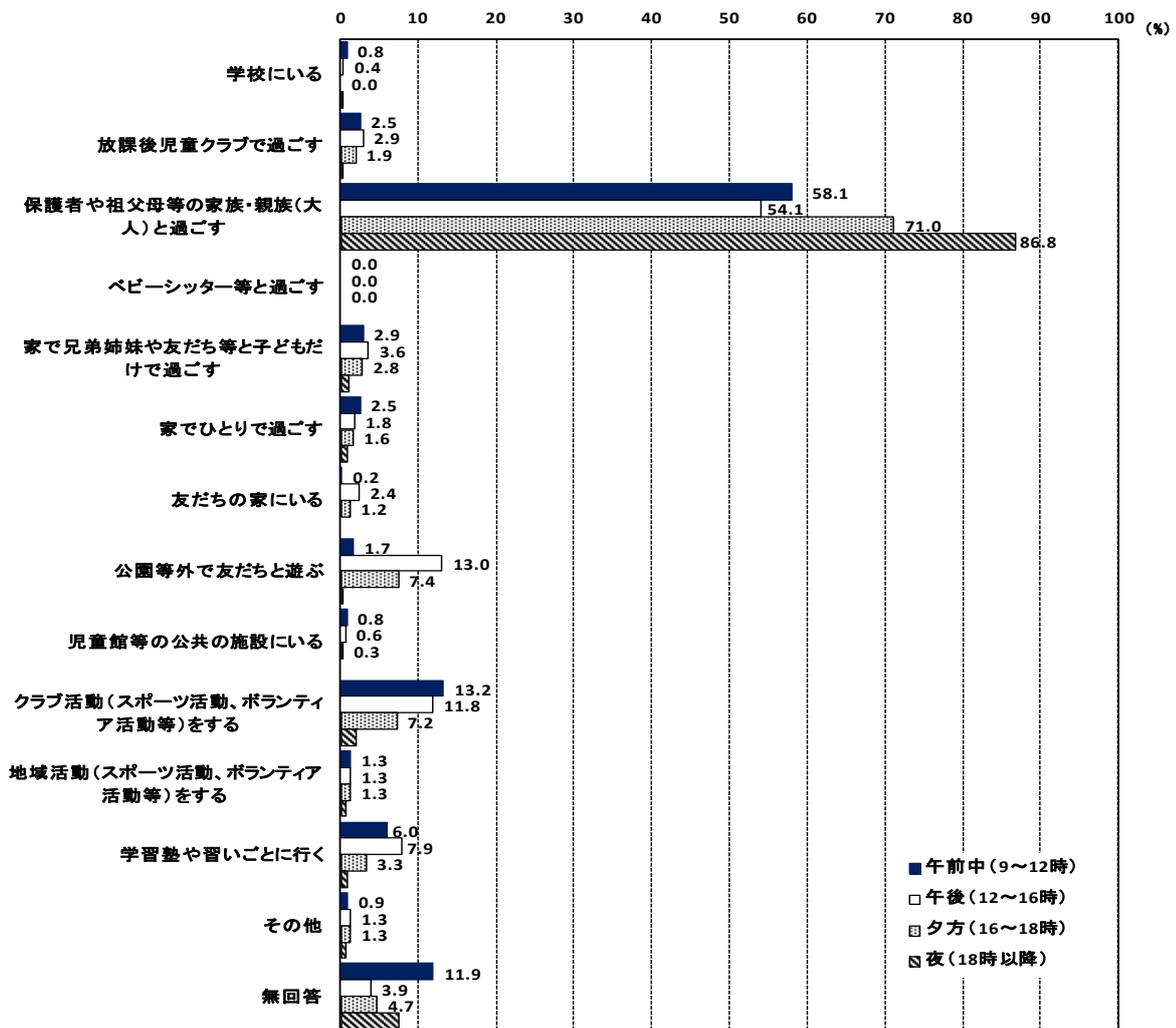
すべての方にお伺いします。

問10. あて名のお子さんの平日の放課後や土曜日の日常的な過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにお答えください

【平日】



【土曜日】

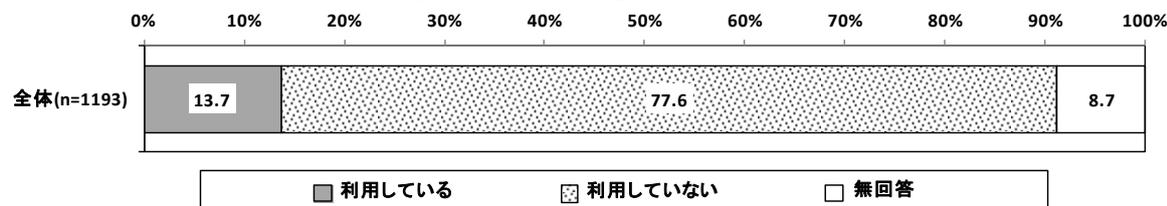


5. 放課後児童クラブについて

5-1. 利用状況

あて名のお子さんについて、現在放課後児童クラブを「利用している」と答えた人は13.7%です。

問 11. あて名のおさんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1つに○)



5-2. 平日・土曜日等の利用状況と日数等

放課後児童クラブの利用状況については、平日に「利用している」が89.6%で、週当たり平均日数は「5日」が最も多くなっています。

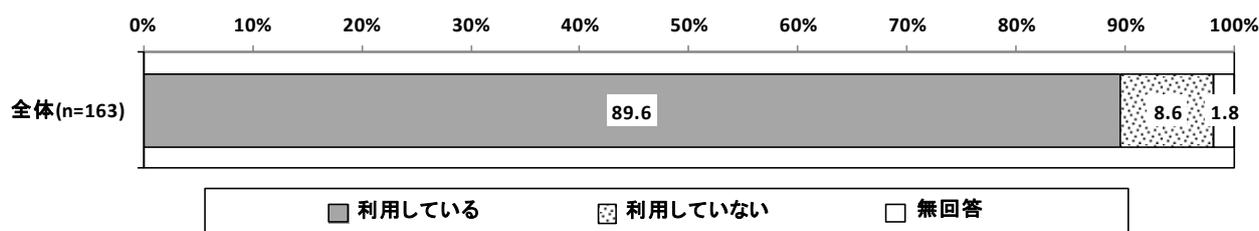
土曜日については「利用している」が29.4%で、月当たり利用日数は「1日」が最も多くなっています。

夏休み・冬休み等長期の休暇中については、「利用している」が89.6%と大半が利用しており、週当たり利用日数は「5日」が最も多くなっています。

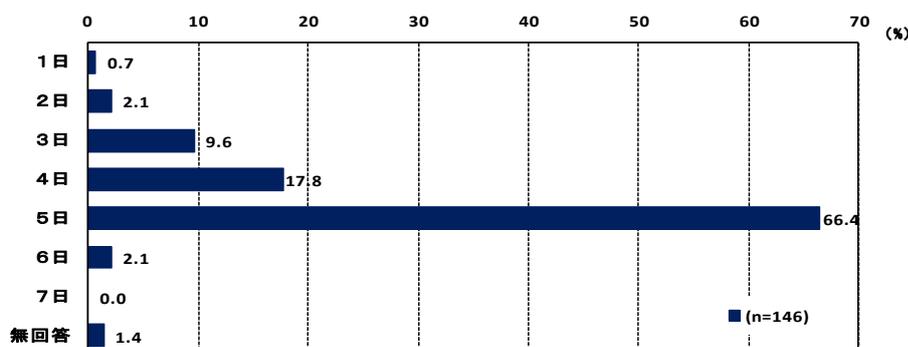
問11で「1」に○をした方にお伺いします。

問 11-1. 平日と土曜日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について、利用状況をお答えください。(それぞれ1つに○) 利用している場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

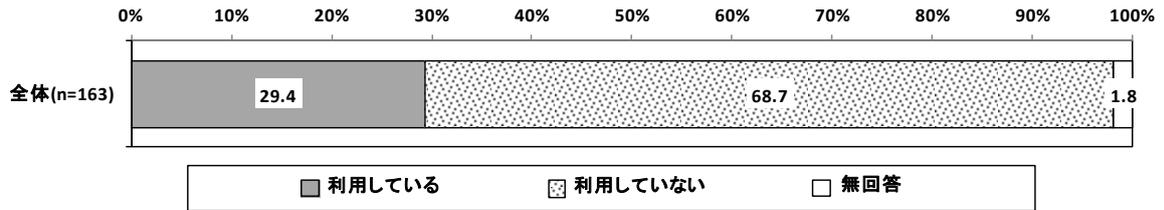
(1) 平日(1つに○)



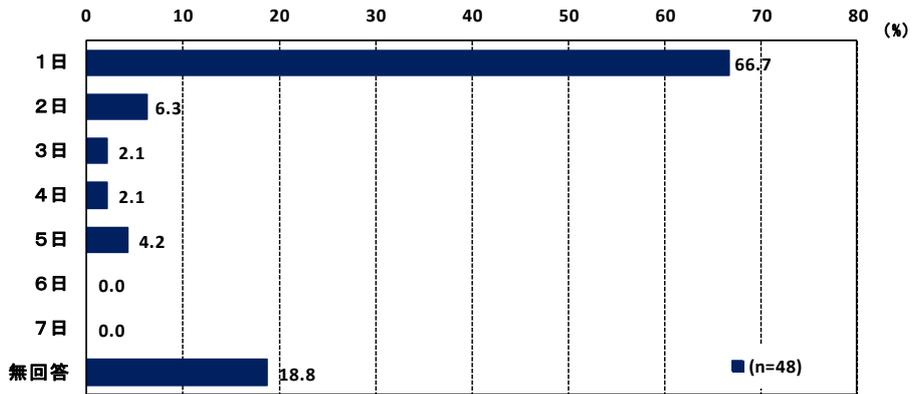
【週当たり利用日数】



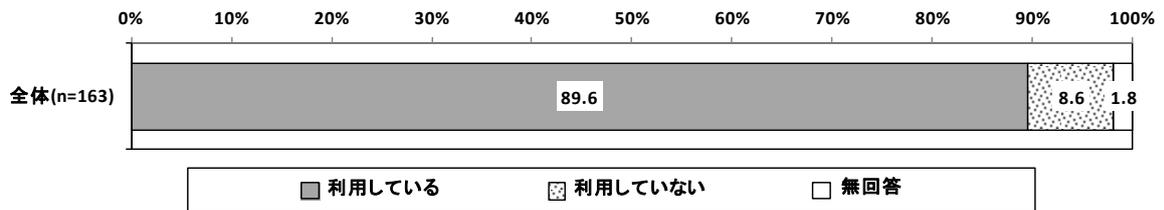
(2) 土曜日(1つに〇)



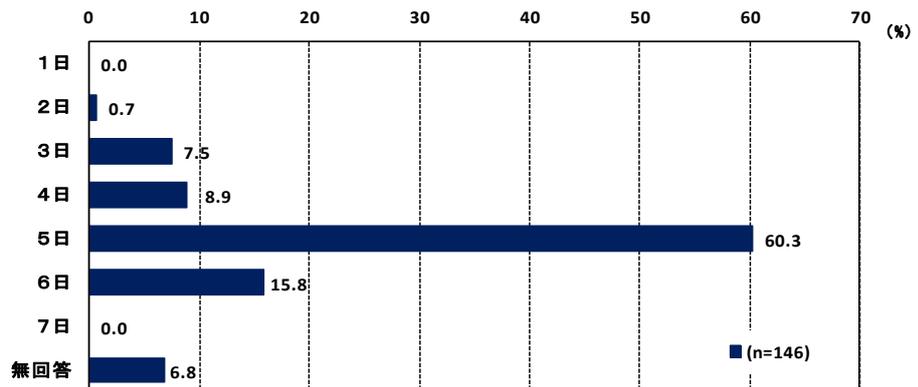
【月当たり利用日数】



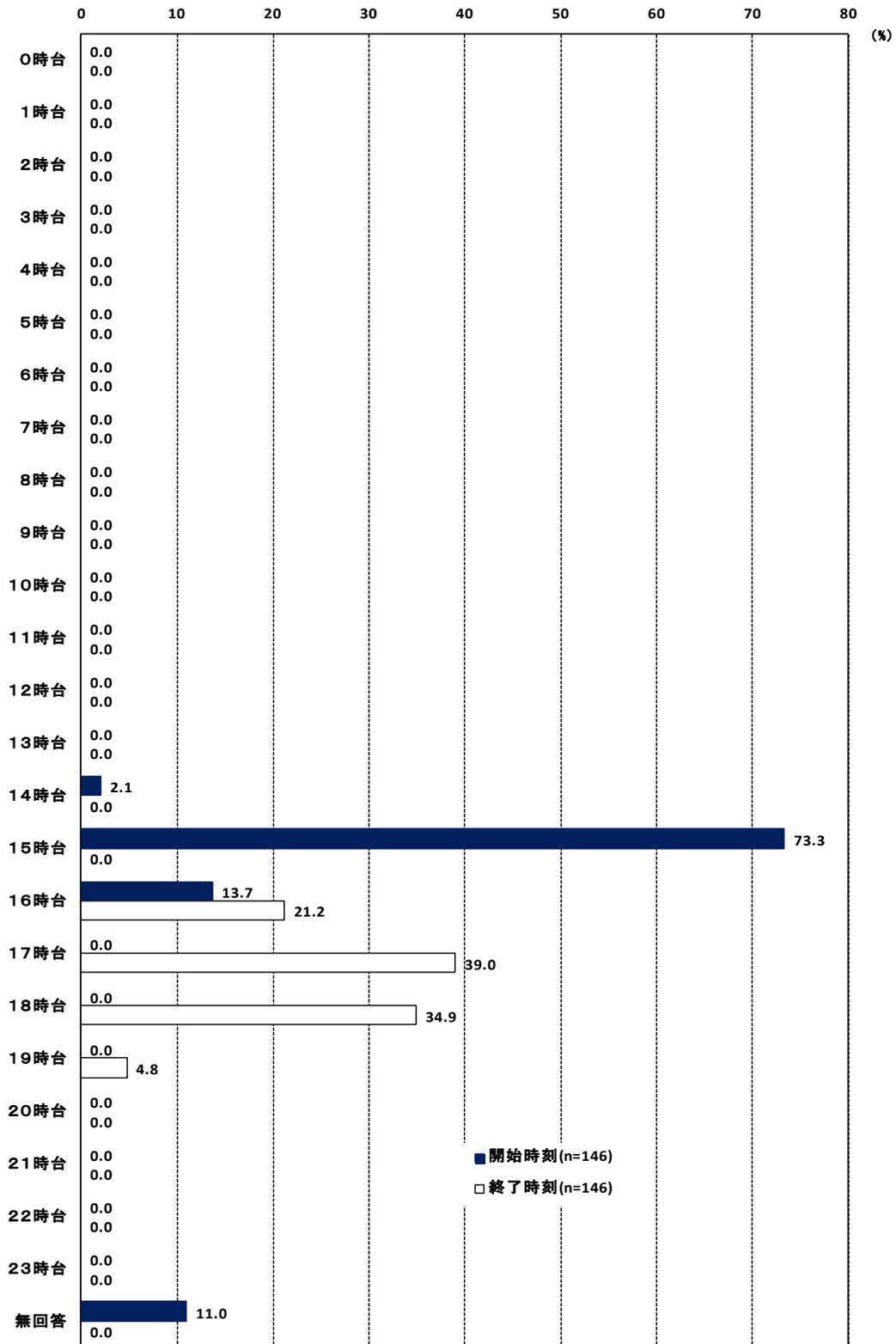
(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中(1つに〇)



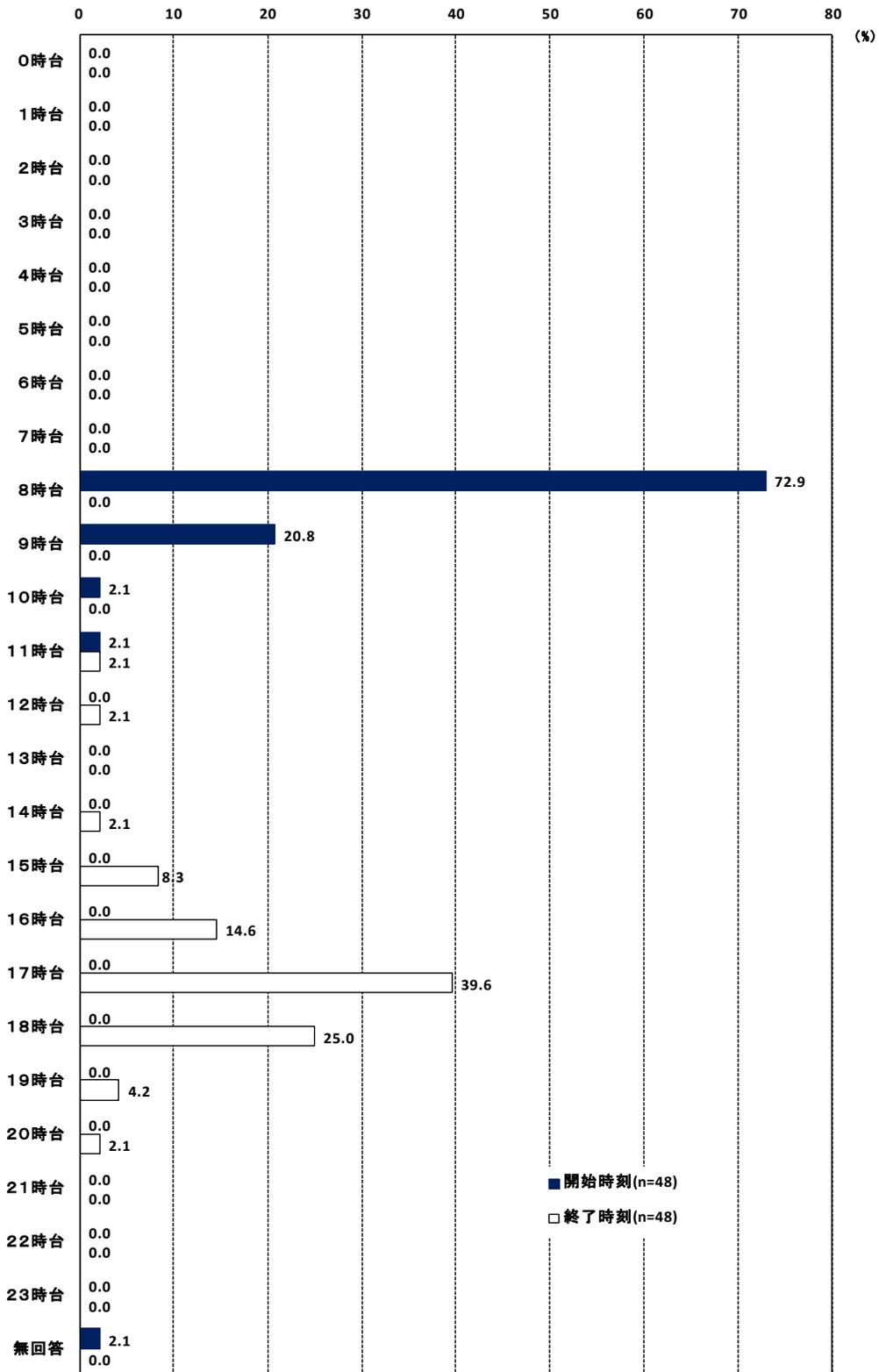
【週当たり利用日数】



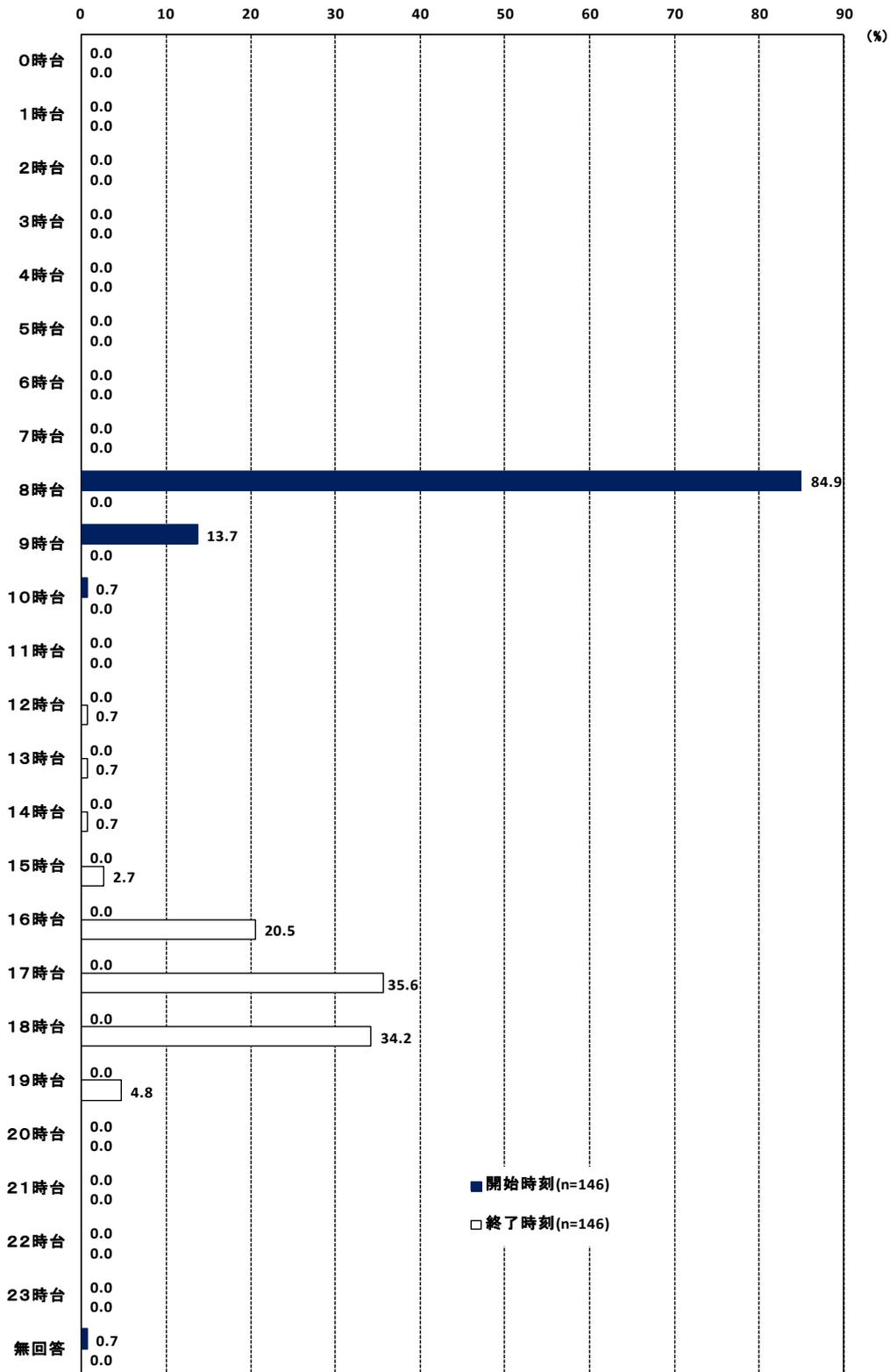
【平日開始・終了時刻】 **平均 開始 15時 18分 終了 17時 24分**



【土曜日開始・終了時刻】 **平均 開始 8時 27分 終了 16時 57分**



【夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中開始・終了時刻】 **平均 開始 8時13分 終了 17時15分**

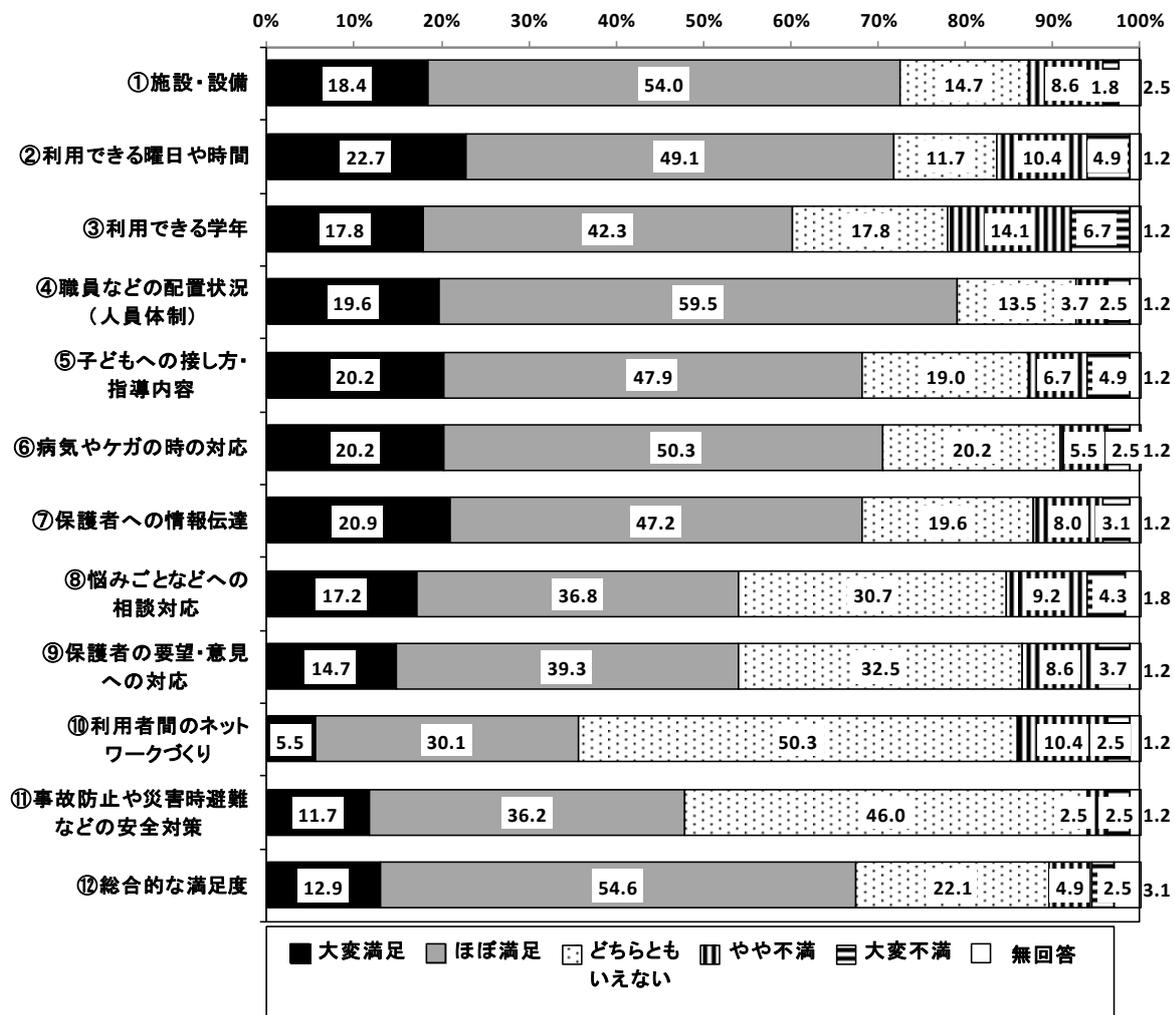


5-3. 放課後児童クラブに対する評価

放課後児童クラブに対する評価について、「満足」「ほぼ満足」を含めて「④職員などの配置状況（人員体制）」が最も高く、79.1%となっています。ついで「①施設・設備」（72.4%）「②利用できる曜日や時間」（71.8%）「⑥病気やケガの時の対応」（70.5%）といずれも7割を超えています。「⑩利用者間のネットワーク作り」に関しては、「満足」「ほぼ満足」を含めて35.6%と最も低く、ついで「⑪事故防止や災害時非難などの安全対策」が47.9%と5割以下の満足度となりました。安心して子どもを預けることができるよう、利用者間での情報交換の場や、緊急時における万全な安全対策に対するニーズが高まっていることがうかがえます。

一方、「やや不満」「大変不満」を含めて最も不満の割合が高かったのは、「③利用できる学年」で20.8%となりました。また、「⑰総合的な満足度」においては、「満足」「ほぼ満足」を含めて67.5%の満足度となっています。

問 11-2. 現在、通っている放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。(①～⑰、★総合的な満足度それぞれ1つに○)

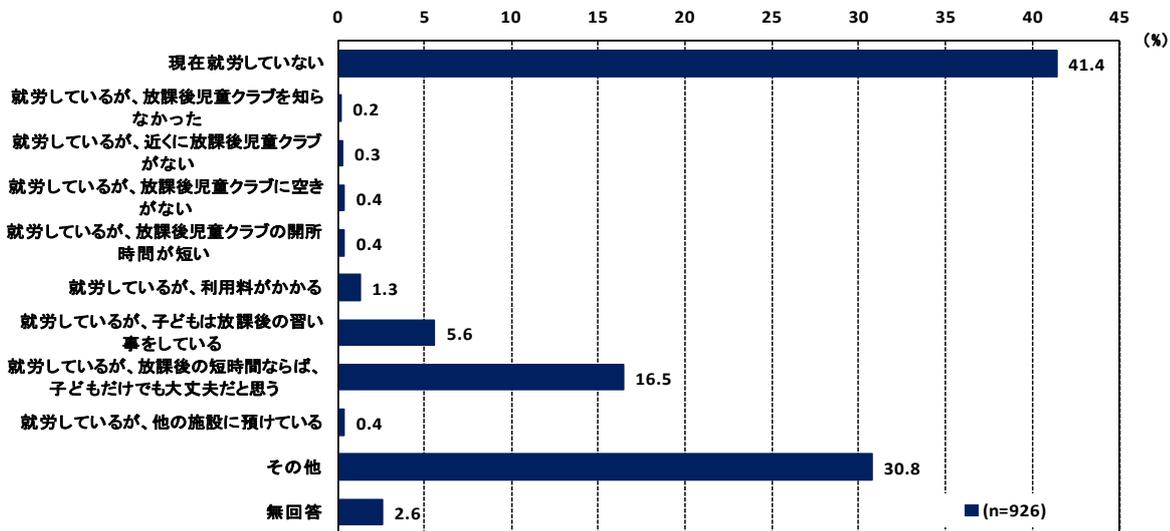


5-4. 利用していない理由

利用していない理由としては、「現在就労していない」が41.4%と最も高くなっています。続いて「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」や「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしている」などの理由があげられています。

問11で「2. 利用していない」に○をした方にお伺いします。

問11-3. 利用していない理由は何ですか。(1つに○)

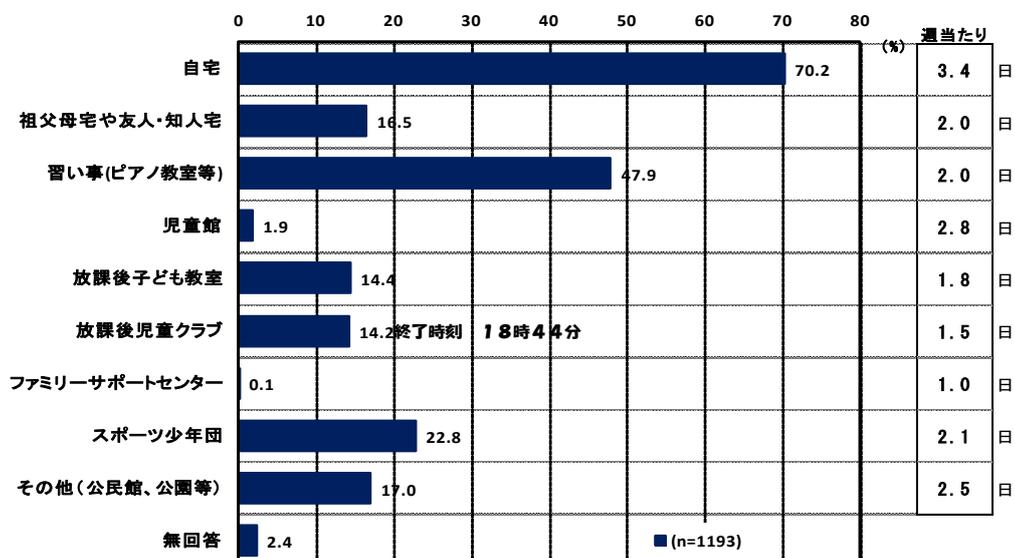


5-5. 今後の利用意向

放課後に過ごさせたい場所については、「自宅」の70.2%が最も高く、ついで「習い事(ピアノ教室等)」が47.9%で、「放課後児童クラブ」と答えた割合は14.2%となっています。放課後児童クラブの利用意向がある人で、土曜日の利用希望は33.5%、日曜・祝日の利用希望は14.1%、長期の期間中の利用希望は84.1%となっています。

すべての方にお伺いします。

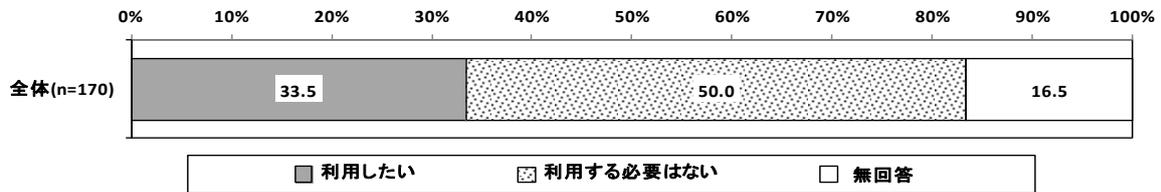
問12. あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



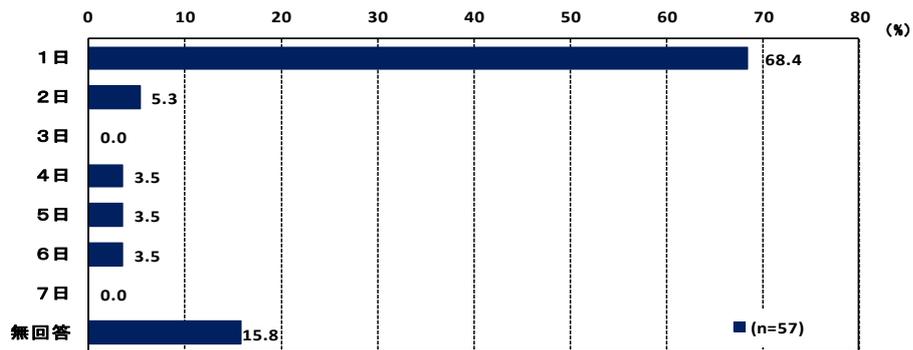
問12で「6. 放課後児童クラブ」に○をした方にお伺いします。希望しない方は、問14にお進みください。

問13. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休み等長期休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

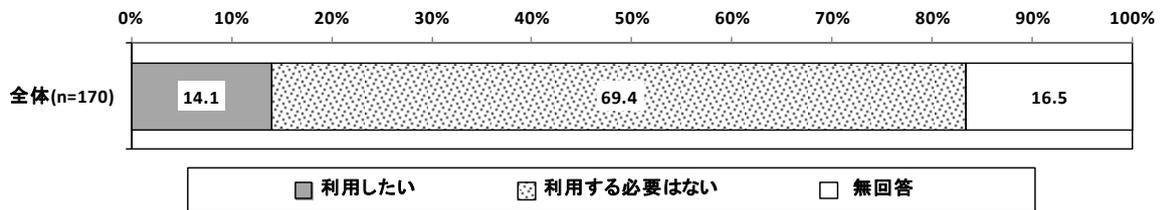
(1) 土曜日 (1つに○)



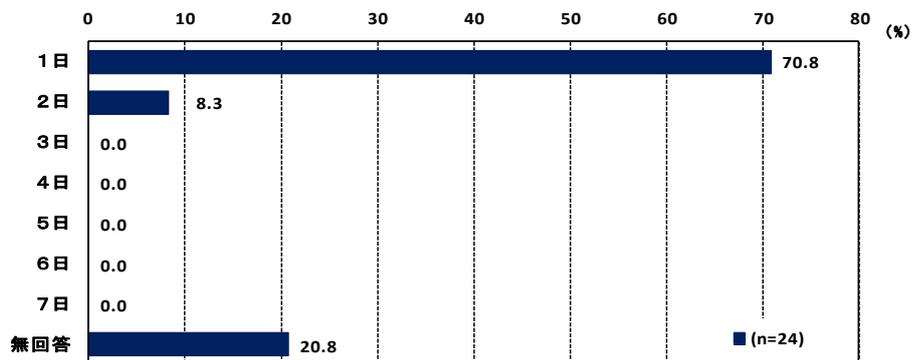
【月当たり利用日数】



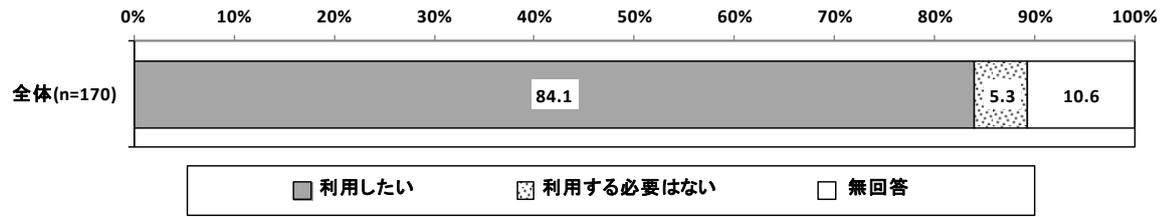
(2) 日曜・祝日 (1つに○)



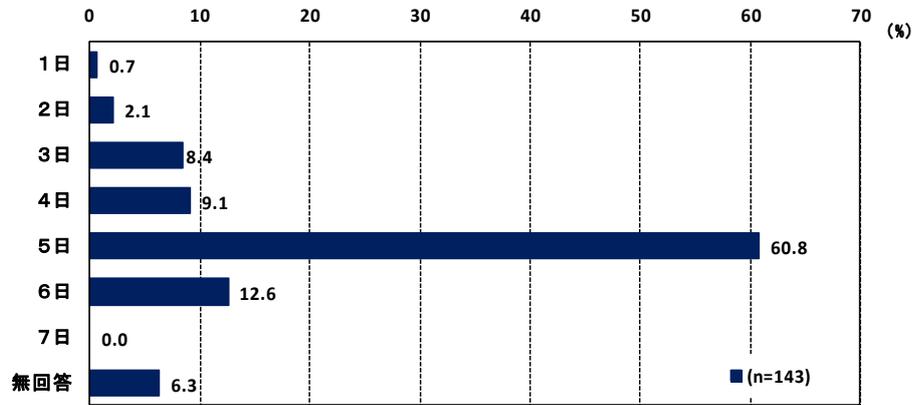
【月当たり利用日数】



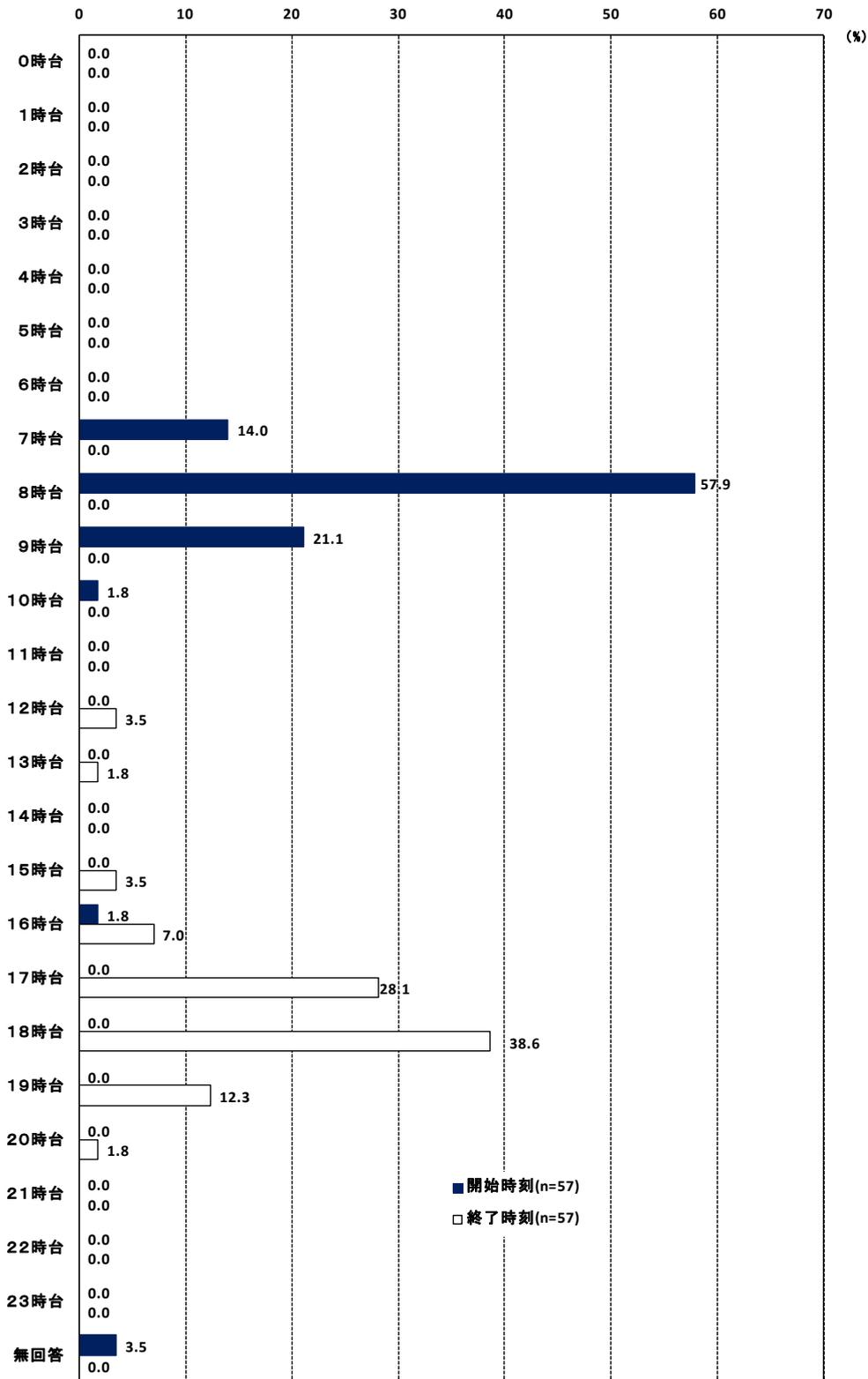
(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について



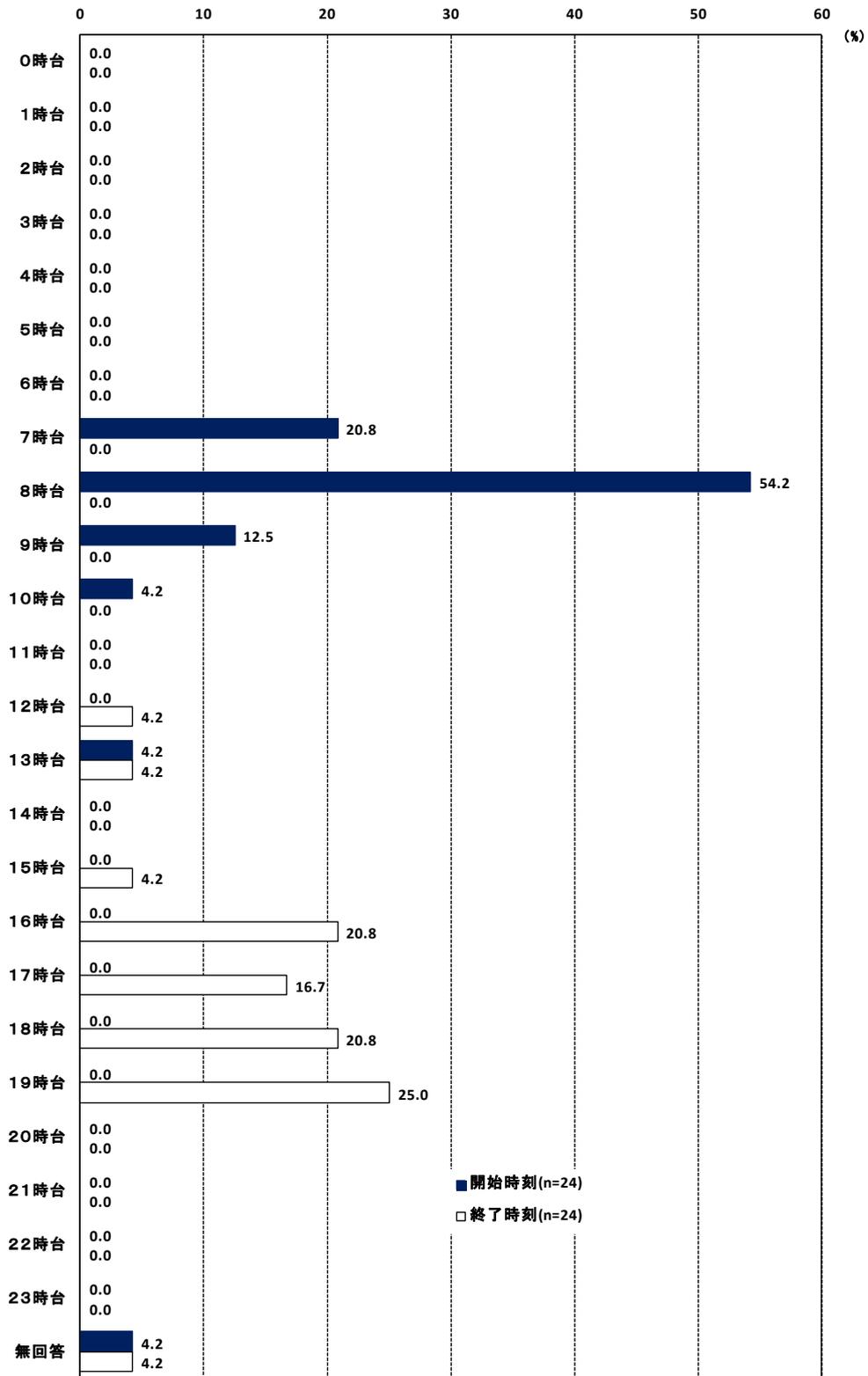
【週当たり利用日数】



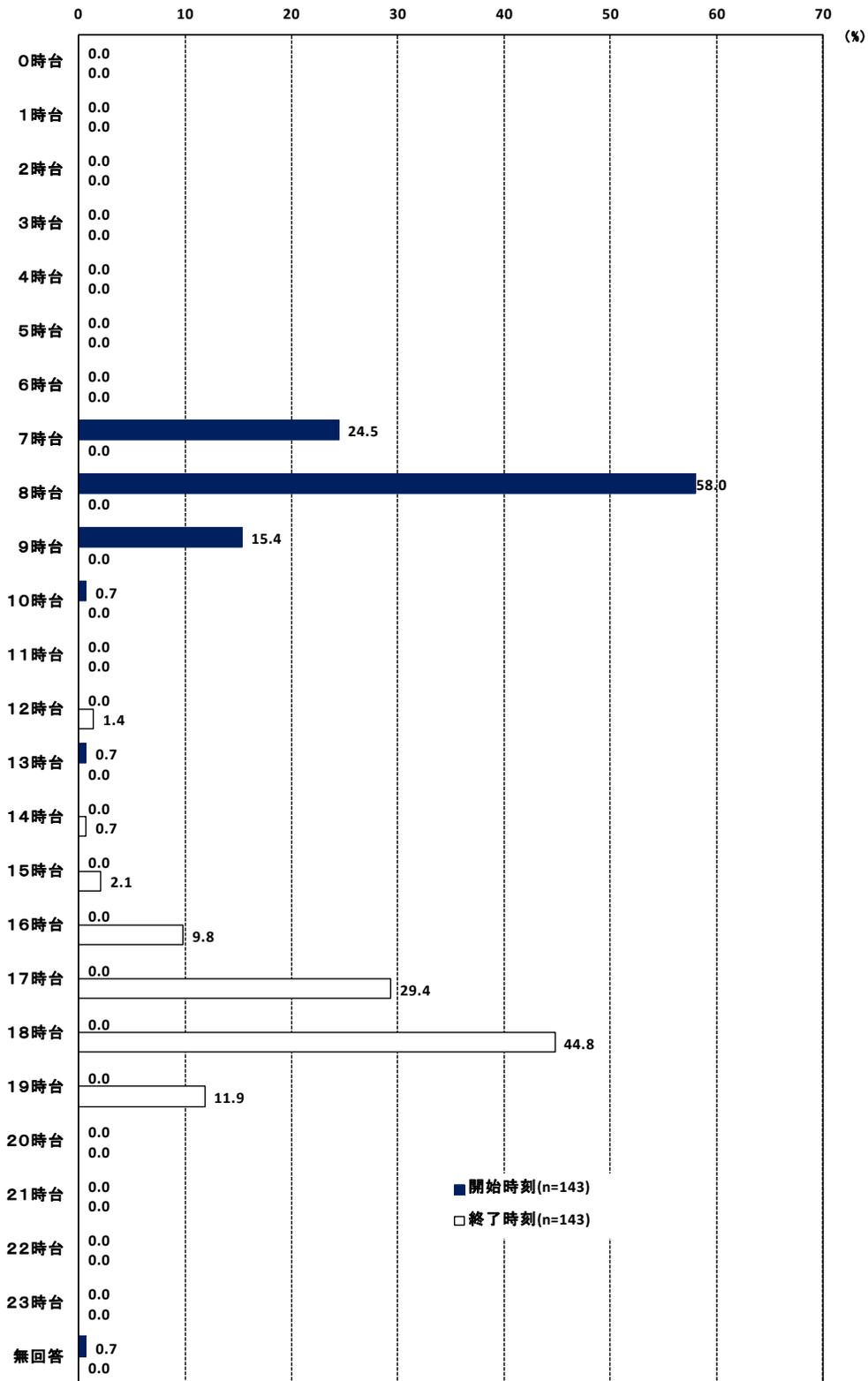
【土曜日開始・終了時刻】 平均 開始 8時 43分 終了 17時 24分



【日曜日・祝日 開始・終了時刻】 平均 開始 8時 25分 終了 17時 09分



【夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中開始・終了時刻】 **平均 開始 8時06分 終了 17時32分**



6. 病児・病後児保育について

6-1. 過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

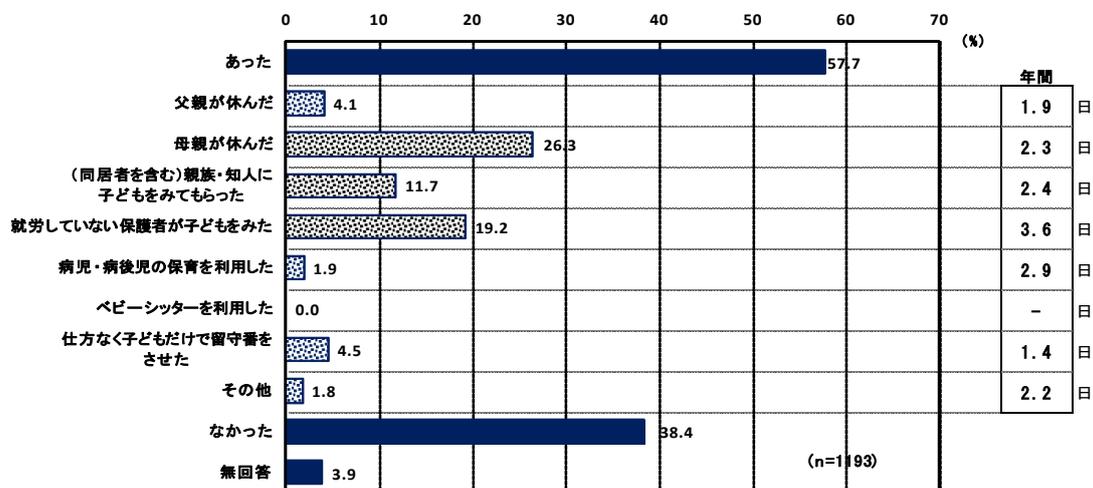
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった経験についてみると、「あった」が57.7%と過半数を占めています。

その対処方法としては、「母親が休んだ」が26.3%で、その平均日数は2.3日です。次いで、「就労していない保護者が子どもをみた」が19.2%で、平均日数3.6日、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が11.7%で平均日数2.4日となっています。

問 14. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありますか。

問14で「1」に○をつけた方にお伺いします。

問 14-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



6-2. 病児・病後児保育の利用希望

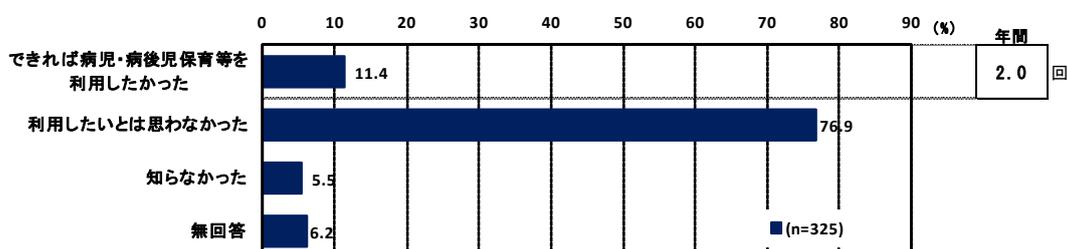
「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」人が、「できれば病児・病後児保育等を利用したい」と答えた人は11.4%と1割強であり、日数は年間で2.0日となっており、「利用したいと思わなかった」と答えた人は76.9%となっています。

望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が89.2%で目立って高くなっています。

また、利用したいと思わなかった理由については、「親が仕事を休んで対応する」が64.0%でもっとも高く、ついで「病児・病後児を他人に見てもらうのは不安」の31.6%となっており、まずは家族で対応したいという意識が示されています。

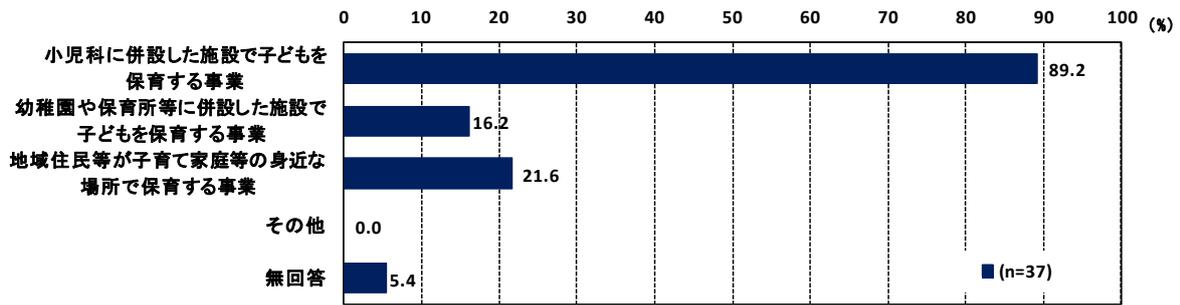
問14-1で「1」または「2」に○をつけた方にお伺いします。

問 14-2. その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。(1つに○)



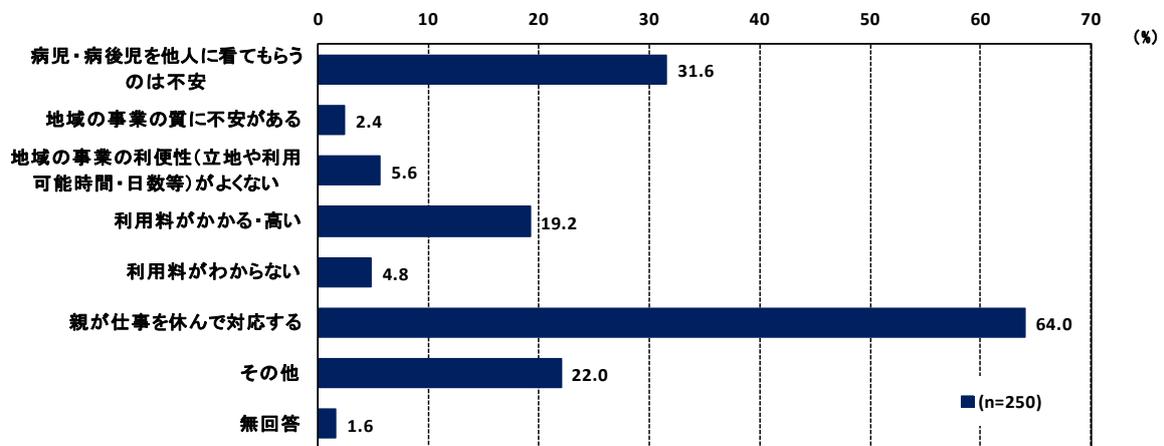
問14-2で「1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった」に○をつけた方にお伺いします。

問14-3. 問14-2の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



問14-2で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にお伺いします。

問14-4. そう思う理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



7. 子育て支援サービスの認知状況、利用状況

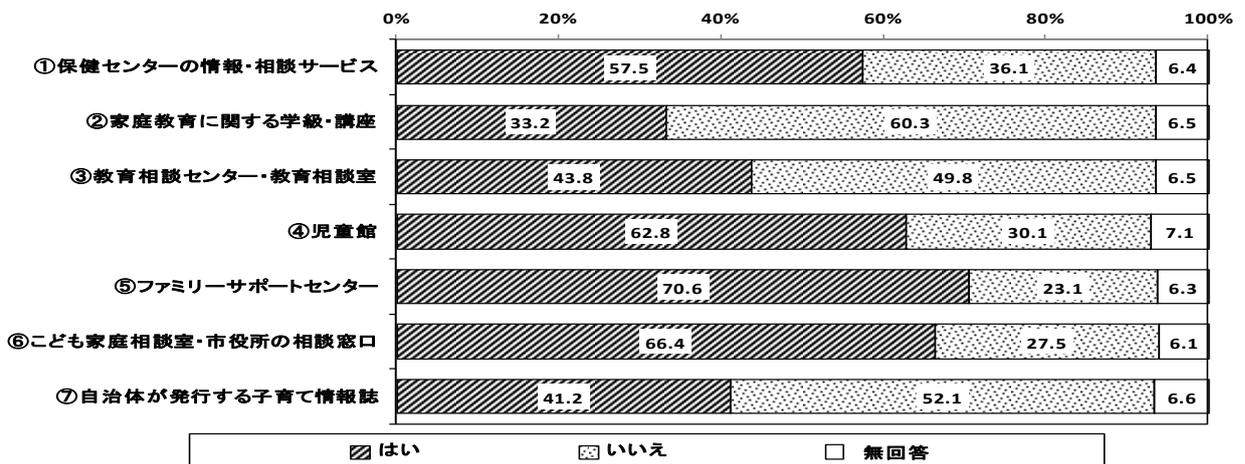
7-1. 子育て支援サービスの認知度・利用度について

子育て支援サービスの認知度については「⑤ファミリーサポートセンター」が70.6%で最も高く、以下「⑥子ども家庭相談室・市役所の相談窓口」が66.4%、「④児童館」が62.8%、「①保健センターの情報・相談サービス」の57.5%と続いています。利用経験については、「④児童館」が23.0%で最も高く、「①保健センターの情報・相談サービス」が16.1%と続いています。その他の施設の利用率はいずれも10%台以下にとどまっており、「③教育相談センター・相談室」については利用経験が3.9%と極めて低率になっています。

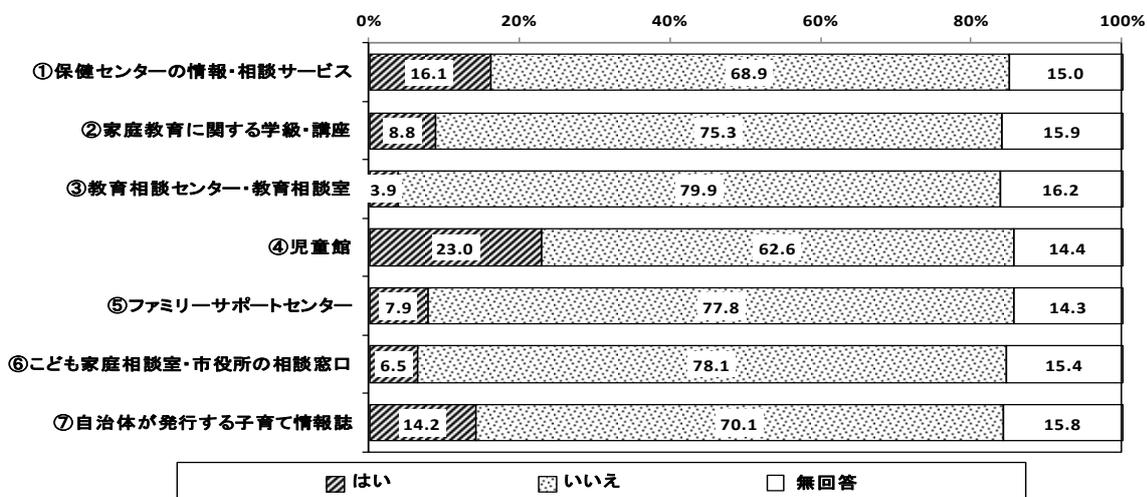
また今後の利用意向については、「⑦自治体が発行する子育て情報誌」が36.2%と堅調で、子育て情報のニーズがうかがえます。以下「①保健センターの情報・相談サービス」30.2%、「④児童館」28.9%、「②家庭教育に関する学級・講座」27.2%と続いています。

問15. 下記の①～⑦のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

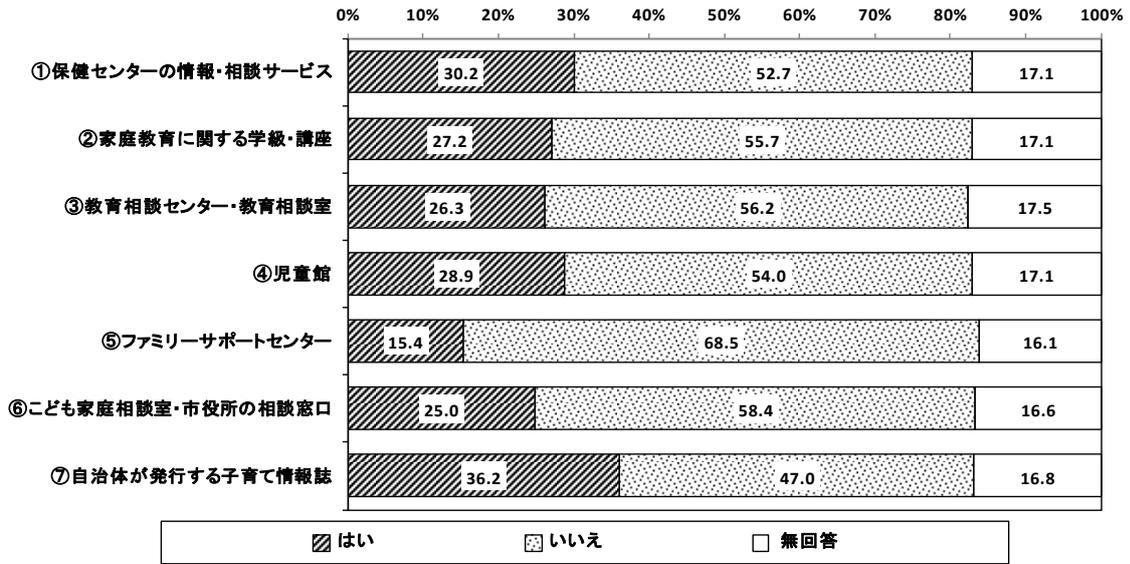
【知っている】



【利用したことがある】



【今後利用したい】



8. 子育て全般について

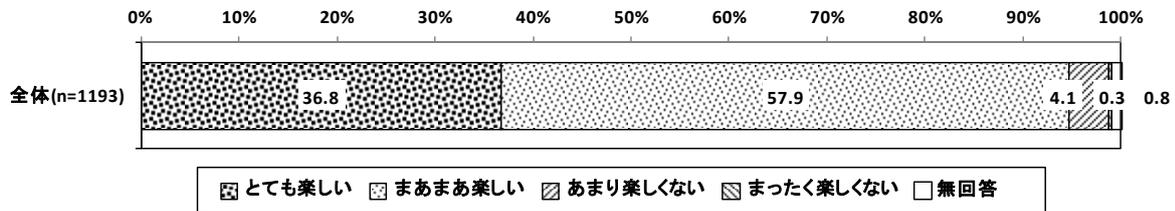
8-1. 子育てについての悩み

「子育ては楽しいと思いますか」という質問に対し、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を含めて94.2%となっており、大半の人が楽しいと思っています。

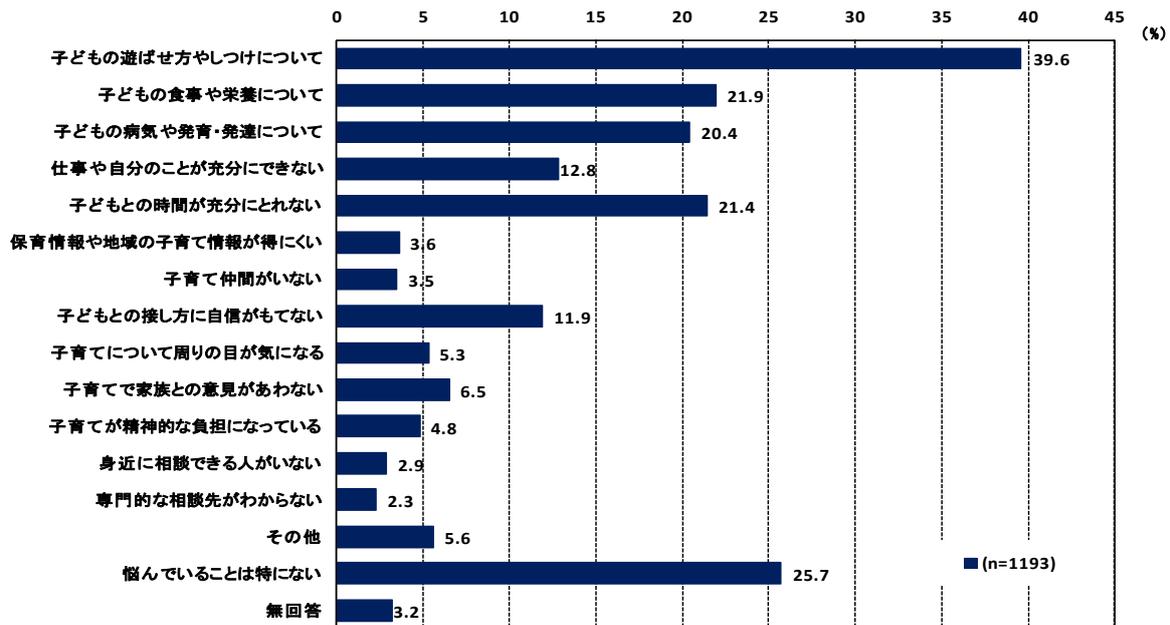
子育てに関する悩みについては、「子どもの遊ばせ方やしつけ方について」が39.6%で最も高く、以下「子どもの食事や栄養について」(21.9%)、「子どもとの時間が充分にとれない」(21.4%)「子どもの病気や発育・発達について」(20.4%)と続いています。なお、「悩んでいることは特にない」は25.7%となっています。

すべての方にお伺いします。

問16. 子育ては楽しいと思いますか。(1つに○)



問17. 子育てに関する悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)



8-2. 悩みや不安の身近な相談先

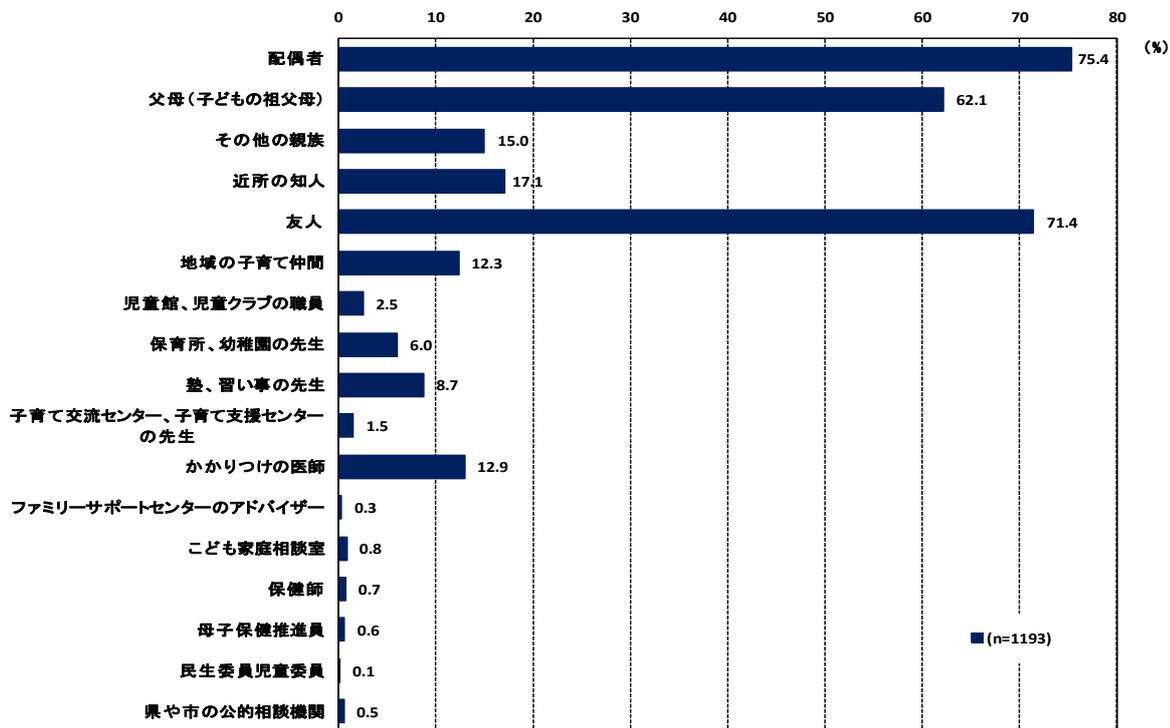
子育ての悩みや不安について、相談場所・相談相手としては、「配偶者」がもっとも高く、全体の75.4%を占めています。以下、「友人」の71.4%、「父母（子どもの祖父母）」の62.1%の順となっており、これら3項目が目立って高くなっています。

その他、「民生委員児童委員」（0.1%）、「ファミリーサポートセンターのアドバイザー」（0.3%）、「県や市の公的相談機関」（0.5%）等は、極めて低率です。

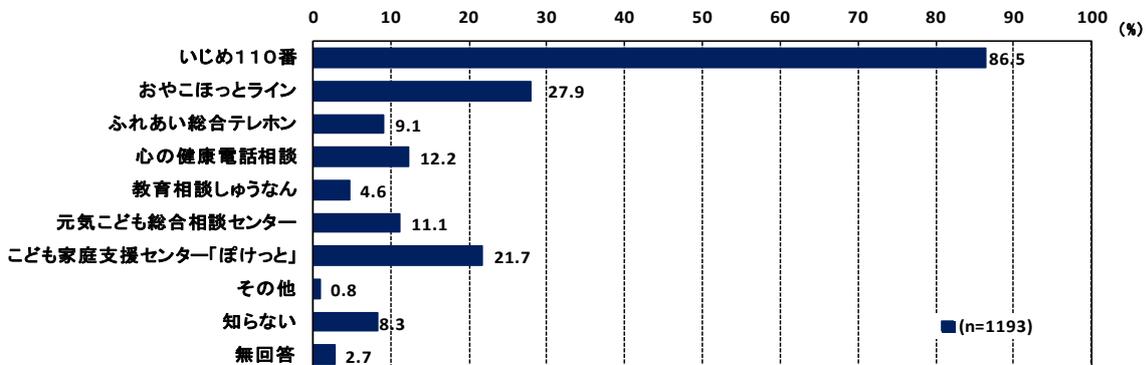
県内の相談窓口の認知度では、「いじめ110番」が86.5%で目立って高くなっています。

そのほか、「おやこほっとライン」が27.9%、「こども家庭支援センターぽけっと」が21.7%となっています。

問18. お子さんのことで何か分からないことや困ったこと、悩み事があるとき、誰に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）



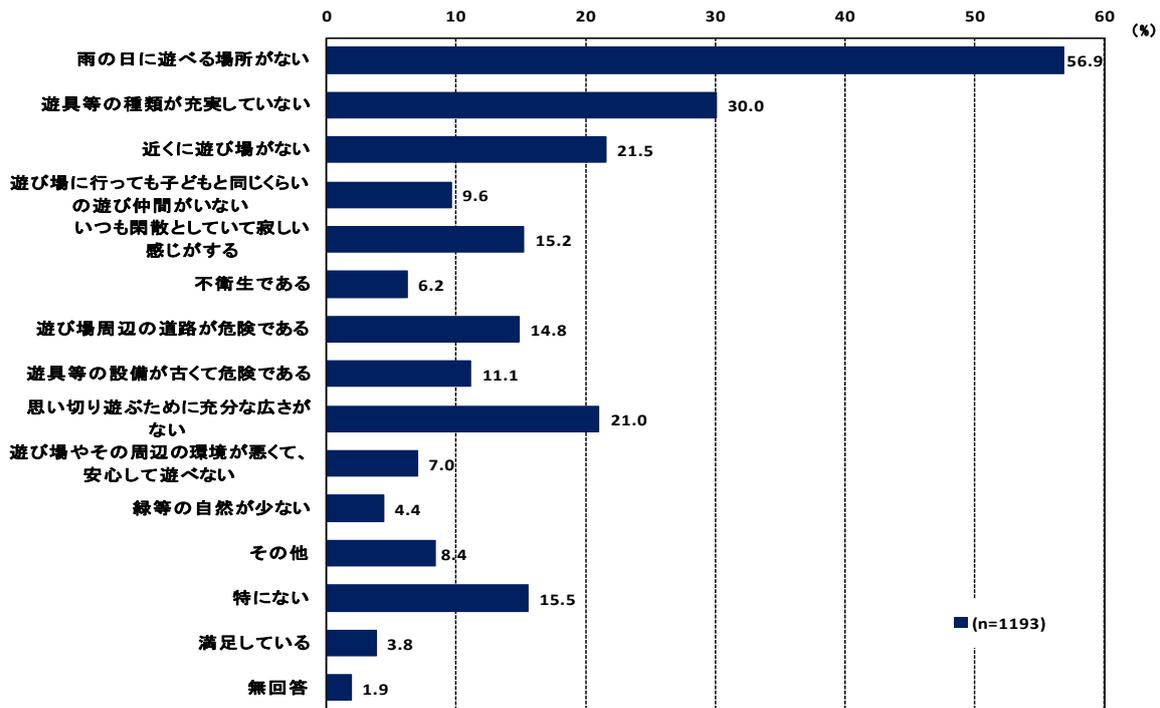
問19. 県内には青少年の悩みに答えるために、いろいろな相談窓口があります。次のうちの窓口をご存知ですか。（あてはまるものすべてに○）



8-3. 子どもの遊び場について

家の近くの子どもの遊び場について、日頃困っていることについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が56.9%と圧倒的に高くなっているほか、「遊具等の種類が充実していない」30.0%、「近くに遊び場がない」21.5%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」21.0%と続いています。

問20. 家の近くのお子さんの遊び場について、日ごろ困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



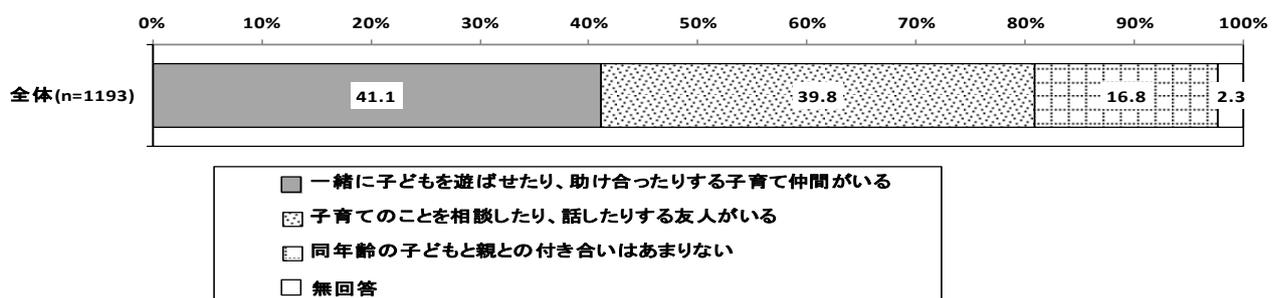
8-4. 子育てに関するサークルなどの自主的な活動について

子育て仲間の有無についてみると、「一緒に子どもを遊ばせたり、助けあったりする子育て仲間がいる」は41.1%、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が39.8%で、「同年齢の子どもと親との付き合いはあまりない」と答えた人は16.8%となっています。

今後の参加意向では、「ぜひ」を含め「参加したい」は22.5%となっています。

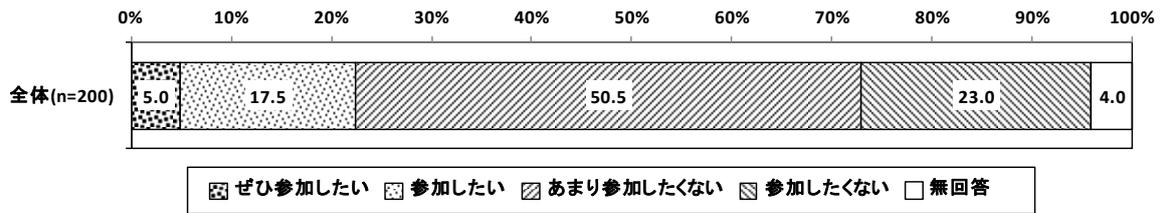
参加したくない理由としては、「付き合いが面倒」62.6%、「忙しくて時間がない」46.3%となっています。

問21. あなたは、子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育て仲間はいますか。(1つに○)



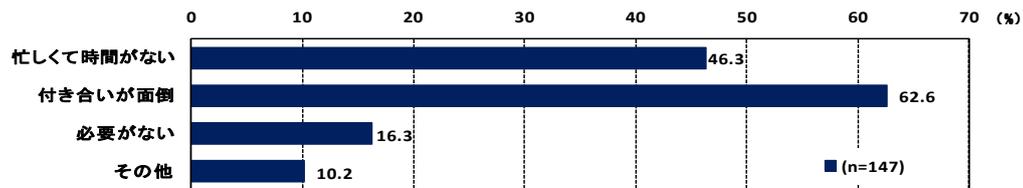
問21で「3」に○をした方にお伺いします。

問21-1. 子育ての仲間づくりの機会があれば参加したいと思いますか。(1つに○)



問21-1で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

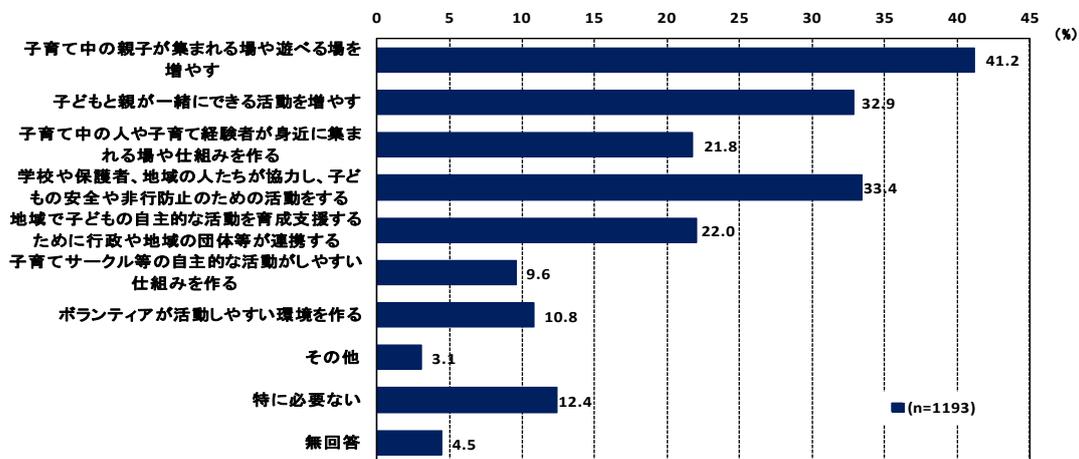
問21-2. 参加したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



8-5. 地域に望む子育て支援について

地域に望む子育て支援については、「子育て中の親子が集まれる場や遊べる場を増やす」が41.2%でもっとも多く、ついで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」の33.4%、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」の32.9%となりました。まずは親子で集え遊べる場の確保が求められています。

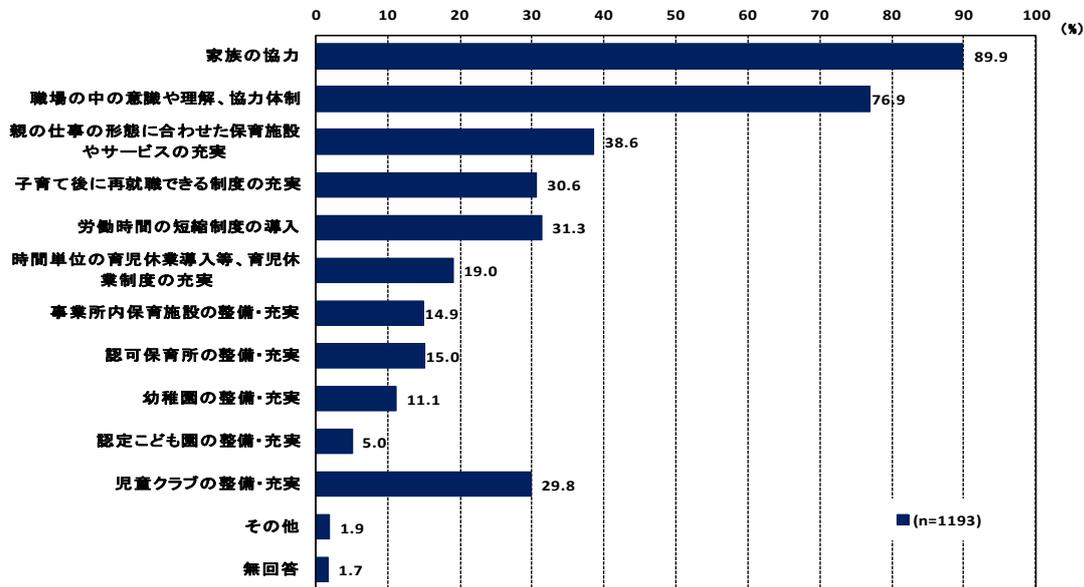
問22. 安心して子育てをするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



8-6. 仕事と子育ての両立について

仕事と子育てを両立させるために必要なことについては、「家族の協力」との回答がもっとも高く、89.9%で、ついで「職場の中の意識や理解、協力体制」が76.9%となり、この2項目が目立って高くなっています。

問23. 仕事と子育てを両立させるためには何が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)



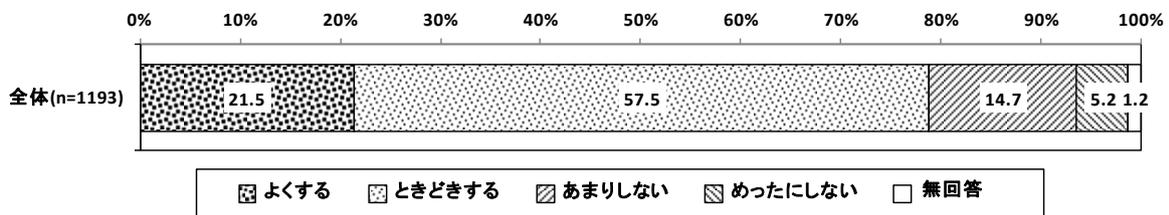
9. 子どもの健全育成について

9-1. 子どもの健全育成について

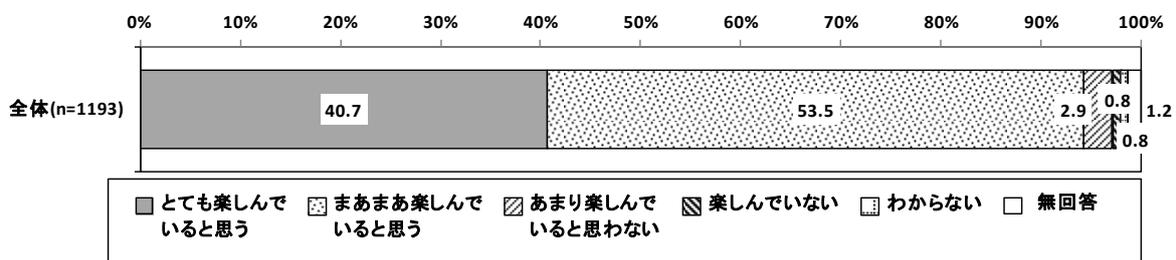
子どもの家の手伝いについて、「よくする」「ときどきする」を含めて79.0%となっており、8割近くが家の手伝いをしています。

子どもが学校生活を楽しんでいるかどうかについては、「とても楽しんでいると思う」「まあまあ楽しんでいると思う」が合わせて94.2%となり、9割以上の人々が学校生活を楽しんでいます。これらについては、

問24. あなたのお子さんは、家の手伝いをしますか。(1つに○)



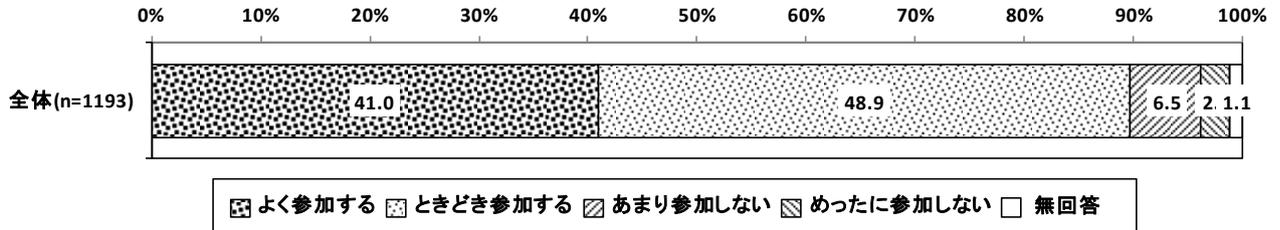
問25. あなたのお子さんは、現在、安心して学校生活を楽しんでいると思いますか。(1つに○)



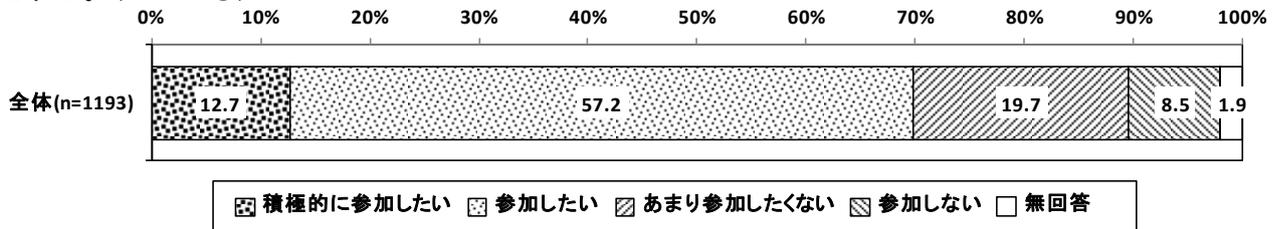
9-2. 学校や地域活動への参加について

学校や地域活動への参加について、「よく参加する」「ときどき参加する」を含めて89.9%となっており、約9割の人が活動に参加しています。周南市の子どもや親子が楽しめるイベントやまつりについて、「積極的に参加したい」「参加したい」が合わせて69.9%と約7割の参加意欲が高まっています。

問26. あなたは、学校や地域の活動に参加しますか（1つに○）



問27. 周南市では、こどもが主役の「こどもっちゃ！商店街」や「周南こどもゆめまつり」等のイベントが開催されていますが、今後、子どもや親子が楽しめるイベントやまつりがあれば、参加したいですか。（1つに○）



問27で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問27-1. どのような内容のイベントがあれば参加したいですか。具体的にお知らせください。

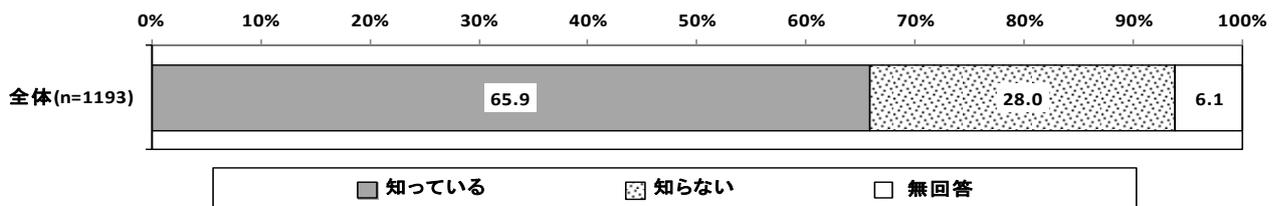
【主要イベント】

- | | | |
|------------|-----------|---------------|
| ・こどもっちゃ商店街 | ・こどもゆめまつり | ・親子スポーツイベント |
| ・体験型イベント | ・親子クッキング | ・工芸・工作教室 |
| ・工場見学 | ・キャンプ教室 | ・親子レクリエーション 等 |

9-3. 「家庭の日」の取り組みについて

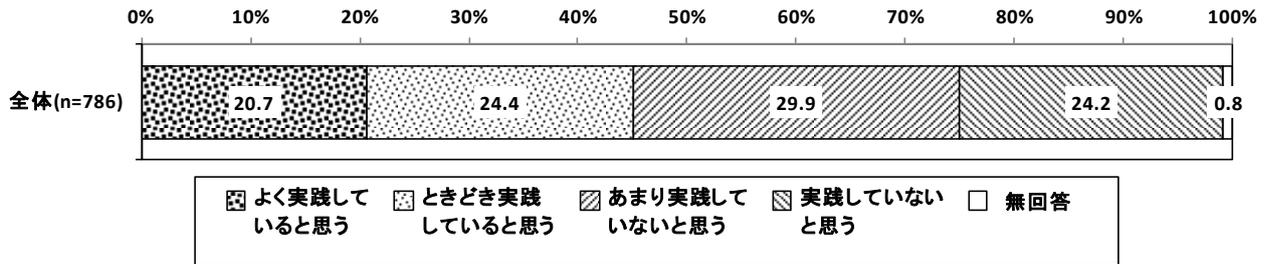
「家庭の日」の認知度について、「知っている」は65.9%で約3分の2程度の認知度となりました。また、「家庭の日」の実践については、「よく実践していると思う」「時々実践していると思う」を含めて45.1%の割合となっています。

問28. 「家庭の日」について知っていますか。



問28で「1」に○をした方にお伺いします。

問28-1. あなたのご家庭では、「家庭の日」を実践していますか。(1つに○)



10. 子どもの安心・安全に関することについて

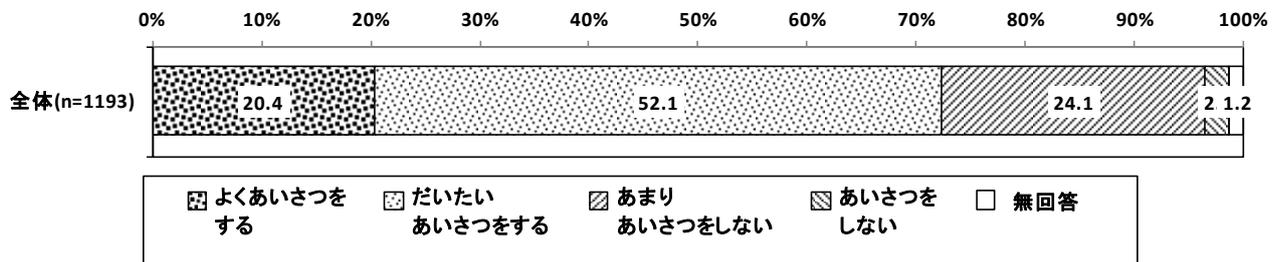
10-1. 地域の様子について

あなたの住んでいる地域の子どものあいさつについて、「よくあいさつをする」「だいたいあいさつをする」は72.5%の割合となっています。

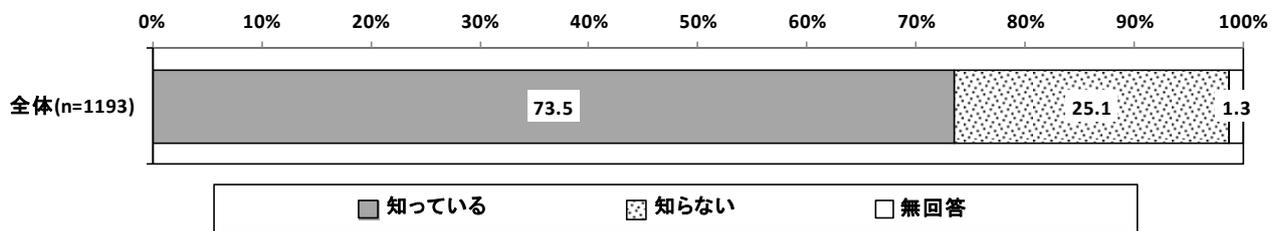
「地域のおじさん、おばさん運動」の認知度については、「知っている」が73.5%で7割以上の認知度であり、前回調査の57.9%に比べ、認知度は大幅に高くなっています。

地域の「子ども見守り隊」「スクールガード」等の活動については、「よく見かける」54.7%、「ときどき見かける」20.6%となっています。

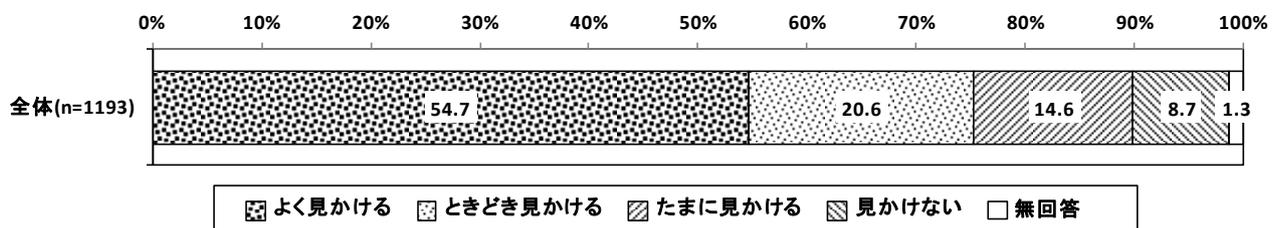
問29. あなたの住んでいる地域の子どもはあいさつをしますか。(1つに○)



問30. 周南市では、あいさつ運動や子どもの見守り活動を推進するため「地域のおじさん、おばさん運動」を行っていることをご存知ですか。(1つに○)



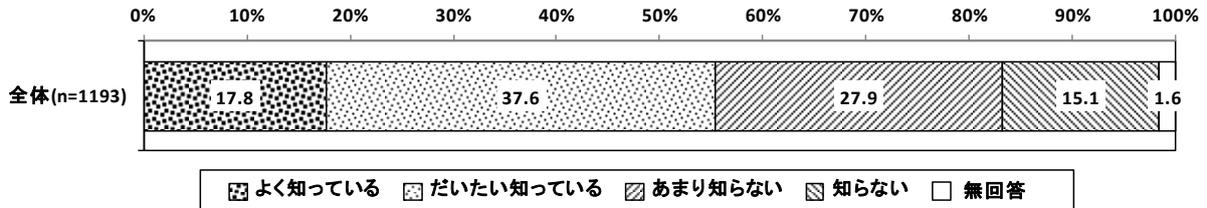
問31. あなたは、地域の「子ども見守り隊」や「スクールガード」等の方が、活動しているところを見かけたことがありますか。(1つに○)



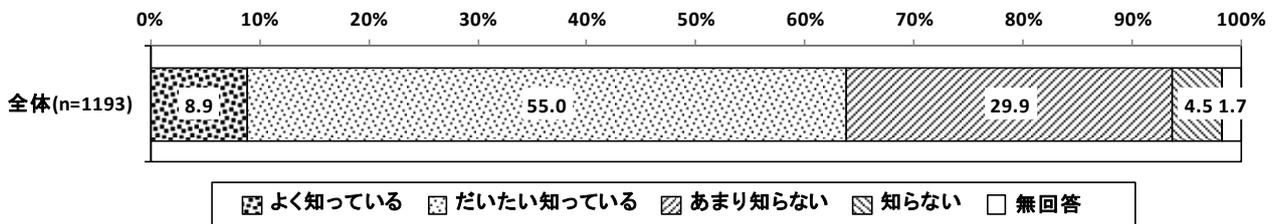
10-2. 子どもの安心・安全について

近所の「こども110番」の場所に対する子どもの認知度については、「よく知っている」「大体知っている」が55.4%と、5割程度にとどまっています。前回調査の認知度54.3%とほぼ同様な結果となっています。また、子どもが自分で自分の身を守る方法を知っているかどうかについては、「よく知っている」「だいたい知っている」を含めて63.9%となっています。

問3 2. 不審者に声をかけられたり、危険な目にあった時に、逃げ込める「こども110番」等が近所のどこにあるか、お子さんは知っていますか。(1つに○)

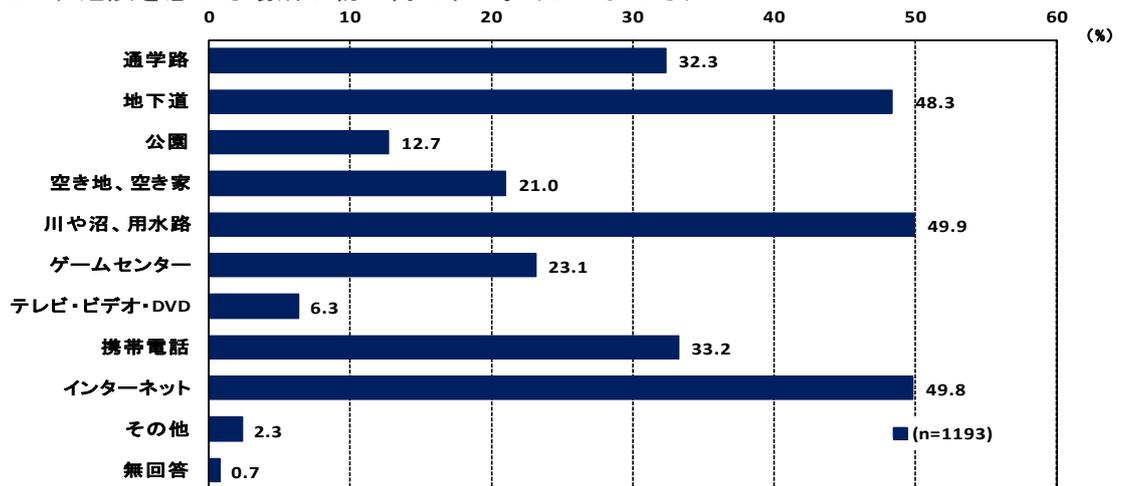


問3 3. あなたのお子さんは、自分で自分の身を守る方法を知っていますか。(1つに○)

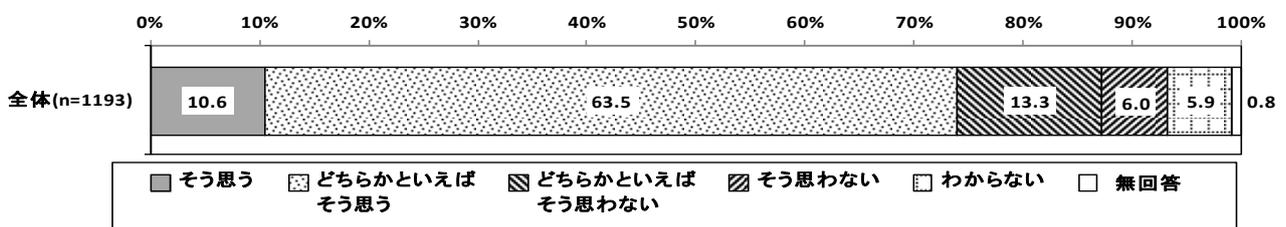


危険を感じる場所や物については、「川や沼、用水路」が49.9%、「インターネット」が49.8%、「地下道」48.3%となっています。は、「よく知っている」「だいたい知っている」を含めて63.9%となっています。

問3 4. あなたが、危険を感じる場所や物は何ですか。(3つまで○)



問3 5. あなたの住んでいる地域は、子どもたちにとって安全だと思いますか。(1つに○)

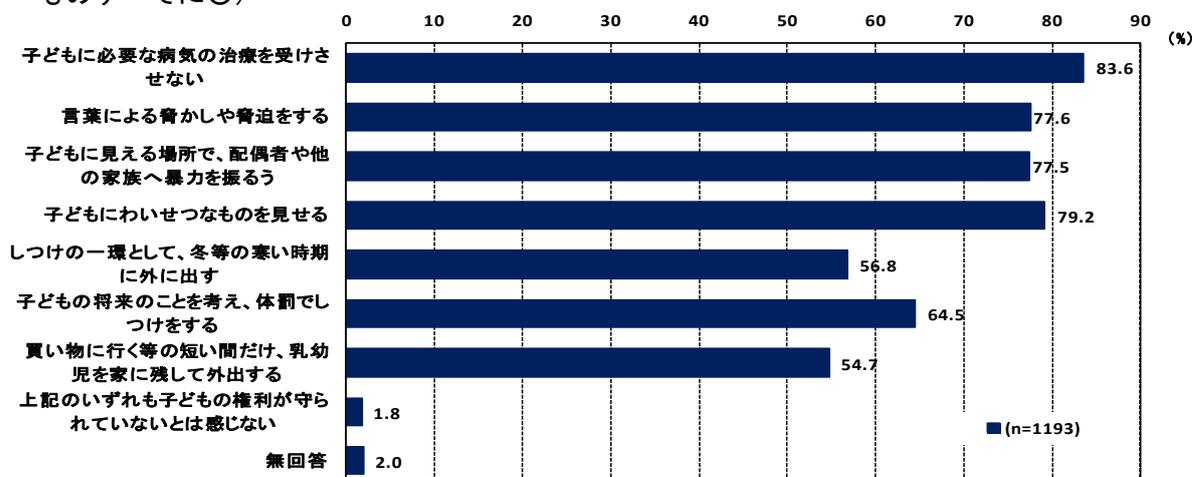


11. 子どもの権利について

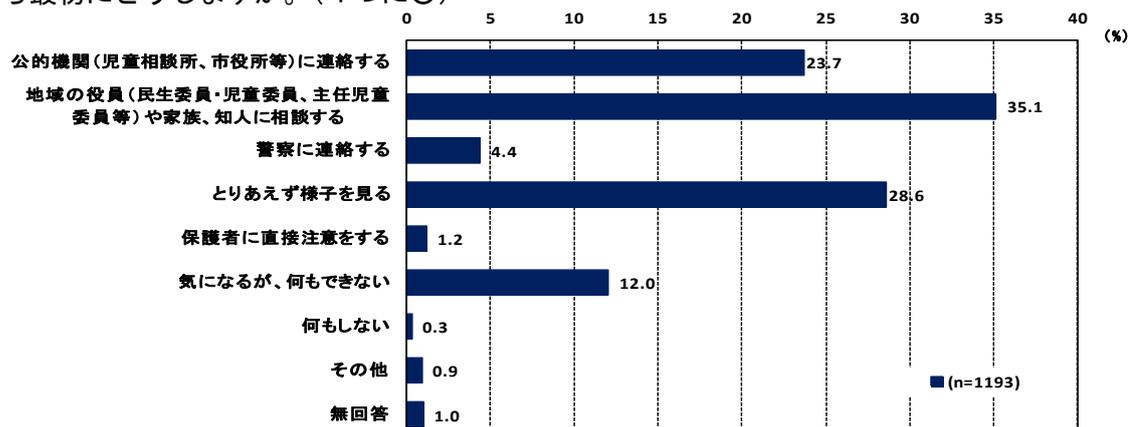
子どもの権利が守られていないと感じる行為については、「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が 83.6%でもっとも高く、続いて「子どもにわいせつなものを見せる」の 79.2%、「子どもに見える場所で配偶者や他の家族に暴力を振るう」の 77.5%、「言葉による脅かしや脅迫をする」の 77.6%となっています。

子どもの権利が守られていないと感じられる行為が行われている家庭を知ったとき、どうするかについては、「地域の役員（民生委員・児童委員、主任児童委員等）や家族、知人に相談する」が 35.1%でもっとも高くなっています。

問36. あなたはどのような行為に対して、子どもの権利が守られていないと感じますか。（あてはまるものすべてに○）



問37. 子どもの権利が守られていないと感じられる行為が行われている家庭を知ったとき、あなたなら最初にどうしますか。（1つに○）

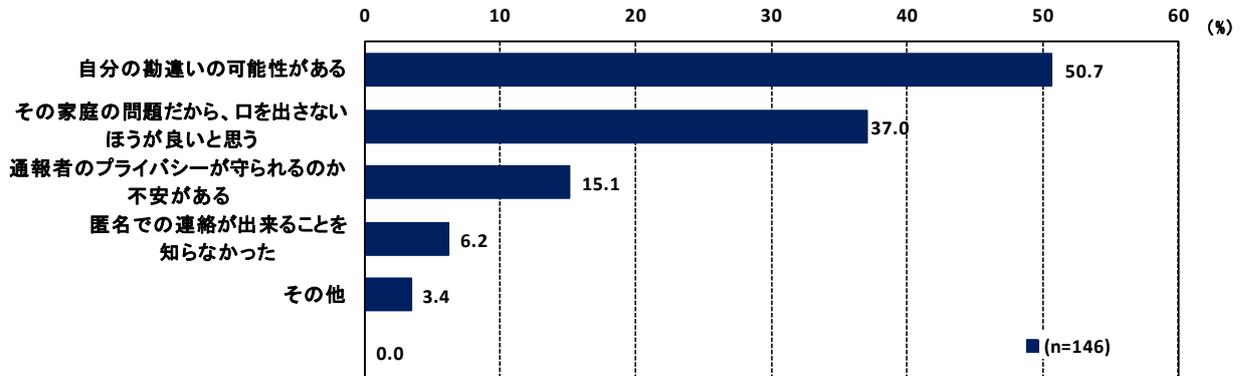


「気になるが、何もできない」「何もしない」と答えた人は、その理由について、「自分の勘違いの可能性はある」(50.7%)、「その家庭の問題だから、口を出さない方が良いと思う」(37.0%)、「通報者のプライバシーが守られるのか不安がある」(15.1%)などがあげられています。

37で「6. 気になるが何もできない」「7. 何もしない」に○をした方にお伺いします。

問37-1. その理由は何ですか。最も近いものを選んでください。(1つに○)

※複数回答が多く、複数回答扱いとした。



12. 子育て支援策についての満足度と重要度

すべての方にお伺いします。

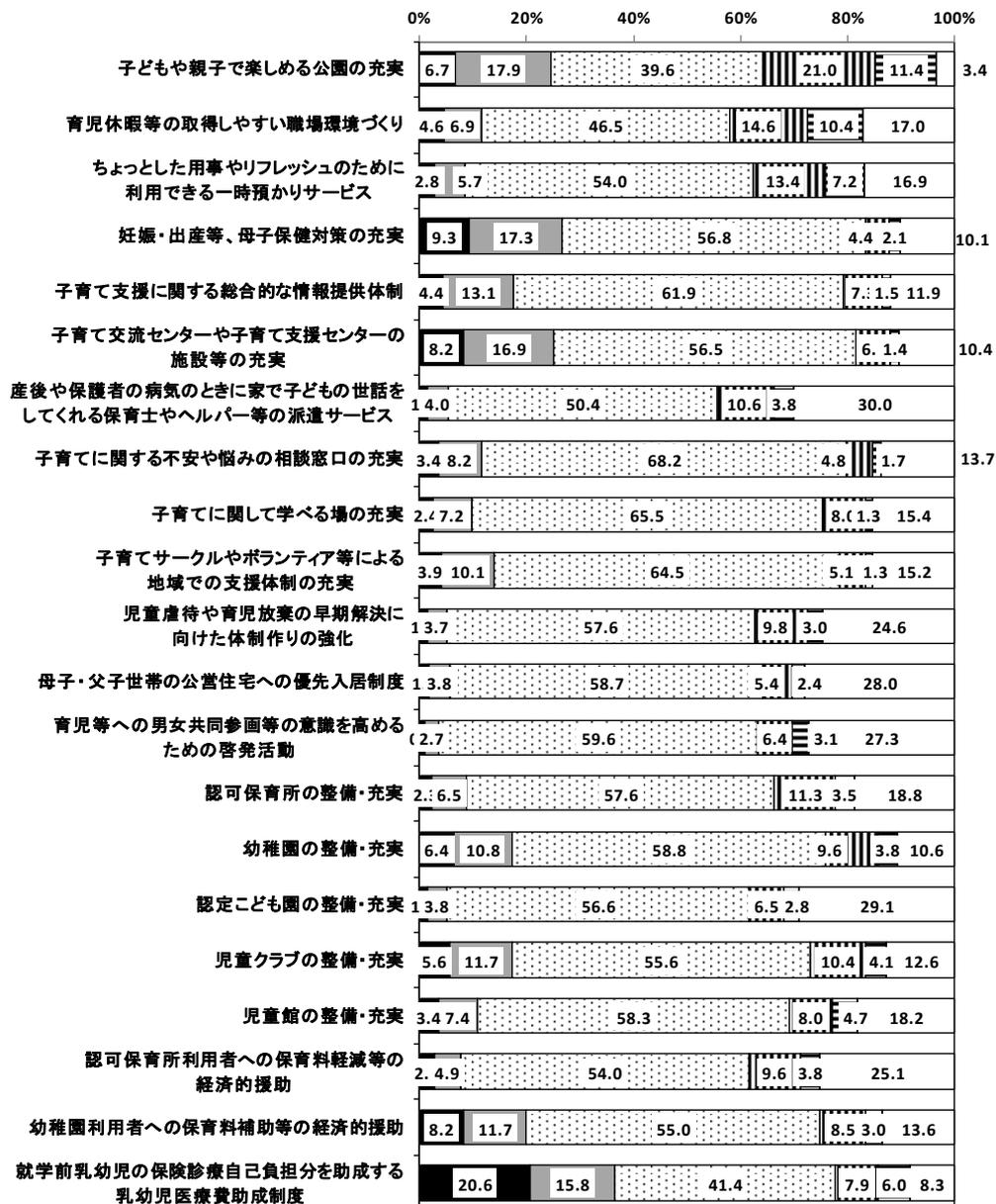
問38. 周南市の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお知らせください。

【満足度】

周南市の子育て支援策に対する「満足度」について、「満足」「やや満足」を含めてもっとも高かったのは「就学前乳幼児の保険診療自己負担分を助成する乳幼児医療費助成制度」で36.4%となっています。以下「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」(26.6%)、「子育て交流センターや子育て支援センターの施設等の充実」(25.1%)、「子どもや親子で楽しめる公園の充実」(24.6%)となっていますが、いずれも20%台にとどまっています。

一方、「やや不満」「不満」を含めた割合が最も高かったのは「子どもや親子で楽しめる公園の充実」で32.4%となりました。続いて「育児休暇等を取得しやすい職場環境づくり」が25.0%、「ちょっとした用事やリフレッシュのために利用できる一時預かりサービス」20.6%となり、子育てに対するニーズがうかがえます。

【満足度】



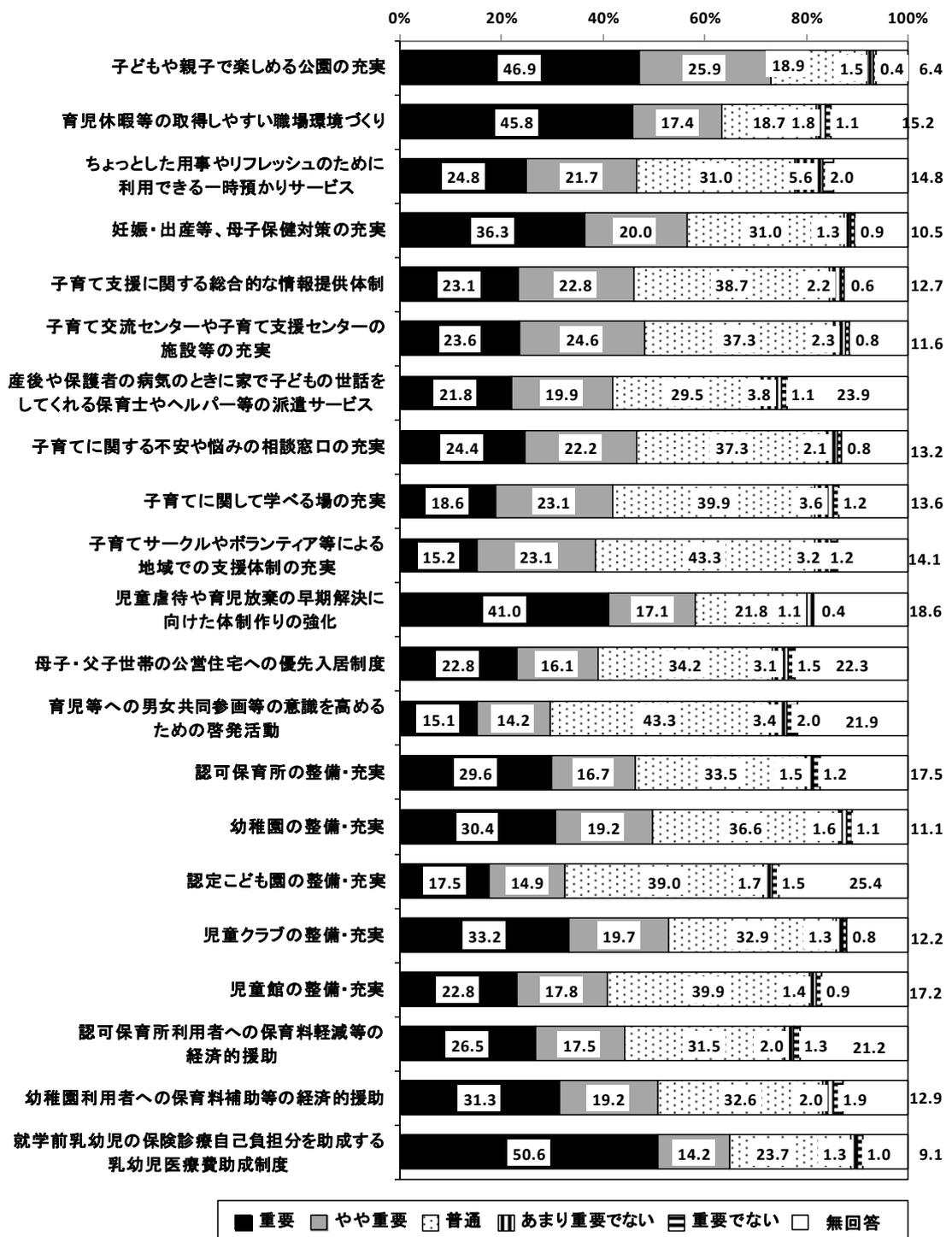
【重要度】

周南市の子育て支援策に対する「重要度」について、「重要」「やや重要」を含めてもっとも高かったのは「子どもや親子で楽しめる公園の充実」で 72.8%となりました。続いて「就学前乳幼児の保険診療自己負担分を助成する乳幼児医療費助成制度」(64.8%)、「育児休暇等を取得しやすい職場環境づくり」(63.2%)となり、この3項目は6割を超えています。

以下、「児童虐待や育児放棄の早期解決に向けた体制づくりの強化」(58.1%)、「妊娠・出産等、母子保健対策の充実」(56.3%)、「児童クラブ整備・充実」(52.9%)となっています。

「重要度」が高い子育て支援策については、「満足度」につながるよう早急な対策を必要とされています。

【重要度】



【制度・内容が分からない】

